

NEC

P C 9 8 -

NX

PC98-**NX** SERIES

VersaPro NX

LaVie NX

VA23C/WX · VA20C/WS · VA20C/WD
LW23/43C · LW23/43D · LW20/42C
LW20/42D · LW20/42A · LW20/4DC
LW20/4DD · LW20/4DA

活用ガイド

本機の機能

周辺機器を使う

システムの設定

アプリケーションの削除と追加

他のOSを利用する

マニュアルの 主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



『入門ガイド』(LaVieの一太郎モデルとWordモデルのみ)
Windowsやワープロの基本操作を解説した、入門者向けのマニュアルです。

- ・NXパッドの基本操作
- ・ワープロ入門(一太郎 / Word)
- ・デスクトップとは
- ・ファイルの使い方
- ・添付アプリケーションの紹介



『インターネットガイド』(LaVieのみ)
インターネットに接続する方法、パソコンを電話やFAXの代わりに使う方法などを説明しています。

- ・インターネットとは
- ・インターネットを体験する
- ・ホームページを見る
- ・電子メールを使う
- ・電話やFAXを使う



『活用ガイド』
このパソコンの取り扱い方法、添付されているアプリケーションについて説明しています。

- ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
- ・周辺機器の接続と利用方法
- ・システム設定について
- ・添付アプリケーションの削除と追加
- ・Windows NT 4.0を利用する場合の設定



『困ったときのQ&A』
さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明したマニュアルです。また、再セットアップの方法も説明しています。

- ・トラブル解決Q&A
- ・再セットアップするには



はじめに

このマニュアルは、パソコンの取り扱い方法や、添付されているアプリケーションについて説明するものです。

周辺機器やオプションを接続してパソコンを拡張する場合、パソコンの設定を変更する場合などに、このマニュアルをご利用ください。

1998年 7月 初版

対象機種

(Windows 98インストールモデル)

LaVie NX : LW23/43C、LW23/43D、LW20/42A、LW20/42C、LW20/42D、LW20/4DA、
LW20/4DC、LW20/4DD

VersaPro NX : VA23C/WX、VA20C/WS、VA20C/WD

このマニュアルの表記について

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。



警告

注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

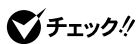
注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみの発生が想定されることを示します。



感電注意

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、毒物注意、破裂注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



チェック

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性あります。



用語

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



参照

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

| | |
|----------------------|---|
| 13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデル | 13.3インチの液晶ディスプレイを搭載しているモデルのことです。 |
| 12.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデル | 12.1インチの液晶ディスプレイを搭載しているモデルのことです。 |
| CD-ROMドライブ搭載モデル | CD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。 |
| FAXモデム内蔵モデル | FAXモデムを内蔵しているモデルのことです。 |
| LAN内蔵モデル | LANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。 |
| 一太郎モデル | 一太郎8、三四郎8、Full Bandがあらかじめインストールされているモデルのことです。 |
| Wordモデル | Excel、Word、Outlookがあらかじめインストールされているモデルのことです。 |
| 【 】 | 【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。 |

「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」

「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

| 本文中の表記 | 正式名称 |
|---------------------------------|--|
| Windows、 Windows 98 | Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版 |
| Windows NT 4.0 | Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0 |
| インターネット エクスプローラ | Microsoft® Internet Explorer 4.0 |
| 一太郎Office8 | 一太郎Office8 /R.3 with パワーアップキット |
| 一太郎、一太郎8 | 一太郎8 Office Edition /R.2U |
| Excel 97、Word 98、 Outlook 97 | Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™ 97 for Windows® |
| Outlook 98 | Microsoft® Outlook™ 98 for Windows® |
| 駅すばあと全国版 | 駅すばあと全国版 for Windows 95 |
| 筆ぐるめ | 筆ぐるめ for Windows 95 |
| NIFTY MANAGER | NIFTY MANAGER for Windows 95 |

このマニュアルで使用しているイラストと画面

- ・本機のイラストや記載の画面は、モデルによって異なることがあります。
- ・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準等適合認定を受けています。申請回線と認定番号は次のとおりです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行いませんので、必ずご購入元にご相談ください。

| 対象機種 | 電話回線 |
|---|------------|
| LW23/43C、LW23/43D、 LW20/42A、LW20/42C、 LW20/42D、LW20/4DA、 LW20/4DC、LW20/4DD | S98-3039-0 |

電波障害自主規制について

VersaProのLAN内蔵モデルの場合：

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

上記以外のモデルの場合：

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

[バッテリーパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリーパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリーパック実装時は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

レーザー安全基準について

CD-ROMドライブ搭載モデルには、レーザーに関する安全基準（JIS-C-6802、IEC825）クラス1適合のCD-ROMドライブが搭載されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98は本機でのみご利用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません。Intellisync、モバイルメールを除く。詳細は「ソフトウェアのご使用条件 および」ソフトウェア使用条件適用一覧 をお読みください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」TM、「ATOK」TM、「FullBand」は、株式会社ジャストシステムの登録商標または商標です。

「一太郎Office8」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎Office8」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

NIFTY MANAGERは、ニフティ(株)の登録商標です。

アメリカ・オンラインおよびAOLは、AOLの登録商標です。

「Angel Line」および「エンジェルライン」は、NTTの登録商標です。

VirusScanは、米国Network Associates社および関連会社の商標または登録商標です。

Puma Technology、Puma Technologyロゴ、DSX Technology、DSX Technologyロゴ、IntellisyncおよびIntellisyncロゴは、いくつかの法域で登録することができるPuma Technology, Inc.の商標です。

MMX、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPは、Microcom, Inc.の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

pcANYWHERE32はSymantec Corporationの米国における登録商標です。

「BIGLOBE Walker」は、日本電気株式会社の登録商標です。

「BIGLOBEサインアップナビ」は、日本電気株式会社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1998

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

| | |
|--------------------------------------|----|
| 本機の機能 | 1 |
| 各部の名称 | 2 |
| バッテリーで本機を使う | 5 |
| バッテリーの充電 | 5 |
| バッテリーで本機を使うときの注意 | 5 |
| バッテリー残量の確認 | 7 |
| バッテリーリフレッシュ | 8 |
| バッテリーパックの交換 | 10 |
| 省電力機能 | 13 |
| 電源管理のモードについて | 14 |
| スタンバイ状態(サスペンド) | 24 |
| 休止状態(ハイバネーション)(APMモードのみ) | 25 |
| スリープからの復帰(レジューム) | 28 |
| パワーマネージメント | 29 |
| 表示ランプ | 31 |
| キーボード | 33 |
| キーの使い方 | 33 |
| キーボードを設定する | 36 |
| 日本語入力の使い方 | 38 |
| ポインティングデバイス | 40 |
| NXパッドの使い方 | 40 |
| ポインティングデバイスを設定する | 41 |
| フロッピーディスクドライブ | 45 |
| 使用できるフロッピーディスクの種類 | 45 |
| フロッピーディスクのセットのし方と取り出し方 | 46 |
| 内蔵ハードディスク | 47 |
| 領域の確保とフォーマット(VersaProのみ) | 47 |
| ハードディスクのメンテナンス | 50 |
| CD-ROMドライブ(CD-ROMドライブ搭載モデルのみ) | 52 |
| CD-ROMのセットのし方と取り出し方 | 53 |
| 画面表示機能 | 56 |
| 表示できる解像度と表示色 | 56 |
| 解像度と表示色を変更する | 57 |
| バーチャルスクリーン(12.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデルのみ) | 58 |

| | |
|--------------------------|----|
| セキュリティ機能 | 60 |
| 本機のセキュリティ機能 | 60 |
| セキュリティ機能の使用例 | 61 |
| パスワードを設定しているときの電源の入れ方 | 62 |
| パスワードを設定しているときのスリープからの復帰 | 63 |
| 赤外線通信機能 | 64 |
| 赤外線通信を行うまえに | 64 |
| 赤外線通信をする | 65 |
| 機器の配置について | 66 |
| サウンド機能 | 68 |
| 内蔵モデム（FAXモデム内蔵モデルのみ） | 70 |
| 電話回線との接続 | 70 |
| ダイヤル設定のし方 | 72 |
| 本機からファックスする | 72 |
| ネットワーク通信機能（LAN内蔵モデルのみ） | 74 |
| 100BASE-TXの概要 | 75 |
| リンクケーブルについて | 76 |
| ネットワークへの接続 | 77 |
| ユニバーサル管理アドレス | 78 |
| 運用上の注意 | 78 |
| 周辺機器を使う | 79 |
| 接続できる周辺機器 | 80 |
| 周辺機器を利用する | 82 |
| 周辺機器を利用するための知識 | 82 |
| プリンタを使う | 85 |
| プリンタを接続する | 85 |
| プリンタを設定する | 86 |
| 外部ディスプレイを使う | 90 |
| CRTディスプレイを接続する | 90 |
| プロジェクタを接続する | 92 |
| 外部ディスプレイの設定 | 92 |
| PCカードを使う | 94 |
| PCカードのセットのし方と取り出し方 | 95 |

PART

3

| | |
|--------------------------|-----|
| PCカードの設定 | 97 |
| メモリ (RAM) の増設 | 98 |
| 増設RAMボードの取り付けと取り外し | 98 |
| その他の機器を使う | 103 |
| シリアルコネクタ | 103 |
| パラレルコネクタ | 103 |
| USBコネクタ | 104 |
| マウス / テンキーボード用コネクタ | 105 |

システムの設定

107

| | |
|---------------------------------|-----|
| BIOSセットアップユーティリティ | 108 |
| BIOSセットアップユーティリティで設定できること | 108 |
| 工場出荷時の設定に戻す | 109 |
| BIOSセットアップユーティリティを使う | 109 |
| 設定項目一覧 | 112 |

PART

4

添付アプリケーションの削除と追加

121

| | |
|---|-----|
| 添付アプリケーションの紹介 | 122 |
| このPARTの構成について | 124 |
| アプリケーションの削除と追加 | 125 |
| 削除について | 125 |
| 追加について | 127 |
| 一太郎Office8 (一太郎モデルのみ) | 129 |
| Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 (Wordモデルのみ) | 133 |
| BIGLOBE Walker (LaVieのみ) | 141 |
| BIGLOBE入会申込 (サインアップナビ) (LaVieのみ) | 143 |
| インターネット無料体験 (LaVieのみ) | 145 |
| インターネットアクセスマネージャ (LaVieのみ) | 147 |
| ジェットサーファ― (LaVieのみ) | 150 |
| 翻訳アダプタ CROSSROAD (LaVieのみ) | 152 |
| AOL (LaVieのみ) | 155 |

| | |
|--|-----|
| NIFTY MANAGER (LaVieのみ)..... | 158 |
| TELFAX-NX (LaVieのみ)..... | 162 |
| Intellisync | 165 |
| Angel Line for Windows (LaVieのみ)..... | 171 |
| NEC Soft MPEG1.0 | 173 |
| プレーヤ-NX | 176 |
| CyberTrio-NX | 178 |
| CyberWarner-NX | 182 |
| ログファイルについて | 184 |
| VirusScan | 186 |
| 英語モードフォントを利用する | 190 |
| 駅すばあと全国版 (LaVieの一太郎モデル / Wordモデルのみ) .. | 192 |
| 筆ぐるめ (LaVieの一太郎モデル / Wordモデルのみ) | 195 |
| パソコン用語集 (LaVieの一太郎モデル / Wordモデルのみ) ... | 198 |
| DMIT00L (VersaProのみ)..... | 200 |
| pcANYWHERE32 EX (VersaProのみ)..... | 204 |

PART

5

他のOSを利用する 207

| | |
|---|-----|
| Windows NT 4.0を使う | 208 |
| Windows NT 4.0を使用する際の注意 | 208 |
| 1. Windows NT 4.0のセットアップ | 209 |
| 2. 内蔵アクセラレータの利用 | 214 |
| 3. 内蔵サウンドの利用 | 215 |
| 4. NXパッドの拡張 | 216 |
| 5. 内蔵FAXモデムのセットアップ(FAXモデム内蔵モデルのみ) .. | 217 |
| 6. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ | 219 |
| 7. Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 3の利用 . | 219 |

| | |
|---------------------------------|-----|
| 付録 | 221 |
| Windows 98でMS-DOSモードを利用する | 222 |
| MS-DOSモードを利用する | 222 |
| CD-ROMドライバ(内蔵CD-ROMドライブ) | 223 |
| 新しいMS-DOS設定を指定する場合 | 224 |
| 本機のお手入れ | 227 |
| コンピュータウイルス対策 | 229 |
| 機能一覧 | 232 |
| 型番の読み方と機能仕様(VersaProシリーズ) | 232 |
| 仕様一覧 | 233 |
| 内蔵FAXモデム機能仕様(FAXモデム内蔵モデル) | 237 |
| 内蔵LAN機能仕様(LAN内蔵モデル) | 239 |
| 割り込みレベル・DMAチャンネル | 240 |
| 索引 | 241 |

本機の機能

本機の各部の名称といろいろな機能について説明しています。

このPARTの内容

各部の名称

バッテリーで本機を使う

省電力機能

表示ランプ

キーボード

ポインティングデバイス

フロッピーディスクドライブ

内蔵ハードディスク

CD-ROMドライブ(CD-ROMドライブ搭載モデルのみ)

画面表示機能

セキュリティ機能

赤外線通信機能

サウンド機能

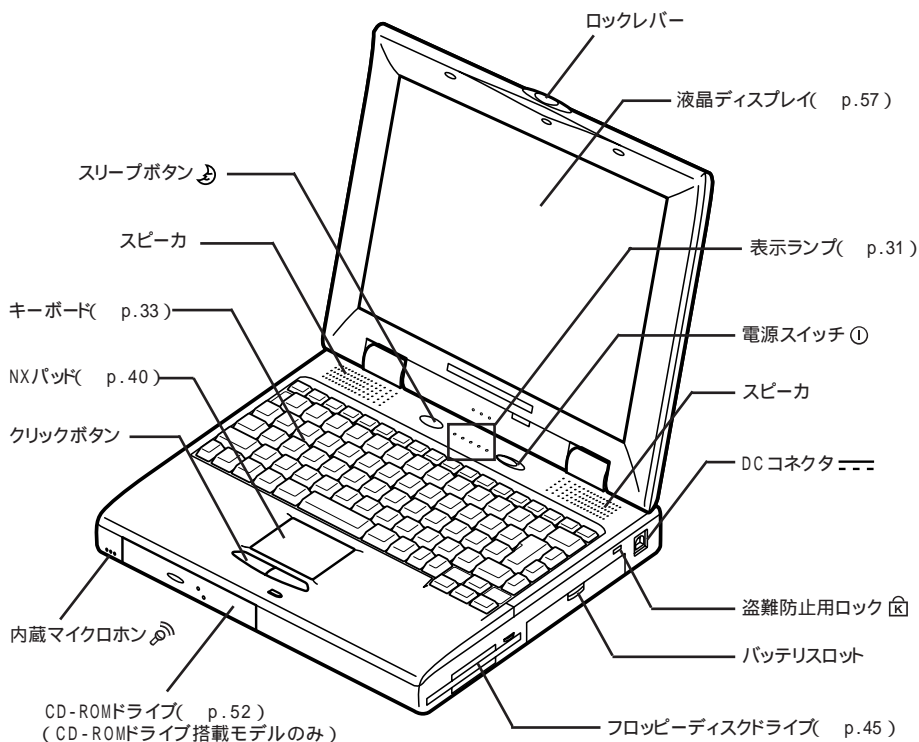
内蔵モデム(FAXモデム内蔵モデルのみ)

ネットワーク通信機能(LAN内蔵モデルのみ)

各部の名称

本機の各部の名称と配置について説明しています。それぞれの機能や取り扱い方については、参照ページをご覧ください。

前面(全モデルに共通)



盗難防止用ロック

本機の盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

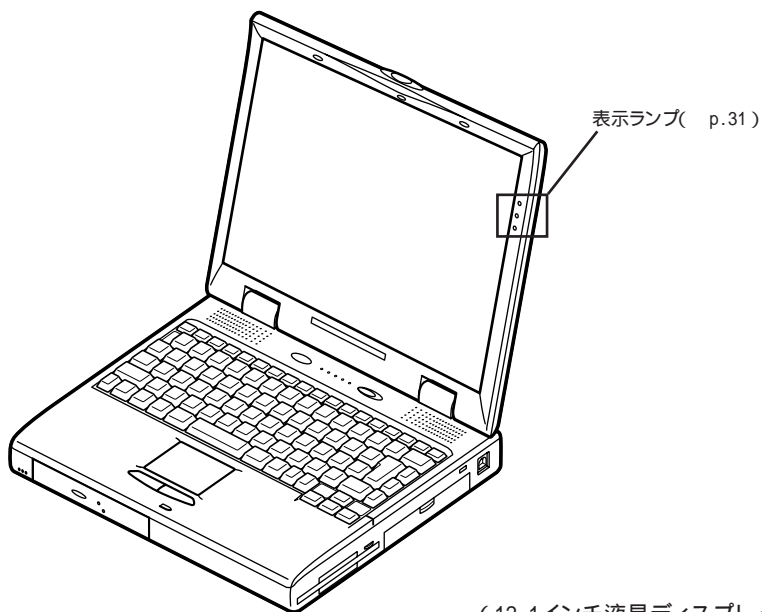
日本国内総販売代理店の連絡先は、次のとおりです(1998年1月現在)。

日本ポラロイド株式会社 電子映像営業グループ

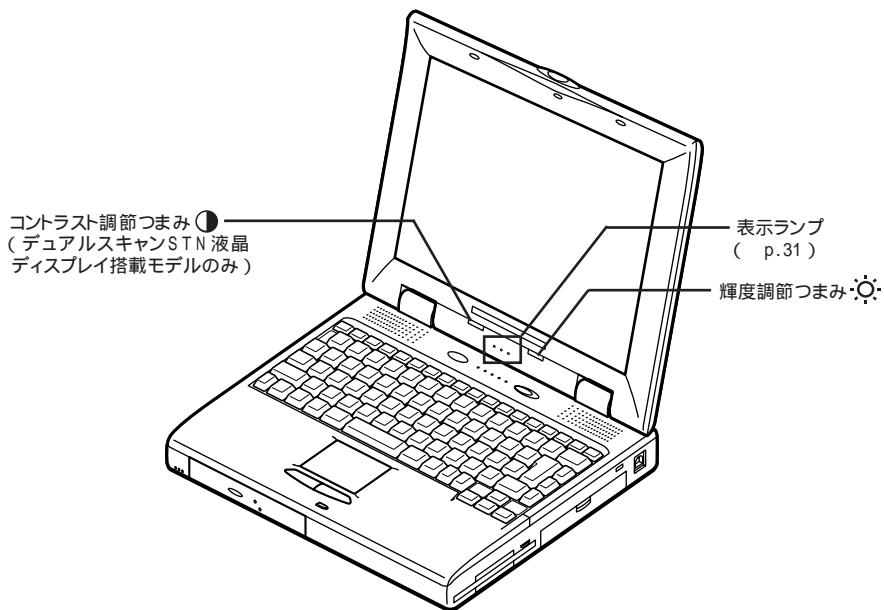
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号 第30森ビル

Tel:03-3438-8879 Fax:03-5473-1630

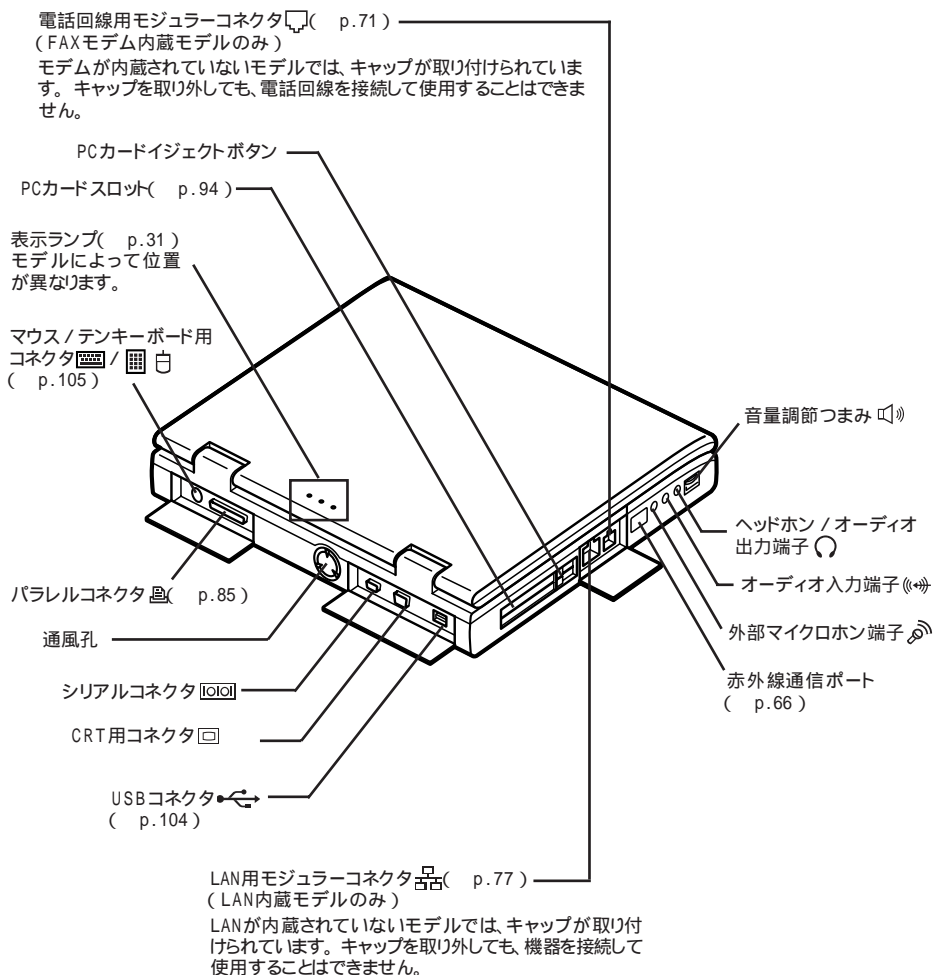
(13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデル)



(12.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデル)



背面



バッテリーで本機を使う

本機は、ACアダプタを使用せずに、添付のバッテリーパックだけで駆動することができます。

バッテリーの充電

- チェック!!** バッテリーの充電中は、バッテリーパックを本機から取り外さないでください。ショートや接触不良の原因になります。

バッテリーの充電のし方

本機にバッテリーパックを取り付けてACアダプタをACコンセントに接続すると、自動的にバッテリーが充電されます。


本機の電源を入れて使用していても充電されますが、電源を切った状態の方が充電時間は短くなります。

充電できる電池容量は、周囲の温度によって変わります。また、高温になると充電が中断されることがありますので、18～28℃での充電をおすすめします。

参照▶ バッテリーの充電時間について PART6の「機能一覧」(p.234, 236)

充電状態を表示ランプで確認する

バッテリーの充電状態を、表示ランプで確認することができます(p.32)

| 充電状態 | バッテリー充電ランプ  |
|------------|--|
| 充電中 | オレンジ点灯 |
| 充電完了(フル充電) | 消灯 |

バッテリーで本機を使うときの注意

- チェック!!**
- ・バッテリーが十分に充電されているときは、特に必要でないかぎり、バッテリーパックの取り付けや取り外しをしないでください。故障の原因となります。
 - ・フロッピーディスクやハードディスクの読み書き中にバッテリー残量がなくなり、電源が切れてしまうと、作成中のデータが失われたり、フロッピーディスクやハードディスクのデータが失われたり、壊れたりすることがあります。

バッテリーパックを長持ちさせるには

次のような点に気を付けると、バッテリーパックを長持ちさせることができます。

- ・バッテリーの残量をできるだけなくしてから充電する
- ・充電はフル充電(バッテリー充電ランプが消灯)になるまで中断しない
- ・定期的にバッテリーフレッシュを実行する(p.8)
- ・本機を1ヵ月以上使わないときは、バッテリーパックを取り外して、涼しいところに保管する

バッテリーの上手な使い方

- ・バッテリーだけで本機を長時間使用する場合は、本機の省電力機能を使用してください。

参照▶ 省電力機能について このPARTの「省電力機能」(p.13)

- ・バッテリーは、自然放電しています。本機を長期間使用しない場合でも、2~3ヵ月に一度は充電することをおすすめします。

バッテリー駆動中にバッテリー残量が少なくなったときは

バッテリーの残量が少なくなると、警告音が3回鳴り、電源ランプがオレンジ色に点灯します。この場合は、次の操作を行ってください。

- ・ACコンセントから電源を供給する

いったん本機の電源を切り、ACアダプタを接続してACコンセントから電源を供給してください。ACコンセントから電源を供給すると、バッテリー充電ランプが点灯し、バッテリーの充電が始まります。

- ・ACコンセントが使えない場合

使用中のソフトウェアを終了して、本機の電源を切ってください。

上記の操作をしないでそのままにしておくと、APMモード(p.14)の場合は、再度バッテリー残量が少ないというメッセージが表示されます。しばらくすると、自動的にスリープ状態(p.13)になります。

ACPIモード(p.14)の場合は、しばらくすると電源が切れますが、バッテリー残量が少ないときに、どのような動作をするようにしたいかを設定することができます。

設定の手順は次のとおりです。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックする
- 2 「アラーム」タブをクリックする
- 3 バッテリー残量が少ないときと、バッテリー残量が残りわずかなときに、それぞれどのような動作をするようにしたいかを設定する
「アラーム動作」ボタンをクリックすると、動作を選ぶことができます。
- 4 「OK」ボタンをクリックする

✓チェック!! バッテリー低下アラームとバッテリー切れアラームの設定値は、それぞれ13%、8%未満に設定しても、13%、8%で動作します。


バッテリー残量の確認

バッテリー残量は、次の3つの方法で確認することができます。

- ・ Windowsのタスクバーにある  の上にマウスポインタを合わせる





この画面はモデルによって異なることがあります。
また、アイコンはバッテリーの残量により異なります。

- ・ タスクバーの  をダブルクリックして、表示された「電源メーター」ウィンドウを見る



- ・「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックして、表示された「電源の管理のプロパティ」ウィンドウの「電源メーター」タブを見る



ACコンセントから電源を供給しているときは、はに変わります。

バッテリーリフレッシュ

バッテリーを完全に使い切らないまま充電を繰り返していると、バッテリーの充電可能容量が目減りしてしまい、バッテリーでの駆動時間が短くなる場合があります(これをバッテリーのメモリ効果といいます)

このような場合には、「バッテリーリフレッシュ」を実行すると、バッテリーパックの機能を回復させることができます。

バッテリーリフレッシュの実行

- 1 本機を使用中の場合は、「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「Windowsの終了」を開き、「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」ボタンをクリックし、本機の電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3 バッテリーパックをすでに取り付けている場合は、一度バッテリーパックを本機から取り外して、再度取り付ける

バッテリーパックを取り付けていない場合は、バッテリーパックを本機に取り付ける(p.10)

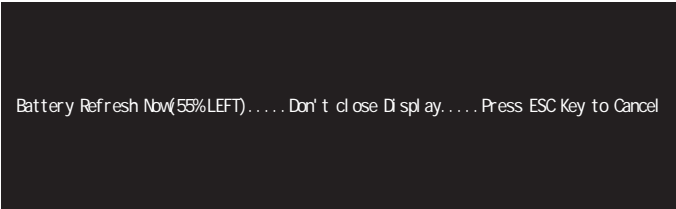
4 本機の電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押す

「NEC」のロゴの画面下部に、キーの説明が表示されます。

5 【F12】を押す

次のような画面が表示され、バッテリーリフレッシュが始まります。

バッテリーリフレッシュが完了してバッテリー内の電力がなくなると、自動的に本機の電源が切れますので、本機の電源が切れるまでお待ちください。



Battery Refresh Now(55% LEFT).....Don't close Display.....Press ESC Key to Cancel

チェック!! ・バッテリーリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。液晶ディスプレイを閉じると、ピピピと警告音が鳴ります。


- ・バッテリーリフレッシュの所要時間のめやすは、本機に添付のバッテリーを使用している場合、フル充電状態で約120分、バッテリー残量10%(Windowsでバッテリー残量少の警告が表示される程度)の充電状態で約20分です。

バッテリーリフレッシュを中断するには【Esc】を押します。次のようなメッセージが表示されますので、【】と【】で“Cancel Battery Refresh”を選択して【Enter】を押すと、本機が再起動します。



Continue Battery Refresh
Cancel Battery Refresh

チェック!! バッテリーリフレッシュ中に本機の電源を切ろうとしたときやACアダプタを接続したときも、上記のようなメッセージが表示されます。“Continue Battery Refresh”を選択してバッテリーリフレッシュを続けてください。“Cancel Battery Refresh”を選択すると、バッテリーリフレッシュが中断し、本機が再起動します。

- 6** バッテリフレッシュが完了して本機の電源が切れたら、ACアダプタを接続する
バッテリーの充電が始まりますので、バッテリー充電ランプ  が消えて完全に充電されるまでお待ちください。

バッテリーパックの交換

交換の目安

バッテリーフレッシュをしても、フル充電（バッテリーを充電してバッテリー充電ランプが消灯した状態）で使用できる時間が短くなったら、新しいバッテリーパックを購入して交換してください。

本機に取り付けられる交換用バッテリーパックは次の2種類です。

- ・ PC-VP-WP02（ニッケル水素バッテリーパック）
- ・ PC-VP-WP03（リチウムイオンバッテリーパック）

リチウムイオンバッテリーパックを取り付けると、ニッケル水素バッテリーパックを取り付けた場合よりも、バッテリー駆動時間が20%程度長くなります。

バッテリーパックの交換のしかた

⚠ 警告



感電注意

雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。



破裂注意



毒物注意

使用を終えたバッテリーパックを分解したり、火気に投じることは危険です。絶対にしないでください。破裂したり、液漏れしたりすることがあります。

⚠ 注意



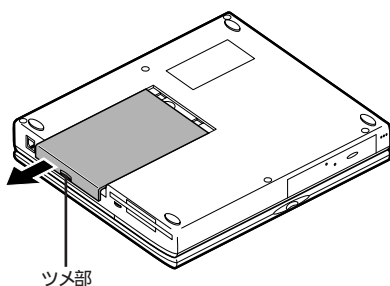
感電注意

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

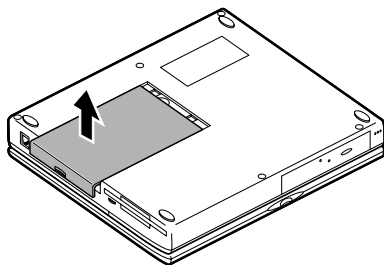
チェック!! ・ バッテリスロットの端子部分には絶対に触れないでください。接触不良の原因となります。

・ スタンバイ状態のときにバッテリーパックを交換すると、作業中のデータが失われます。サスペンド/スタンバイランプが点滅しているときには、一度データを復帰させて保存してからWindowsを終了し、本機の電源を切ってください。

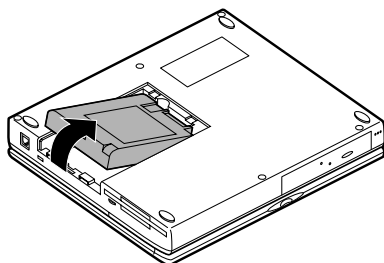
- 1** 本機を使用中の場合は、「スタート」ボタン「Windowsの終了」で「Windowsの終了」を開き、「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」ボタンをクリックし、本機の電源を切る
- 2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3** 液晶ディスプレイを閉じて、本機を裏返す
- 4** バッテリスロットカバーのツメ部を押しながら、カバーを矢印の方向にスライドさせる



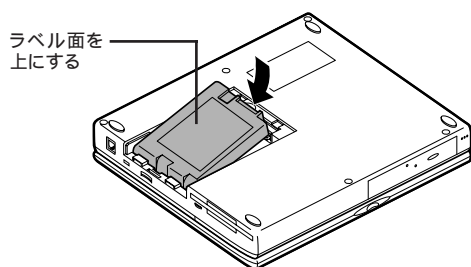
- 5** カバーを矢印の方向に取り外す




6 図のようにして古いバッテリーパックを取り外す



7 新しいバッテリーパックを取り付ける



8 手順4、5で取り外したカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける

 **チェック!!** 不要になったバッテリーパックは、地方自治体の条例に従って廃棄してください。

省電力機能

省電力機能とは、本機の主要な部分への電力供給を停止することで、消費電力を抑える機能です。

省電力機能には、「スタンバイ状態(サスペンド)」と「休止状態(ハイバネーション)」があり、これら2つの状態を、あわせて「スリープ状態」と呼ぶこともあります。

スタンバイ状態(サスペンド)

作業中のデータを一時的にメモリに保存し、消費電力を抑える機能です。スタンバイ状態のことを、「サスペンド」と呼ぶこともあります。データはメモリに保存されているため、すぐに元の状態に戻すことができます。


詳しくは、p.24をご覧ください。

休止状態(ハイバネーション)

作業中のデータをハードディスクに保存し、電源を切る機能です。休止状態のことを、「ハイバネーション」と呼ぶこともあります。

普通に電源を切るとは異なり、次に起動するとき、Windows 98を起動する操作をせずに、すぐに元の状態に戻すことができます。データの保持のために電力を消費しないので、長時間作業を中断するときなどに便利です。

詳しくは、p.25をご覧ください。

 **チェック!!** ACPI モード(p.14)のときは、休止状態(ハイバネーション)は使えません。

スリープからの復帰(レジューム)

スタンバイ状態や休止状態などのスリープ状態から元の状態に戻すことを、「復帰」といいます。スリープからの復帰のことを、「レジューム」と呼ぶこともあります。

スリープからの復帰は、手動操作または自動操作で行うことができます。

詳しくは、p.28をご覧ください。

これらの機能のほか、次のような省電力機能を使うことができます。

- ・ パワーマネージメント: バッテリー駆動時などに無駄な電力の消費を抑える機能です(p.29)

ご購入時の省電力機能の設定については、PART3の「BIOSセットアップユーティリティ」の「省電力」(p.117)をご覧ください。

電源管理のモードについて

本機には、「APMモード」と「ACPIモード」という2種類の電源管理のモードがあります。

APMモード(ご購入時の設定)

パソコンや周辺機器の電源管理を、BIOSで行うモードです。APMとは、「Advanced Power Management」の略です。

ACPIモード

パソコンや周辺機器の電源管理、また、周辺機器の管理をWindows 98で行うモードです。ACPIとは、「Advanced Configuration and Power Interface」の略です。

モードごとに使用できる機能は、次のとおりです。

| | APMモード (ご購入時の設定) | ACPIモード |
|------------------|---------------------|-------------------|
| スタンバイ状態(サスペンド) | | |
| 休止状態(ハイバネーション) | | - |
| スリープからの復帰(レジューム) | | |
| パワーマネージメント機能 | | |
| ホットキー機能 | | (一部の機能のみ 使用可能) |
| セキュリティ機能 | | (I/Oロックは 使用不可) |

モードの切り替え方

モード切り替えについて

ACPIモードでは、パワーマネージメント管理用に、割り込み(IRQ9)を1つ使用します。

モード切り替えの際に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動した場合は、画面の指示に従って、「C: ¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」からドライバの組み込みを行ってください。

APMモードからACPIモードへ切り替える

1. 切り替え準備

- 1** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
エクスプローラが起動します。
- 2** 「Modechg」フォルダ 「Acpi_apm」ファイルをダブルクリックする
「現在、ACPIが無効です。ACPIを有効に設定する場合はOKボタンを押して下さい」と表示されます。
- 3** 「OK」ボタンをクリックする
「ACPIを有効にする準備ができました」と表示されます。
- 4** 「OK」ボタンをクリックする

2. ハードウェアの再設定

- 1** 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアの追加」アイコンをダブルクリックする
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。
- 2** 「次へ」ボタンをクリックする
- 3** もう一度「次へ」ボタンをクリックする
「インストールするデバイスは一覧にありますか?」というメッセージが表示されたら、「デバイスは一覧にない」の をクリックして (オン) にしてから「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「はい」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする

5 「次へ」ボタンをクリックする
デバイスの検索が自動的に行われます。

6 「完了」ボタンをクリックする

7 「はい」ボタンをクリックする
本機が自動的に再起動し、新しいハードウェアの設定が行われます。

Windows 98 CD-ROMをセットするようというメッセージが表示された場合は、「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を指定して、ドライバの組み込みを行ってください。

8 「はい」ボタンをクリックする
もう一度、本機が再起動し、モードがACPIモードに切り替わります。

3. 3モードフロッピーディスクドライブの再組み込み

APMモードからACPIモードに切り替えたあと、本機で1.2Mバイトのフロッピーディスクのデータを読み書きできるようにするには、次の手順で3モードフロッピーディスクドライブを組み込み直す必要があります。

1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
「システムのプロパティ」が表示されます。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
デバイスマネージャの内容が表示されます。

3 リストの中から「フロッピーディスクコントローラ」をダブルクリックする
ドライバ名が表示されます。

- 4 表示されたドライバ名の中に「NEC 3-mode Floppy(PIIX4E)」が存在するか確認する
ここで「フロッピーディスクコントローラ」の下に「NEC 3-mode Floppy (PIIX4E)」が存在しなかった場合は、このあとの5～7の手順は必要ありません。手順8に進んでください。
- 5 「NEC 3-mode Floppy(PIIX4E)」をクリックして反転表示させてから「削除」ボタンをクリックする
「デバイス削除の確認」が表示されます。
- 6 「OK」ボタンをクリックする
- 7 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックし、「再起動する」を選んで「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 8 「コントロールパネル」が画面上に表示されていない場合は、「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリックする(コントロールパネルが表示されている場合は、この手順は不要)
「コントロールパネル」が開きます。
- 9 「ハードウェアの追加」アイコンをダブルクリックする
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。
「このウィザードでは、新しいハードウェア デバイスのためのソフトウェアをインストールします。続行する前に、開いているアプリケーションをすべて閉じてください。」と表示されます。
- 10 実行中のアプリケーションがある場合は、すべて終了させる
- 11 「次へ」ボタンをクリックする
「システムにあるプラグ アンド プレイ機器を検索します。」と表示されます。

- 12 「次へ」ボタンをクリックする
検索が始まります。検索が終了すると自動的に次の画面に進みます。
- 13 「インストールするデバイスは一覧にありますか?」と表示された場合は、「デバイスは一覧にない」ボタンをクリックしてから「次へ」ボタンをクリックする
- 14 「いいえ(一覧から選択する)」をクリックしてから「次へ」ボタンをクリックする
- 15 「ハードウェアの種類」の一覧の中から「フロッピーディスクコントローラ」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする
製造元とモデルを選択する画面が表示されます。
- 16 製造元からは「NEC」を、モデル一覧からは「NEC 3-mode Floppy (PIIX4E)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 17 「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
コピーが終了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
- 18 「はい」ボタンをクリックする

4. デバイスの確認

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
「システムのプロパティ」が表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「システムデバイス」をダブルクリックして「ACPI x x x x」が存在するかどうか確認する
これで、APMモードからACPIモードへの切り替えが終了しました。

ACPI モード時の注意事項

ACPI モード時には、次の点に注意してください。

- ・ 本機の電源が入っているときに、電源スイッチやスリープボタンを操作したり、液晶ディスプレイを開閉すると、パワーマネージメント機能が使えなくなります。このような場合は、「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックし、「スタンバイ」を選んで「OK」ボタンをクリックします。約5秒以上待ってから、スリープボタンを押すなどしてデータを復帰させると、パワーマネージメント機能が正常に働くようになります。
- ・ MS-DOSプロンプトが一番手前に表示されているときに本機をスリープ状態にすると、データが正しく復帰されないことがあります。このような場合は、【Alt】を押しながら【Tab】を押してタスクを切り替えると、本機が正常に動作するようになります。

ACPI モードからAPMモードへ切り替える

1. 切り替え準備

1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
エクスプローラが起動します。

2 「Modechg」フォルダ 「Acpi_apm」ファイルをダブルクリックする
「現在、ACPIが有効です。ACPIを無効に設定する場合はOKボタンを押して下さい」と表示されます。

3 「OK」ボタンをクリックする
「ACPIを無効にする準備ができました」と表示されます。

4 「OK」ボタンをクリックする

2. ハードウェアの再設定

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアの追加」アイコンをダブルクリックする
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。
 - 2 「次へ」ボタンをクリックする
 - 3 もう一度「次へ」ボタンをクリックする
 - 4 「デバイスは一覧にない」の をクリックして (オン) にしてから「次へ」ボタンをクリックする
 - 5 「はい」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
 - 6 「次へ」ボタンをクリックする
デバイスの検索が自動的に行われます。
 - 7 「完了」ボタンをクリックする
 - 8 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
本機が自動的に再起動し、モードがAPMモードに切り替わります。
- Windows 98 CD-ROMをセットするようというメッセージが表示された場合は、「C: ¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を指定して、ドライバの組み込みを行ってください。
- 9 「ソフトウェアパワーオフ機能は無効です」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

3. パワーマネジメント機能の追加

1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアの追加」アイコンをダブルクリックする
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。

2 「次へ」ボタンをクリックする

3 もう一度「次へ」ボタンをクリックする
「インストールするデバイスは一覧にありますか?」というメッセージが表示されたら、「デバイスは一覧にない」の をクリックして (オン) にしてから「次へ」ボタンをクリックする


4 「はい」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする

5 「次へ」ボタンをクリックする
デバイスの検索が自動的に行われます。

6 「完了」ボタンをクリックする

Windows 98 CD-ROMをセットするようというメッセージが表示された場合は、「C: ¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を指定して、ドライバの組み込みを行ってください。

7 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
エクスプローラが起動します。

8 「Modechg」フォルダ 「Acpioff2」ファイル  をダブルクリックする
レジストリエディタの画面が表示され、「C: ¥ACPI ¥ACPIOFF2.REG」の情報をレジストリに追加しますか? と表示されます。

- 9** 「はい」ボタンをクリックする
「C:¥ACPI¥ACPI0FF2.REGの情報が、レジストリに正しく入力されました。」と表示されます。

- 10** 「OK」ボタンをクリックする

4. デバイスの確認

- 1** 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
「システムのプロパティ」が表示されます。
- 2** 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「アドバンスド パワーマネジメント サポート」が存在するかどうか確認する

これで、ACPI モードからAPMモードへの切り替えが終了しました。

モードを確認する


本機がどちらのモードで動作しているかは、「システム情報」または「デバイスマネージャ」で確認できます。

「システム情報」で確認する場合

- 1** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」で「システム情報」をクリックする
「システム情報」が表示されます。
- 2** 「システム情報」 「コンポーネント」 「システム」をクリックする
システムの内容が表示されます。
- 3** 画面をスクロールさせて、次の表示があるかどうか確認する
- ・APMモードのとき
「アドバンスド パワーマネジメント サポート」
 - ・ACPIモードのとき
「ACPI x x x x」など

「デバイスマネージャ」で確認する場合

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
「システムのプロパティ」が表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
「デバイスマネージャ」が表示されます。
- 3 「システムデバイス」をダブルクリックする
「システムデバイス」フォルダの内容が表示されます。
ここに表示されている内容によって、どちらのモードか確認できます。
 - ・APMモードのとき
「アドバンスド パワー・マネジメント サポート」
 - ・ACPIモードのとき
「ACPI x x x x」など

 **チェック!!** CyberTrio-NXが「ベーシックモード」になっているときは、コントロールパネルに「デバイスマネージャ」タブは表示されません。その場合は、CyberTrio-NXを「アドバンスドモード」にしてください。「アドバンスドモード」への切り替え方は、PART4の「CyberTrio-NX」の「モードの変更」(p.179)をご覧ください。


スタンバイ状態(サスペンド)

作業中のデータを一時的にメモリに保存し、消費電力を抑える機能です。データがメモリに保存されている状態を「スタンバイ状態」または「サスペンド」といいます。

スタンバイ状態(サスペンド)にする

次のいずれかの方法で、スタンバイ状態にすることができます。

- ・スリープボタンを押す
- ・Windowsのスタートメニューから「Windowsの終了」を選び、「スタンバイ」を選ぶ
- ・【Fn】を押しながら【F4】を押す(APMモードのみ)

スタンバイ状態になると、サスペンド/スタンバイランプ  が緑色に点滅します。スタンバイ状態からの復帰のさせ方については、p. 28をご覧ください。

✓チェック!! APMモードでは、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で、「スリープボタン」を「使用しない」に設定した場合は、スリープボタンを使ってスタンバイ状態にすることはできません。

「コントロールパネル」 「電源の管理」の「システムスタンバイ」で設定しておく、自動的にスタンバイ状態になるようにできます(p. 30)

APMモードの場合、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」のモード設定を「サスペンド」に設定しておく、液晶ディスプレイを閉じると同時にサスペンド状態にすること(LCD連動スリープ)もできます(p. 119)

スタンバイ状態(サスペンド)にするときの注意事項

- ・スタンバイ状態のときにバッテリーの残量がなくなると、データが消えてしまいます。バッテリーのみで本機を使用している場合は、あらかじめバッテリーの残量を確認しておいてください。
- ・ネットワーク(LAN)に接続して通信しているときには、スタンバイ状態にしないでください。本機が正常に動かなくなることがあります。
- ・次のような場合は、スタンバイ状態にしないでください。スタンバイ状態から正しく復帰できなくなることがあります。
 - ・プリンタへ出力中
 - ・赤外線通信をしているとき(赤外線通信アプリケーションを実行中)
 - ・電話回線を使って通信中
 - ・LANに接続して通信中
 - ・音声または動画を再生中
 - ・ハードディスク、CD-ROM、フロッピーディスクにアクセス中
 - ・システムの「プロパティ」ウィンドウを表示中
 - ・Windowsの起動/終了処理中
 - ・スタンバイ状態に対応していないアプリケーションを使用中
 - ・スタンバイ状態に対応していないPCカードを使用中
- ・スタンバイ状態への移行中は、各種ディスクやPCカードの入れ替えなどを行わないでください。データが正しく保存されないことがあります。
- ・サスペンド/スタンバイランプ点滅中に、PCカードを入れ替えるなどの機器構成の変更をすると、スタンバイ状態から正しく復帰できなくなることがあります。

休止状態(ハイバネーション)(APMモードのみ)

作業中のデータをハードディスクに保存し、電源を切る機能です。データが保存されている状態を「休止状態」または「ハイバネーション」といいます。

休止状態にする(ハイバネーション状態にする)

キーボードの【Fn】を押しながらスリープボタンを押す

休止状態になると、電源ランプ④が消灯します。

休止状態からの復帰のさせ方については、p.28をご覧ください。

「コントロールパネル」 「電源の管理」の「電源設定」で「システムスタンバイ」を設定しておく、自動的に休止状態になるようにできます(p.30)

BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」のモード設定を「ハイバネーション」に設定しておく、次のような方法で休止状態にすることもできます。

- ・スリープボタンを押す(p.119)
- ・「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「スタンバイ」をクリックする
- ・液晶ディスプレイを閉じると同時に休止状態にする(LCD連動スリープ) (p.119)
- ・【Fn】を押しながら【F4】を押す

休止状態(ハイバネーション)にするときの注意事項

- ・ネットワーク(LAN)に接続して通信しているときは、休止状態にしないでください。本機が正常に動かなくなることがあります。
- ・次のような場合は、休止状態にしないでください。休止状態から正しく復帰できなくなることがあります。
 - ・プリンタへ出力中
 - ・赤外線通信をしているとき(赤外線通信アプリケーションを実行中)
 - ・電話回線を使って通信中
 - ・LANに接続して通信中
 - ・音声または動画を再生中
 - ・ハードディスク、CD-ROM、フロッピーディスクにアクセス中
 - ・システムの「プロパティ」ウィンドウを表示中
 - ・Windowsの起動 / 終了処理中
 - ・休止状態に対応していない通信用アプリケーションを使用中
 - ・休止状態に対応していないアプリケーションを使用中
 - ・休止状態に対応していないPCカードを使用中
- ・休止状態への移行中は、各種ディスクやPCカードの入れ替えなどを行わないでください。データが正しく保存されないことがあります。

休止状態(ハイバネーション)の設定を解除する

メモリの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除をしたときは、「ハイバネーション設定ユーティリティ」を使用して設定を解除したあと、「休止状態(ハイバネーション)を設定する」の手順で、再度、休止状態の設定をする必要があります。設定の解除では、「ハイバネーション設定ユーティリティ」がハードディスク内に作成した休止状態のためのファイルを削除します。

✓チェック!! 「ハイバネーション設定ユーティリティ」は、MS-DOSモードで起動します。Windows 98の「MS-DOSプロンプト」ウィンドウでは、実行できません。必ず、次の手順で操作してください。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「Windowsの終了」を開き、「MS-DOSモードで再起動する」を選んで「OK」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 2 MS-DOSモードで再起動したら、HIBEROFFと入力し、【Enter】を押す
- 3 次のようなメッセージが表示されたら、本機の電源を切って、5秒以上待ってから再度電源を入れる

ハイバネーション用ファイルを削除しました。
電源を切って5秒以上たってから再び電源を入れてください。

これで休止状態のためのファイルが削除されました。

すでに休止状態のためのファイルが削除されている状態で「ハイバネーション設定ユーティリティ」を実行すると、「ハイバネーション用ファイルは存在しません。」と表示されます。

休止状態(ハイバネーション)を設定する

休止状態のためのファイルを削除した場合や、「休止状態(ハイバネーション)の設定を解除する」の手順で設定を解除したあとに再度設定を有効にする場合は、次の手順で設定してください。

メモリの取り付け / 取り外しをした場合は、まず、前ページの「休止状態(ハイバネーション)の設定を解除する」の操作を行ってから、次の手順1~3の設定をしてください。

チェック!! この操作は、MS-DOSモードで行います。Windows 98の「MS-DOSプロンプト」ウィンドウでは行えません。必ず次の手順で操作してください。

1 「スタート」ボタン「Windowsの終了」で「MS-DOSモードで再起動する」を選び、「OK」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。

2 MS-DOSモードで再起動したら、キーボードからHIBERONと入力し、【Enter】を押す
しばらくの間、ハイバネーション用ファイルの作成画面が表示されることがあります(お使いの機器のメモリ容量によって異なります)

チェック!! ハードディスクの空き領域が不足しているというメッセージが表示された場合は、不要なファイルを削除するなどしてハードディスクの空き領域を確保した後、手順1からやり直してください。必要なハードディスクの空き領域の目安は、本機に搭載されているメモリ容量 + 4Mバイトです。

3 次のようなメッセージが表示されたら、本機の電源を切り、5秒以上待ってから再度本機の電源を入れる

ハイバネーションファイルを作成しました。
電源を切って5秒以上たってから再び電源を入れてください。

すでに休止状態のためのファイルがあるときに、上記の操作をすると、「ハイバネーションファイルはすでに存在します」と表示されます。

スリープからの復帰(レジューム)

次のいずれかの方法で、スリープ状態から復帰させることができます。

- ・スリープボタンを押す(スタンバイ状態からの復帰の場合のみ)
- ・電源スイッチをスライドする

チェック!! ・スリープ状態にしてからすぐに復帰させたいときは、本機に負担がかからないよう、スリープ状態になってから約5秒以上たってから操作してください。
・スリープ状態のときにPCカードの入れ替えや周辺機器の取り付け/取り外しなどの機器構成の変更をすると、正常に復帰できなくなることがあります。

- ・CD-ROMドライブにフォトCDを入れたままスリープ状態にした場合、復帰に時間がかかることがあります。

APMモードでスタンバイ状態にする場合、BIOSセットアップユーティリティで設定しておく、次のような方法でデータを復帰させることもできます。

- ・液晶ディスプレイを開けると同時に復帰する(LCD連動スリープ)(p.119)

パワーマネジメント

APMモード時のパワーマネジメント

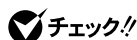
APMモードの場合は、【Fn】を使ってパワーマネジメントのモードを切り替えることができます。

パワーマネジメントには、次の各モードがあります。

キーボードの【Fn】を押しながら【F7】を押すごとにモードが切り替わり、ピープ音が鳴ります。

| モード | 機能 | ピープ音の回数 |
|--------|--|---------|
| フルパワー | パワーマネジメントなし。 | 1回 |
| ユーザー設定 | 節電する機能を自分で選ぶことができるモードです。どの機能を使うかは、BIOSセットアップユーティリティで設定します(p.117) | 2回 |
| 動作性能優先 | 節電をしながら高性能で使いたいときに選びます。節電効果はやや低めです。 | 3回 |
| 動作時間優先 | 性能を抑えることにより節電効果を高めたいときに選びます。 | 4回 |

 : ご購入時の設定(バッテリー駆動時のみ有効)



チェック!!

- ・【Fn】を押しながら【F6】を押してピープ音の音量を「なし」にしていると、モード識別の音が鳴りません。音量を「なし」以外にしてください。
- ・パワーマネジメントは、バッテリー駆動時に有効になります。ACコンセントから電源を供給しているときにパワーマネジメントを使いたい場合は、BIOSセットアップユーティリティで「AC電源時のパワーマネジメント」を「使用する」に設定してください(p.118)

コントロールパネルの「電源の管理」の機能を使うと、あらかじめ設定されている電源の状態を選ぶことができます。

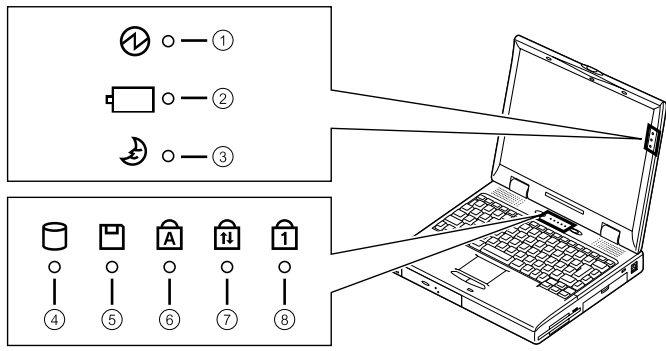
ご購入時には、「常にオン」「ホーム / オフィスデスク」「ポータブル / ラップトップ」の3つのモードが設定されています。それぞれのモードの設定内容は、「電源設定」タブで確認することができます。

また、パソコンの利用形態に合わせ、好みの電源状態を新たに登録することもできます。新しいモードを設定する手順は、次のとおりです。

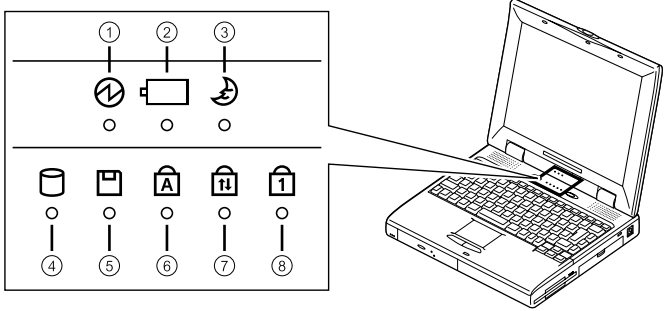
- 1** 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックする
「電源の管理」が表示されます。
- 2** 「電源設定」タブをクリックする
- 3** 「システスタンバイ」「モニタの電源を切る」「ハードディスクの電源を切る」のそれぞれの時間を設定する
- 4** 「名前を付けて保存」ボタンをクリックする
- 5** 任意の保存名を入力し、「OK」ボタンをクリックする
これで、新しいモードが登録されました。

表示ランプ

13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデルの場合



12.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデルの場合



電源ランプ①

- ・ 緑点灯 電源が入っている
- ・ 緑点滅 スタンバイ状態
- ・ 黄色点灯 バッテリー容量が少ない
- ・ 黄色点滅 スタンバイ状態(バッテリー容量が少ない)
- ・ オレンジ点灯 . バッテリー容量が残りわずか
- ・ 消灯..... 電源が切れている、または休止状態

バッテリー充電ランプ

- ・ オレンジ点灯 . バッテリー充電中
- ・ オレンジ点滅 . バッテリー異常、またはバッテリーリフレッシュが必要
- ・ 消灯 ACアダプタが接続されていない、または充電完了

サスペンド/スタンバイランプ

- ・ 緑点滅 スタンバイ状態
- ・ 黄色点滅 スタンバイ状態(バッテリー容量が少ない)
- ・ オレンジ点滅 スタンバイ状態(バッテリー容量がとても少ない)
- ・ 消灯 スタンバイ状態ではない

ハードディスクアクセスランプ

- ・ 緑 アクセス中
- ・ 消灯 アクセスしていない

フロッピーディスクアクセスランプ

- ・ 緑 アクセス中
- ・ 消灯 アクセスしていない

キャップスロックキーランプ

- ・ 緑 【Caps Lock】がロックされている
英字を入力すると大文字になります。
- ・ 消灯 【Caps Lock】がロックされていない
英字を入力すると小文字になります。

スクロールロックランプ

- ・ 緑 【Scr Lock】がロックされている
- ・ 消灯 【Scr Lock】がロックされていない

ニューメリックロックキーランプ

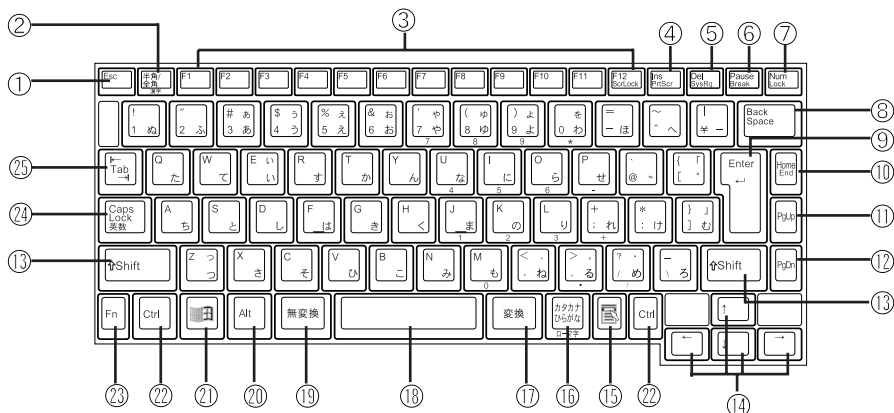
- ・ 緑 【Num Lock】がロックされている
キーを押すとキー前面の文字が入力されます。
- ・ 消灯 【Num Lock】がロックされていない
キーを押すとキー上面の文字が入力されます。

キーボード

キーボードの基本的な使い方を説明します。

キーの使い方

キーの名称



- ① 【Esc】: エスケープキー
- ② 【半角/全角】: 半角/全角キー
- ③ 【F1】~【F12】: ファンクションキー
- ④ 【Ins】: インサートキー
- ⑤ 【Del】: デリートキー
- ⑥ 【Pause】: ポーズキー
- ⑦ 【Num Lock】: ニューメリックロックキー
- ⑧ 【Back Space】: バックスペースキー
- ⑨ 【Enter】: エンターキー(リターンキー)
- ⑩ 【Home】: ホームキー
- ⑪ 【PgUp】: ページアップキー
- ⑫ 【PgDn】: ページダウンキー
- ⑬ 【Shift】: シフトキー
- ⑭ 【 ⌂ ⌂ ⌂ 】: カーソル移動キー
- ⑮ 【Application】: アプリケーションキー
Windows 98、Windows NT 4.0使用時に
使うことができます。
- ⑯ 【カタカナ ひらがな】: かなキー
- ⑰ 【変換】: 変換キー
- ⑱ スペースキー
- ⑲ 【無変換】: 無変換キー
- ⑳ 【Alt】: オルトキー
- ㉑ 【Windows】: Windowsキー
Windows 98、Windows NT 4.0使用時に
使うことができます。
- ㉒ 【Ctrl】: コントロールキー
- ㉓ 【Fn】: エフエヌキー
- ㉔ 【Caps Lock】: キャップスロックキー
- ㉕ 【Tab】: タブキー









特殊なキーの使い方

| キー操作 | 説明 |
|---|---|
| 【Num Lock】 | 一度押すとニューメリックロックキーランプが点灯し、キー前面に青で表示されている数字や記号を入力できるようになります。もう一度押すとニューメリックロックキーランプが消灯し、キー上面の文字が入力できるようになります。 |
| 【Shift】+【Caps Lock】 | 一度押すとキャップスロックキーランプが点灯し、ローマ字を入力すると大文字が入力されます。もう一度押すとキャップスロックキーランプが消灯し、ローマ字を入力すると小文字が入力されます。 |
| 【Alt】+【半角 / 全角】 または 【半角 / 全角】MS-IME98使用時のみ) | 一度押すと日本語入力システムがオンになり、日本語が入力できるようになります。もう一度押すと日本語入力システムがオフになり、日本語が入力できなくなります。 |
| 【Alt】+【カタカナ ひらがな】 (MS-IME98使用時のみ) | 日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すとかな入力モードになり、キー上面のかな文字で日本語を入力できるようになります。もう一度押すとローマ字入力モードになり、キー上面のローマ字の組み合わせで日本語を入力できるようになります。 |
| 【Caps Lock】 | 日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すと英数字が入力されるようになります。 |
| 【カタカナ ひらがな】 | 日本語入力システムがオンになっていて英数字が入力されるモードになっているとき、一度押すとひらがなやカタカナを入力できるようになります。 |
| 【Fn】 | 他のキーと組み合わせて機能を実行します(P.35) |

ホットキー機能【Fn】の使い方)

【Fn】と他のキーを組み合わせることで、本機の設定をキー操作で簡単に調整することができます。これをホットキー機能といいます。

組み合わせが可能なキーとその機能は【Fn】と同じ色（ブルー）でキー上面に印字されています。

| 機能 | キー操作 | 説明 | APMモード時 | ACPIモード時 |
|---|------------------|---|---------|----------|
| 休止状態 | 【Fn】+ スリープボタン | 休止状態にします。 | | - |
| ディスプレイ 切り替え  | 【Fn】+【F3】 | 別売のCRTディスプレイが接続されているとき、キーを押すごとに、「両方表示」「内蔵液晶ディスプレイ」「外部モニター」の順に切り替わります。 | | - |
| スリープ 1  | 【Fn】+【F4】 | スリープ状態にします。 | | - |
| 液晶バックライトの調節 2  | 【Fn】+【F5】 | キーを押すごとに、液晶ディスプレイのバックライトの明るさが増減します。 | | - |
| ビープ音量 調節    | 【Fn】+【F6】 | ビープ音の音量を調節します(なし、小、中、大) | | - |
| 節電レベル 選択 | 【Fn】+【F7】 | パワーマネジメントレベルを変更して、望みの節電レベルを選択します(p.29) | | - |
| 輝度を上げる 3  | 【Fn】+【F8】 | キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が増加します(4段階) | | - |
| 輝度を下げる 3  | 【Fn】+【F9】 | キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が低下します(4段階) | | - |
| 画面の伸縮 | 【Fn】+【F10】 | 低解像度時に、ディスプレイの画面を拡大表示するよう切り替えます。 | | - |
| スクロールロック | 【Fn】+【F12】 | 【Scr Lock】の役割 | | |
| プリントスクリーン | 【Fn】+【Ins】 | 【Prt Scr】の役割 | | |
| システム リクエスト | 【Fn】+【Del】 | 【Sys Req】の役割 | | |

| 機能 | キー操作 | 説明 | APMモード時 | ACPIモード時 |
|----------|------------------|------------|---------|----------|
| 右Alt | 【Fn】+【Alt】 | 右【Alt】の役割 | | |
| 右Windows | 【Fn】+【田】 | 右【田】の役割 | | |
| Break | 【Fn】+ 【Pause】 | 【Break】の役割 | | |
| End | 【Fn】+ 【Home】 | 【End】の役割 | | |

- 1 BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で、スタンバイ状態(サスペンド)にするか、休止状態(ハイバネーション)にするかを設定できます。
- 2 12.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデルのみ
- 3 13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデルのみ

【Fn】+【F3】～【F9】で設定した内容は、電源を切ったり再起動したりすると解除されます。ただし、次の設定については、BIOSセットアップユーティリティで、電源を入れ直したり再起動したりしたあとでも有効になるように設定することができます(p.118)

・【Fn】+【F8】/【F9】輝度調節)

キーボードを設定する

1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「キーボード」アイコンをダブルクリックする
「キーボードのプロパティ」が表示されます。

「キーボードのプロパティ」ウィンドウでは、ウィンドウ左上の「速度」「言語」の各タブを選択すると、次のような設定を行うことができます。

- ・文字入力時の繰り返し入力のタイミング調節
- ・カーソルの点滅速度の調節
- ・日本語入力システムの選択
- ・レイアウトの設定

「速度」タブでの設定

表示までの待ち時間

一つのキーを押し続けたときに、入力の繰り返しが始まるまでの時間を調節します。

表示の間隔

一つのキーを押し続けたときに、文字の入力が繰り返される間隔を調節します。

カーソルの点滅速度

カーソルの点滅する間隔を調節します。

「言語」タブでの設定

言語

よく使う日本語入力システムを一覧から選び、「標準に設定」をクリックすると、その日本語入力システムが「標準の言語」欄に表示され、登録されます。

追加

「追加」ボタンをクリックして「言語の追加」ウインドウを表示させ、追加したい言語を選びます。

プロパティ

日本語入力システムを一覧から選んで、「プロパティ」ボタンをクリックすると、環境設定のウインドウが表示されます。「ローマ字 / かな入力」、「入力モード / 方式」、「句読点の種類」などを設定できます。

削除

削除したい言語を一覧から選んで、「削除」ボタンをクリックすると、その言語が一覧から削除されます。




言語の切り替え

言語の切り替えを行うキーの組み合わせを選択できます。

タスクバー上に状態を表示

「タスクバー上に状態を表示」をクリックして にすると、日本語や日本語入力システムを簡単に切り替えることができるメニューがタスクバーに表示できます。

別売のキーボードを使うには

別売のテンキーボードやキーボードを接続して使用することができます。テンキーボードは本機背面のマウス/テンキーボード用コネクタ/  口に接続します。キーボードはUSB対応のキーボードを本機のUSBコネクタに接続することができます。

別売の「PK-KB010(109日本語USB HUB付きキーボード)」は、本機のキーボードと同時に使うことができます。「PK-KB010(109日本語USB HUB付きキーボード)」以外のUSBキーボードと本機のキーボードを同時に使うことはできません(テンキーボードは同時に使うことができます)。

参照▶ 別売のテンキーボードやキーボードの接続 PART2の「その他の機器を使う」(p.105)

日本語入力の使い方


本機では、次の日本語入力システムが使用できます。

- ・ 太郎モデル : ATOK11とMS-IME98(既定値はATOK11)
- ・ その他のモデル : MS-IME98


入力方法や操作方法については、各日本語入力システムの「ヘルプ」をご覧ください。

日本語入力のオン、オフのし方



オンのし方

- 1 タスクバーの右にある  をクリックする
- 2 表示されたメニューの「日本語入力-オン」をクリックする
これで日本語入力がオンになりました。


オフのし方

- 1 タスクバーの右にある  をクリックする
- 2 表示されたメニューの「日本語入力-オフ」をクリックする
これで日本語入力がオフになりました。

MS-IME98の「ヘルプ」を参照するには

- 1 MS-IME98のツールバーから「ヘルプ」ボタン  をクリックする
- 2 メニューの「目次とキーワード」をクリックする
- 3 表示されたヘルプ画面で調べたい項目をダブルクリックする
- 4 「ヘルプ」を終了したいときは  をクリックする

ATOK11の「ヘルプ」を参照するには(一太郎モデルのみ)

- 1 ATOK11のツールバーから「操作パレット」ボタンをクリックする
- 2 操作パレットの中からヘルプボタンをクリックする
- 3 表示されたヘルプ画面で調べたい項目をダブルクリックする
- 4 「ヘルプ」を終了したいときは  をクリックする

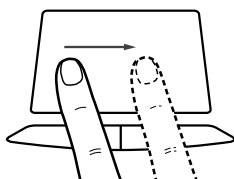
ポインティングデバイス

本機には、ポインティングデバイスとしてNXパッドが内蔵されています。NXパッドは、コントロールパネルを使ってより使いやすいように設定できません。

NXパッドの使い方

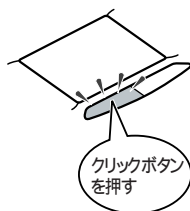
ポインタ(カーソル)の移動

パッド上で指を動かすと、指の動きに合わせて画面上のポインタ(カーソル)が動きます。



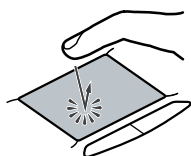
クリックとダブルクリック

左または右のクリックボタンを押します。1回押すことを「クリック」、すばやく2回続けて押すことを「ダブルクリック」と言います。



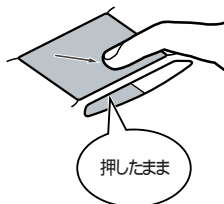
タップ

クリックボタンを押す代わりに、指先でパッドを軽くたたいてクリックする方法をタップと言います。1回たたくことをタップ、2回連続してたたくことをダブルタップと言います。それぞれクリック、ダブルクリックするのと同じことです。

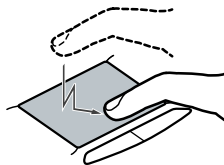


ドラッグ

アイコンやフォルダの上にポインタを合わせ、左クリックボタンを押したまま指をパッド上で軽くすべらせると、ドラッグできます。



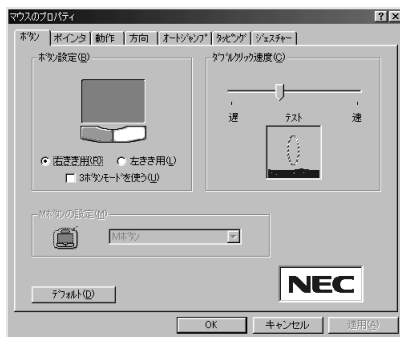
アイコンやフォルダの上にポインタを乗せた状態で、パッドに2回続けて触れ、2回目に触れたときにパッドから指を離さずにスライドさせてもドラッグできます。



ポインティングデバイスを設定する

Windowsでポインティングデバイスをより使いやすく設定することができます。

- 1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする。「マウスのプロパティ」が表示されます。



「マウスのプロパティ」ウィンドウでは、ウィンドウの左上の各タブを選択すると、次のような設定を行うことができます。

- ・ボタンの設定
- ・ポインタデザインの選択
- ・ポインティングデバイスの動作の調節
- ・方向の調節
- ・オートジャンプの設定
- ・タッピングの調節
- ・ジェスチャーの設定(NXパッド使用時のみ設定可能)

「ボタン」タブの設定

ボタン設定

右きき用、左きき用、それぞれに合わせて左右のクリックボタンの設定ができます。

ダブルクリック速度

ダブルクリックのクリック間隔の調節を行います。

Mボタンの設定

「ボタン設定」欄で「3ボタンモードを使う」を (オン) にするとMボタンの設定ができます。

Mボタンの機能を使うと、対応アプリケーションでパン機能などを使うことができます。

「ポインタ」タブの設定

デザイン

ポインタのデザインを変更することができます。

「動作」タブの設定

アクセラレーション

パッド上で指を素早く動かすことで、ポインタの移動速度を「速度」欄で設定した以上に速くすることができます。パッド上でゆっくり指を動かしたときは「速度」で設定した速度で動きます。

速度

ポインタの動作速度を調節します。

軌跡

「表示する」を (オン) にすると、ポインタの軌跡が表示されます。

「方向」タブの設定

方向設定

パッド上で指を動かした方向と、画面上のポインタの移動方向とを調整します。

オートジャンプ

オートジャンプ

ウィンドウやダイアログボックスを開いたときに、ポインタをボタンの上やウィンドウ左上のコントロールメニューボックス、ウィンドウの中央などに自動的に合わせるように設定できます。

タッピング

タッピング

(オフ) にすると、タップが効かないように設定できます。

タッピング速度

タップする速度を調節します。タップの間隔(指をパッドに触れてから離すまで)を調整することで、まちがって触れただけではタップにならないように設定できます。

ドラッグロックの設定

タッピングによるドラッグをしている場合のドラッグロックの設定ができます。ドラッグしている途中で、指を離してもドラッグしたままの状態を保つことができます。

タイピング

キーボードからキー入力しているときに、タップの機能が働かないように設定できます。キー入力時にまちがってタップされるのを防ぐことができます。キー入力が終わったら、タップは有効になります。

ジェスチャー

コーナータップ

パッド部の左上角や右上角をタップする動作に、右ボタンやMボタンの役割を割り当てることができます。

イージースクロール

(オン)にして「オプション」ボタンを選ぶと、次の各機能を使うように設定できます。

- ・オートスクロール

スクロールバーが表示されているウィンドウにポインタを合わせ、NXパッドの左下または右上の角に指を置くと、画面をスクロールさせることができます。

- ・スクロール領域

NXパッドのパッド部分のうち、イージースクロール機能で使用する部分を、「スクロール領域」といいます。数字を大きくするほど、スクロール領域がひろがります。

- ・クイックスクロール

スクロールバーが表示されているウィンドウにポインタを合わせ、NXパッドのスクロール領域を指でなぞると、画面をスクロールさせることができます。ただし、一部のアプリケーションや、スクロールバーが隠れている場合は、スクロールしないことがあります。

- ・ホイールエミュレーション

「ホイールエミュレーションを使う」を (オン) にすると、NXパッドの右端を指でなぞる操作が、ホイール付マウスのホイールを動かす操作と同じになります。

フロッピーディスクドライブ

本機には3.5インチフロッピーディスクドライブが1台内蔵されています。

使用できるフロッピーディスクの種類

本機では、次の形式のフロッピーディスクを使うことができます。

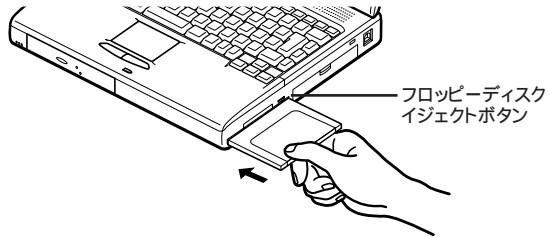
| 作業内容 フォーマット | データの読み書き | フォーマット | ディスクコピー |
|----------------|----------|--------|---------|
| 640Kバイト | - | - | - |
| 720Kバイト | | | |
| 1.44Mバイト | | | |
| 1.2Mバイト | | - | - |

- ✓チェック!!**
- ・本機では、PC-9800シリーズのパソコンでフォーマットされたフロッピーディスクを使ってシステムを起動することはできません。
 - ・1.2Mバイトのフロッピーディスクは、Windows 98の「ディスクのコピー」でバックアップをとることができません。
 - ・「ディスクのコピー」のコピー先のフロッピーディスクは、コピー元のフロッピーディスクと同じ容量でフォーマットされたものを使用してください（これはMS-DOSプロンプトのDISKCOPYコマンドでも同様です）。

フロッピーディスクのセットのし方と取り出し方

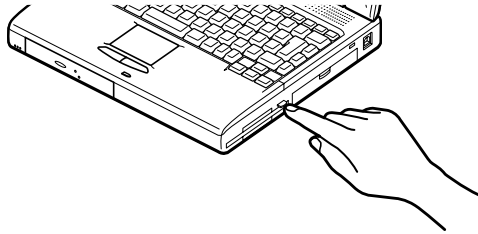
フロッピーディスクのセットのし方

- 1 カチッと音がするまでフロッピーディスクをゆっくりと水平に差し込む
フロッピーディスクがセットされるとイジェクトボタンが少し飛び出します。




フロッピーディスクの取り出し方

- 1 イジェクトボタンを押す
フロッピーディスクが少し飛び出します。



- 2 フロッピーディスクをゆっくりと水平に引き出す

✓チェック!! フロッピーディスクを書き込み、または読み取り中は、フロッピーディスクアクセスランプ  が点灯します。アクセスランプ点灯中は、絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因となります。

内蔵ハードディスク

ハードディスクは高速で回転する円盤（ディスク）上に、Windows 98やアプリケーションなどのソフトウェアや、それらで作成したファイルを磁気的に記録して、読み出すための精密装置です。強い衝撃や過度の重量などが加わらないよう、取り扱いにご注意ください。

また、大切なデータを保護するため、定期的にデータのバックアップをとるようおすすめします。

領域の確保とフォーマット（VersaProのみ）

VersaProの2Gバイトを超えるハードディスクが搭載されているモデルでは、ご購入時には約2Gバイト（2,047Mバイト）のみが使用できるようになっています。残りの容量を使用するには、ハードディスクの領域の確保とフォーマットが必要です。なお、LaVieではこの作業は必要ありません。

領域の確保のし方

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」で「MS-DOS プロンプト」をクリックする
「C: ¥WINDOWS >」が表示されます。
- 2 キーボードからFDISK /Xと入力し、【Enter】を押す
「大容量ディスクのサポートを可能にしますか (Y/N)」と表示されます。
- 3 キーボードからNを入力し、【Enter】を押す
FDISK オプション画面が表示されます。


Yを選択すると、FAT32で領域が作成されます。FAT32を利用するには、『困ったときのQ&A』のPART3「付録～FAT32ファイルシステムの利用」をご覧ください。

- 4 キーボードから1を入力し、【Enter】を押す
領域を作成する画面が表示されます。
- 5 キーボードから2を入力し、【Enter】を押す
「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。拡張MS-DOS領域を作ります」と表示されます。

- 6 キーボードの【Enter】を押す
「拡張MS-DOS領域を作成しました。」と表示されます。
- 7 キーボードの【Esc】を押す
「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。」と表示されます。
- 8 サイズを入力して【Enter】を押す
「論理MS-DOSドライブを作成しました。ドライブ名は変更または追加されました」と表示されます。
- 9 拡張MS-DOS領域がなくなるまで手順8を繰り返し、すべての拡張MS-DOS領域を論理ドライブに割り当てる
「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています」と表示されます。
- 10 キーボードの【Esc】を3回押す
「C: ¥WINDOWS >」の表示に戻ります。
- 11 キーボードからEXITと入力し、【Enter】を押す
Windows 98の画面に戻ります。
- 12 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
「Windowsの終了」画面が表示されます。
- 13 「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

フォーマットの仕方

領域を確保したら、続いてハードディスクをフォーマットします。

 **チェック!!** すでに使用されているドライブをフォーマットすると、そのドライブに保存されていたすべてのデータが消えてしまいます。フォーマットをする際は、十分注意してください。

- 1 「マイコンピュータ」をダブルクリックする
- 2 新たに領域を確保したドライブをクリックする

- 3 メニューバーの「ファイル」「フォーマット」をクリックする
フォーマットの画面が表示されます。
 - 4 「通常のフォーマット」をクリックする
 - 5 「スタート」ボタンをクリックする
確認の画面が表示されます。
 - 6 「OK」ボタンをクリックする
フォーマットが始まります。
しばらくすると、フォーマットが終了してフォーマットの結果の画面が表示されます。
 - 7 「閉じる」ボタンをクリックする
スキャンディスクの実行を促す画面とヘルプが表示されます。
- スキャンディスクについては、次項の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。
- 8 「OK」ボタンをクリックする
 - 9 「フォーマット」の画面をクリックする
 - 10 「閉じる」ボタンをクリックする
 - 11 ヘルプの内容に従って、スキャンディスクを実行する
複数の領域を確保したいときは、手順2～11の操作を繰り返してください。

ハードディスクのメンテナンス

Windows 98には、ハードディスクの障害を検出したり、アクセス速度を保つためのメンテナンスソフトが組み込まれています。

メンテナンスソフトには、ディスククリーンアップやメンテナンスウィザードなどがあります。詳しくは、Windows 98のヘルプをご覧ください。

スキャンディスク

ハードディスクの表面やハードディスクに保存されているデータに、障害がないかどうかを調べるためのWindowsのツールです。もし障害があった場合は、可能な範囲で修復することができます。次の手順で操作します。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」で「スキャンディスク」をクリックする
「スキャンディスク」ウインドウが表示されます。
- 2 「エラーチェックをするドライブ」の一覧から、チェックするドライブをクリックする
ここではハードディスクドライブを選びます。
- 3 「開始」ボタンをクリックする
チェックが始まります。

チェックには数分から数十分かかることがあります。チェックが終了すると、「結果レポート」が表示されます。

デフラグ

ハードディスクは長い間使っていると断片化がおこります。断片化とは、データがハードディスクにばらばらに保存されることで、データの読み書きのスピードの低下につながります。デフラグを実行すると、ばらばらに記録されたデータが最適化されます。

デフラグを実行するには、次の手順で操作します。

用語 デフラグ

「フラグメンテーション(断片化)を解消する」の意味の省略語。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」で「デフラグ」をクリックする
- 2 表示された「ドライブ選択」ウィンドウのリストからデフラグするハードディスクを選ぶ



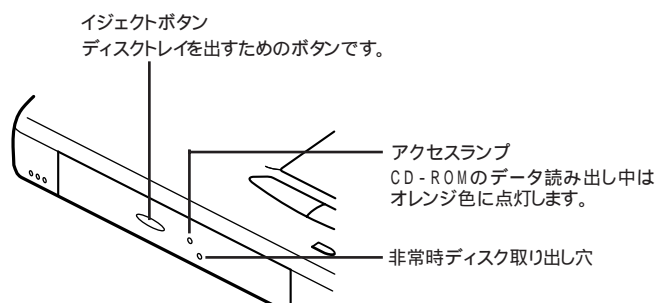
- 3 「OK」ボタンをクリックする
ディスクの最適化がはじまります。
「ディスクの最適化」が終了したら、画面の指示に従い、デフラグを終了してください。

チェック!! デフラグの実行中は、絶対に電源を切ったり、再起動したり、スタンバイ状態や休止状態にしないでください。

CD-ROMドライブ

(CD-ROMドライブ搭載モデルのみ)

ここではCD-ROMドライブの取り扱いについて説明しています。



CD-ROMドライブのボタンやアクセスランプ、非常時ディスク取り出し穴の位置や形状は、イラストと多少異なることがあります。

使用上の注意

- ・ CD-ROMドライブ内のレンズには触れないでください。指紋などの汚れによってデータが正しく読み取れなくなるおそれがあります。
- ・ アクセスランプが点灯しているときは、CD-ROMを絶対に取り出さないでください。本機の故障の原因となります。
- ・ ラベルなどが貼ってあるなど、重心バランスの悪いCD-ROMを使用すると、本機の操作中に手に振動を感じる場合があります。これは故障の原因となるため、CD-ROMの盤面にはラベルやテープなどを貼らないでください。

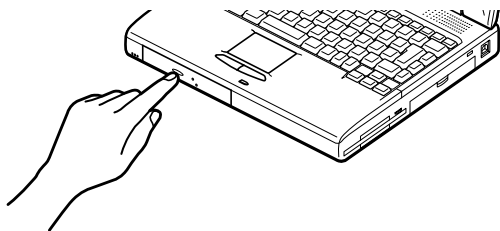
CD-ROMのセットのし方と取り出し方

1

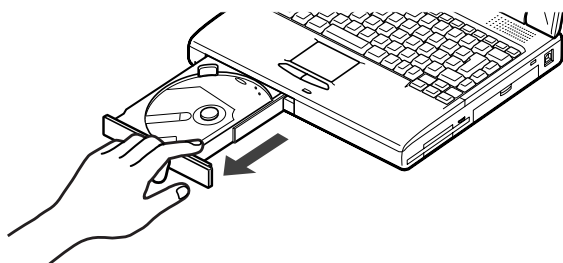
本機
の
機
能

CD-ROMのセットのし方

- 1 イジェクトボタンを押す
ディスクトレイが少し飛び出します。

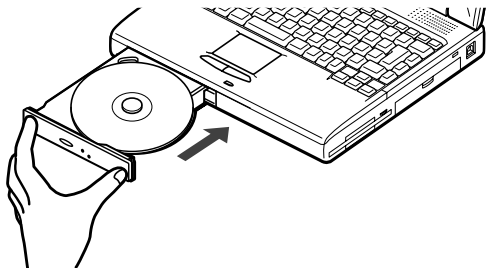


- 2 手でディスクトレイを静かに引き出す



- 3 CD-ROMのデータ面（文字などが印刷されていない面）を下にして、傷など付けないようディスクトレイの中央に置き、ディスクを軸にしっかりとめ込む

- 4** イジェクトボタンに触れないようにディスクトレイ前面を押して、ディスクトレイを元の位置に戻す

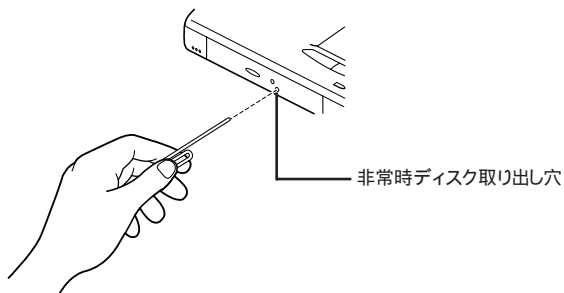


CD-ROMの取り出し方

- 1** イジェクトボタンを押す
ディスクトレイが少し飛び出します。
- 2** 手でディスクトレイを静かに引き出してから、CD-ROMを取り出す
- 3** イジェクトボタンに触れないようにディスクトレイの前面を押して、ディスクトレイを元の位置に戻す

非常時のCD-ROMの取り出し方

ソフトウェアの暴走など不慮の原因で、イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこなくなった場合は、非常時ディスク取り出し穴に太さ1.3 mm程の針金を押し込むと、トレイを手動で引き出すことができます。



■ 針金は太めのペーパークリップなどを引き伸ばして代用できます。

✓チェック!! イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない、といった非常時以外は、非常時ディスク取り出し穴を使って取り出さないようにしてください。



画面表示機能

本機の液晶ディスプレイで表示できる解像度と表示色について説明しています。

本機は、液晶ディスプレイだけでなく、別売のCRTディスプレイやプロジェクタなどに画面を表示することもできます。

参照▶ 別売のディスプレイやプロジェクタについて PART2の「外部ディスプレイを使う」(p.90)

表示できる解像度と表示色

用語 解像度

解像度とは、ディスプレイの画面上に表示できる文字や図面などの情報量を表すものです。この数字が大きくなるほど、画面上に一度に多くの情報を表示することができ、より細かな表現ができます。

本機のカラー液晶ディスプレイは、標準で次の解像度と表示色を表示できます。

| 解像度 | 表示色 | 本機の液晶ディスプレイ のみに表示 | 別売の ディスプレイ のみに表示 | 本機の液晶 ディスプレイ と別売の ディスプレイ の同時表示 ¹ |
|--------------|----------------------|----------------------|------------------------|---|
| 640×480ドット | 16色 | | | |
| | 26万色中256色 | | | |
| | 65,536色 | | | |
| | 1,677万色 ² | | | |
| 800×600ドット | 26万色中256色 | | | |
| | 65,536色 ³ | | | |
| | 1,677万色 ² | | | |
| 1,024×768ドット | 26万色中256色 | 5 | | 5 |
| | 65,536色 ⁴ | 5 | | 5 |

：画面のまわりが黒く表示される（APMモードの場合、【Fn】を押しながら【F10】を押して拡大表示可能。ACPIモードの場合、拡大表示不可）

：13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデルでは、画面のまわりが黒く表示される（APMモードの場合、【Fn】を押しながら【F10】を押して拡大表示可能。ACPIモードの場合、拡大表示不可）

：フルスクリーン表示可能

1：別売CRT未接続時は本機の液晶ディスプレイのみに表示される

2：本機の液晶ディスプレイでは、ウィンドウアクセラレータのデザイン機能により実現

3：12.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデルのご購入時の設定

4：13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデルのご購入時の設定

5：13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデルではフルスクリーン表示、12.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデルではバーチャルスクリーン表示（p.58）

320×200ドット、320×240ドット解像度対応のアプリケーションなどは、本機では画面のまわりが黒く表示されます。

解像度と表示色を変更する

ディスプレイの解像度と表示色の変更はコントロールパネルで設定します。

本機の画面の設定を変更する

- 1 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
「画面のプロパティ」が表示されます。

2 「設定」タブをクリックする



3 画面の領域または色を変更する

画面の領域の変更：

「画面の領域」でつまみを「大」の方向へドラッグすると高解像度に、「小」の方向へドラッグすると低解像度になります。

色の変更：

「色」で▼をクリックし、選択一覧から変更します。この選択一覧には、使用している液晶ディスプレイとディスプレイアダプタが対応しているカラーパレットが一覧表示されます。

High Colorとは65,536色のことで、True Colorは1,677万色のことです。

4 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックする このあとは、画面の指示に従って操作してください。

バーチャルスクリーン(12.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデルのみ)

バーチャルスクリーンとは、1,024×768ドットの高解像度でディスプレイの画面上に表示するための仮想画面のことです。バーチャルスクリーンでは、仮想画面全体のサイズが実際のディスプレイの画面より大きくなるので、ディスプレイには常に仮想画面の一部が表示されている状態となります。画面をスクロールすると、ディスプレイの画面上で見えていない部分を表示することができます。

バーチャルスクリーンでは、「スタート」ボタンがディスプレイの画面上から外れ、表示されないことがあります。

ディスプレイの画面上の見えていない部分を見るには、マウスポインタをディスプレイの画面のへりに移動させます。マウスポインタの移動した方向に画面がスクロールし、見えなかった部分が表示されます。

1,024×768ドット(バーチャルスクリーンモード)の設定方法(12.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデルのみ)

- 1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
「画面のプロパティ」が表示されます。
- 2 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリックする
- 3 「モニタ」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリックする
「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されます。
- 4 「次へ」ボタンをクリックする
- 5 検索方法で「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「すべてのハードウェアを表示」を選択する
- 7 「モデル」から「ラップトップディスプレイパネル(1024×768)」をクリックする
- 8 「次へ」ボタンをクリックし、再び「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「完了」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックする
- 10 「OK」ボタンをクリックする
これで設定が完了しました。

この後は、画面の指示に従って操作してください。上記の設定をした後は、「ディスプレイの詳細」タブで、次の解像度を設定できるようになります。

- ・ 640×480ドット
- ・ 800×600ドット
- ・ 1,024×768ドット

セキュリティ機能

本機には、本機の不正使用やデータなどの盗難を予防するため、次のようなセキュリティ機能が搭載されています。

- ・パスワード機能
- ・I/Oロック(APMモードのみ)

チェック!! セキュリティ機能を使用している場合でも、「絶対に安全」ということはありません。重要なデータなどの管理、取り扱いには十分注意してください。

本機のセキュリティ機能

本機のセキュリティ機能には、次のようなものがあります。セキュリティ機能は、BIOSセットアップユーティリティの「セキュリティ」の「パスワード」または「I/Oロック」の項目で設定します(p.112, 113)。

パスワード

- ・ユーザーパスワード

日常的に本機を使用する人のためのパスワードです。

- ・スーパーバイザーパスワード

システム管理者など、本機の運用を管理する人のためのパスワードです。

チェック!! 設定したパスワードは忘れないように控えておくことをおすすめします。パスワードを忘れてしまった場合には解除処置が必要です。Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

参照 NECのお問い合わせ先 『NEC PC あんしんサポートガイド』または『メンテナンス&サポートのご案内』

パスワードの解除処置を依頼されるときは、次のことをご確認ください。

- ・パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。また、機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り処置をお受けいたします。

- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。
 1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 2. 身分証明書(お客様ご自身を確認できるもの)
 3. 印鑑
- ・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙に必要な事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

I/Oロック(APMモードのみ)

シリアルポート、赤外線ポートやパラレルポートなどを使用できないように設定できます。この機能により、プログラム、データなどが不正に流出するのを予防できます。I/Oロックは、BIOSセットアップユーティリティで設定します(p.113)

セキュリティ機能の使用例

セキュリティ機能は、本機の使用状況に合わせて次のように利用できます。

日常的な使用者以外が本機の設定を管理したい場合

本機を日常的に使用している人とは別の人が本機の設定をしたい場合、はじめに管理者がユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの両方を設定しておき、ユーザーパスワードのみを各利用者に通知します。この機能を使うと、管理者以外はBIOSセットアップユーティリティのパスワードに関する設定を変更することができなくなります。

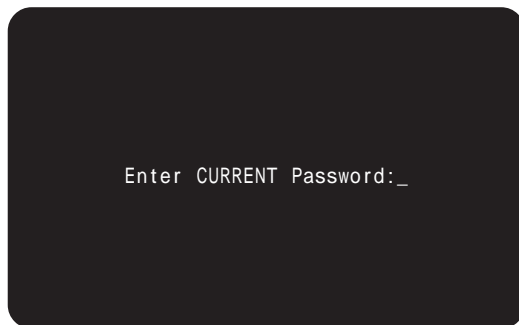
使用者が本機の設定を管理したい場合

本機を日常的に使用する人がBIOSセットアップユーティリティのパスワードに関する設定も自由に行いたい場合、使用者がスーパーバイザーパスワードを設定します。この機能を使うと、使用者以外には本機の起動やBIOSセットアップユーティリティの設定変更ができなくなります。

パスワードを設定しているときの電源の入れ方

BIOSセットアップユーティリティの「セキュリティ」の「パスワード」の「パスワード確認タイミング」が「システム・セットアップ起動時」に設定されている場合は、次の手順で電源を入れます。

- 1 本機の電源を入れるとパスワードを入力する画面が表示される



- 2 設定されているパスワードをキーボードから入力する

- 3 【Enter】を押す



正しいパスワードが入力されると、Windowsが起動します。

- チェック!!**
- ・パスワードの入力中に、キーボードの【Back Space】などを押しても文字を修正することはできません。
 - ・誤ったパスワードが入力されると、「×」と表示されます。パスワードの入力に3回失敗すると、パスワードが入力できなくなります。このときは、電源スイッチをスライドさせて電源を切ったあと、再度手順1からやり直してください。


パスワードを設定しているときのスリープからの復帰

パスワードが設定されているときは、次の手順でスリープ状態から復帰させることができます。


なお、ACPIモードの場合は、復帰時にBIOSセットアップユーティリティのパスワードを使うことはできません(Windowsログオンパスワードでスリープから復帰します)。

1 スリープボタンを押すか、または電源スイッチをスライドさせる
キャップスロックキーランプ  とスクロールロックランプ  が交互に点灯します。このとき画面には何も表示されません。

2 設定されているパスワードをキーボードから入力する

 **チェック!!** ユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの両方が設定されている場合、前回、電源を入れたときに入力したパスワードでないと復帰できません。

3 【Enter】を押す
正しいパスワードが入力されると、スリープから復帰します。

 **チェック!!** ・パスワードの入力中に、【Back Space】を押しても文字を修正することはできません。
・誤ったパスワードが入力されると、スリープから復帰できません。



赤外線通信機能

赤外線通信とは、パソコンとパソコンの間をケーブルで接続せずに赤外線
でデータの交換を行う通信方法です。本機では、IrDA規格に準拠した、通
信速度4Mbpsまでの赤外線通信ができます。

赤外線通信を行うまえに

APMモード時の準備

APMモード(p.14)の場合は、赤外線通信を行う前に、次の準備が必要で
す。

- 1** BIOSセットアップユーティリティを起動する(p.109)
- 2** 「セットアップ」メニュー 「デバイス」 「通信」の「赤外線ポート」
タブを選ぶ
- 3** 「設定方法」を「自動設定」か「手動設定」のどちらかにする
「手動設定」を選んだ場合は、続けて「COM番号」を設定してくださ
い。
- 4** BIOSセットアップユーティリティを終了し、本機を再起動する
「NEC 4Mbps 内蔵赤外線ポート」が検出され、赤外線ドライバが自
動的にインストールされます。
「システム設定の変更」の画面が表示されます。
- 5** 「はい」ボタンをクリックする
本機が自動的に再起動します。
これで、赤外線通信をするための準備ができました。

赤外線モニタについて


Windows 98には、赤外線通信の設定や監視を行う「赤外線モニタ」という
プログラムがあります。「赤外線モニタ」の使い方については、「スタート」ボタ
ン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」
アイコンをダブルクリックし、ヘルプをご覧ください。

赤外線通信をする

ケーブル接続

「ケーブル接続」とは、通信ケーブルや赤外線での他のコンピュータのネットワークや共有フォルダにアクセスする機能です。

詳しくは、「スタート」ボタン 「ヘルプ」でヘルプを開き、「目次」タブから「アクセサリを使う」「通信」「ケーブル接続」をご覧ください。

-  **チェック!!** 「ケーブル接続」で赤外線を使うときは、「使用するポート」として仮想赤外線ポートを指定してください。仮想赤外線ポートは、「赤外線モニタ (p.64)」の「オプション」タブで「アプリケーションをサポートしているポート」の部分に表示されています。

赤外線転送

「赤外線転送」とは、Windows 98が起動している2台のパソコン間で、データの転送を行う機能です。

「赤外線転送」には、次のような方法があります。

エクスプローラを使う

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「エクスプローラ」をクリックする
- 2 送信するファイルを表示させる
- 3 送信するファイルを選択し、右クリックする
- 4 「送る」「赤外線を受信側」をクリックする

ドラッグ&ドロップを使う

- 1 デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックする
- 2 「スタート」ボタン 「プログラム」「エクスプローラ」をクリックする
- 3 送信するファイルを表示させる

4 送信するファイルを選択し、「マイコンピュータ」の「赤外線を受信側」へドラッグ&ドロップする

マイコンピュータを使う

1 デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックする

2 「範囲内にある利用可能なデバイス」から送信相手のパソコンを選ぶ

3 「ファイルの送信」ボタンをクリックし、送信するファイルを選ぶ

Intellisyncを使う

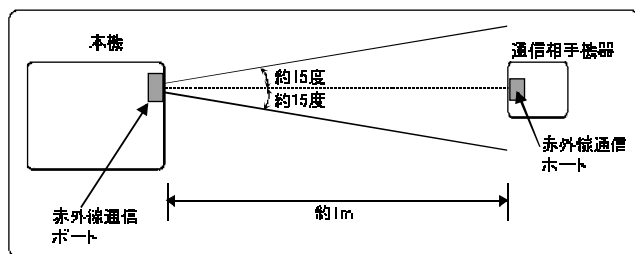
Intellisyncは、赤外線や通信ケーブルを使ってファイルの転送を行うツールです。

Intellisyncについては、PART4の「Intellisync」(p.165)をご覧ください。

- チェック!!**
- ・ Intellisyncの赤外線通信は、APMモードでのみ使用できます。
 - ・ 赤外線転送とIntellisyncは、同時に使用することはできません。

機器の配置について

赤外線通信を行う機器は次の範囲内に配置してください。



- ・ 互いの機器の赤外線通信ポートが真正面に向き合うようにする
- ・ 互いの機器の赤外線通信ポートの距離を約1m以内にする

機器を配置するときの注意

- ・ 赤外線通信ポートを汚したり、傷つけたりしない
- ・ 通信相手機器と本機との間に赤外光を遮るような物を置かない
- ・ 互いの機器どうしを接続させない

✓チェック!! 通信相手の赤外線が本機の赤外線通信ポートまで届かないときや通信相手機器の通信可能距離が本機より短い(本機の場合は約1m以内)ときは、通信相手の機器が本機の通信可能範囲にあっても通信できないことがあります。このようなときは、お互いの赤外線通信ポートを真正面でも向き合わせて、できる限り近くに置いてください。このとき、お互いの装置が接触しないようにしてください。

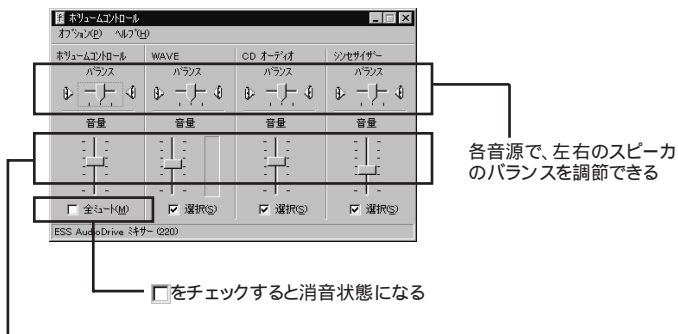
こんなときは通信可能距離が短くなってしまうことがあります。

- ・ 直射日光や蛍光灯の直下
- ・ 機器どうしが正しく向き合っていない
- ・ 他の赤外線通信機器やノイズを発生する機器の近くにある
- ・ 本機の赤外線通信ポートの指向性(約15度程度)の範囲を越えているとき

サウンド機能

ボリュームコントロールを使うと、内蔵音源の再生音量や録音時の入力レベルを調節することができます。

ボリュームコントロール画面を表示するには、「スタート」ボタン「プログラム」「アクセサリ」「エンターテイメント」「ボリュームコントロール」をクリックします。



つまみを上下すると、音量調節ができる

メニューバーの「オプション」「プロパティ」で「プロパティ」ウィンドウを開き、「再生」「録音」「その他」のどれかを選択すると、表示項目を切り替えることができます。



メニューバーの「オプション」「トーン調整」を選択すると、「トーン」ボタンがボリュームコントロール画面に追加表示されるので、それをクリックするとトーン調整画面で調整が行えます。

設定項目一覧

表示できる項目と各項目の説明は、次のようになります。

| 項目名 | 音量調節の種類 | | | 機能 |
|---------------|---------|----|-----|--|
| | 再生 | 録音 | その他 | |
| ボリュームコントロール | | | | 再生するすべての音量を調整します。 |
| レコーディングコントロール | | | | 録音するすべての音量を調整します。 |
| ボイスコマンド | | | | ボイスコマンドのすべての音量を調整します。 |
| ライン入力 | | | | オーディオ入力端子に接続されている機器から入力される音をスピーカから出力するとき、または録音するときの音量として調整します。 |
| WAVE | | | | WAVE データなどのPCM 音源の音量を調整します。 |
| マイクロフォン | | | | マイクロホンから入力される音をスピーカから出力するとき、または録音するときの音量として調整します。 |
| CD オーディオ | | | | CD オーディオの音量を調整します。 |
| シンセサイザー | | | | MIDI 音源の音量を調整します。 |
| AuxB | | | | VOICE モデムの音量を調整します。 |
| IIS | | | | ZV ポートの音量を調整します。 |
| PC スピーカー | | | | 本機では使用できません。 |

内蔵モデム（FAXモデム内蔵モデルのみ）

内蔵のモデムを介して電話回線に接続すると、インターネットや電子メールなどのやり取りができます。

電話回線との接続

接続可能な電話回線のコンセントについて

本機に接続可能な電話回線は2線式のみです。電話回線に接続する前に、使用する電話回線の種類を確認してください。

- ・ モジュラージャック式

本機に付属のモジュラーケーブルで接続できます。

- ・ 3ピンプラグ式コンセント

市販の3ピンプラグ変換アダプタを使用するか、NTTにモジュラージャックの取り付けをご相談ください。

- ・ 直結配線方式

モジュラー式コンセントに変更する必要があります。NTTにモジュラージャックの取り付けをご相談ください。

✓チェック!! 内蔵のFAXモデムは、加入電話回線に適合するように設計されています。加入電話回線以外と接続すると、うまく動作しないことや、内蔵FAXモデムやパソコン本体などを破損するおそれがあります。

電話回線を接続する

⚠警告



感電注意

雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

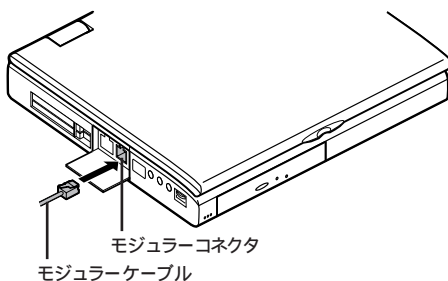
⚠注意



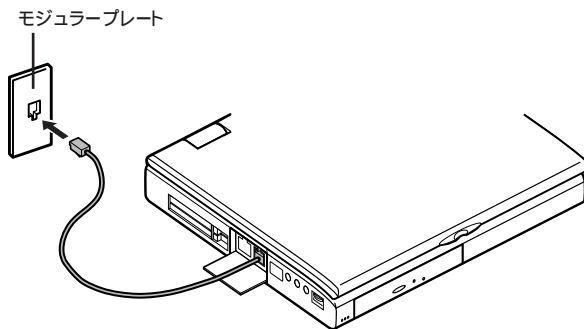
感電注意

モジュラージャックの端子に触れないでください。電話回線と接続しているモジュラージャックを抜いたときに電話がかかってくると、電話回線上に電圧がかかるため、端子に触れると感電することがあります。

- 1 本機を使用中の場合は、「スタート」ボタン「Windowsの終了」で「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」ボタンをクリックし、本機の電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3 電話機のモジュラーケーブルをモジュラーコンセントなどから取り外す
- 4 本機のモジュラーコネクタのカバーを開け、付属のモジュラーケーブルの一方を本機のモジュラーコネクタに接続する

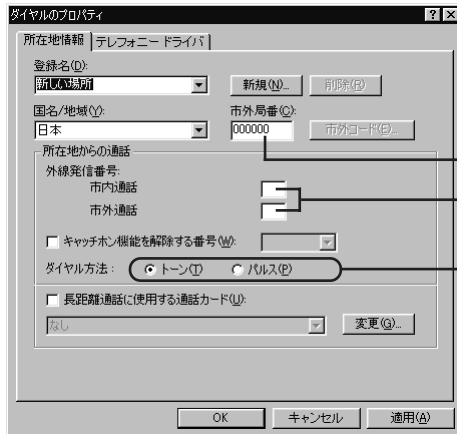


- 5 モジュラーケーブルのもう一方をモジュラープレートなどに接続する



ダイヤル設定のし方

- 1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「テレフォニー」アイコンをダブルクリックする。「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



使用する場所の0を除いた市外局番を入力する

内線電話から外線へ接続する場合には必ず入力する

プッシュ回線を使用するときは「トーン」、ダイヤル回線のときは「パルス」に設定してください。回線の種類が不明の場合は、NTTにお問い合わせください。

この画面はモデルによって異なります。

ここで所在地情報の画面が表示される場合があります。その場合は、0を除いた市外局番を入力し、「OK」ボタンをクリックします。再度「ダイヤルのプロパティ」ボタンをクリックすると、「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

必要な項目を確認して、設定してください。

本機からファックスする

コンピュータのデータを直接FAXに送信したり、コンピュータでFAX受信することもできます。

本機にはファクシミリ通信機能を使うために、次のFAXソフトウェアがインストールされています。

- ・ TELFAX -NX (LaVieで内蔵モデムを使用時のみ)

参照 ▶ TELFAX-NXの使い方 『インターネットガイド』(LaVieにのみ添付))

通信機能使用上の注意

- ・本機では、データ通信、ファクシミリ通信、インターネット通信、留守番電話機能、スピーカーホン機能(ハンズフリー機能)の各機能が使えますが、これらの機能は添付のソフトウェア以外では動作しない場合があります。これらの機能の詳しい使用方法については『インターネットガイド』(LaVieにのみ添付)をご覧ください。
- ・内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。
- ・スピーカーホン機能を使用中、回線の接続場所や状態により、内蔵スピーカーからの音量が小さくなる場合があります。このような場合は、ヘッドホンやイヤホンまたは外付けスピーカーのご使用をおすすめします。また、スピーカーホン機能を使うときには、内蔵または外付けマイクロホンのご使用をおすすめします。
- ・スピーカーホン通話中に相手側からの肉声以外の音(保留音など)が入ると、スピーカーからの音が大きくなったり、小さくなったりすることがあります。その場合は、送話の音量レベルを下げてください。
- ・加入電話回線がトーン式かパルス式かわからないときは、NTTに確認してください。
- ・回線の状態によっては、接続しにくかったり、通信時に雑音が入ることがあります。
- ・キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れてしまいます。
- ・コードレスホンや親子電話などの加入電話回線以外の回線をご使用の場合は、正常なデータの送受信ができなくなる場合があります。
- ・回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できない場合があります。
- ・電話局の交換機の種類によっては、14400bpsでのファクシミリ通信ができないことがあります。この場合には、通信速度を9600bpsにしてください。
- ・データ通信を行う場合、フロー制御はRTS/CTSに設定してください。それ以外に設定すると、データ抜けが生じる可能性があります。
- ・通常の電話回線を使用する場合、送信レベルはご購入時の設定から変更する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場合には、送信レベルの調整が必要なことがあります。送信レベルの調整は、工事担当者以外が行うことは法律で禁じられていますので、当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。
- ・ハイパーターミナルなどを使って通信する場合、ATコマンドが必要です。詳しくは、下記のREADMEファイルをご覧ください。

C: ¥WINDOWS ¥ATCREAD.DOC



ネットワーク通信機能（LAN内蔵モデルのみ）

LAN回線を接続することで、100BASE-TXまたは10BASE-Tネットワークシステムに接続することができます。

初めて100BASE-TXネットワークを設置される方へ

100BASE-TXネットワークを設置するためには、配線工事などの技術が必要ですので、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

また、本機に接続するケーブル類やハブなどは、弊社製品を使用してください。

他社製品を使用し、システムに異常が発生した場合の責任は負いかねますので、ご了承ください。

100BASE-TXネットワークの端末を増設される方へ

すでに100BASE-TXネットワークを設置されている方は、次の機器を用意してください。

- ・100BASE-TX用HUB(8ポート ㍻ PC-9868-41)
- ・リンクケーブルH(PC-9868-28/29 ㍻ 5/10m)

10BASE-Tネットワークの端末として使用される方へ

既存の10BASE-Tネットワークに接続することで、10BASE-Tネットワークの端末として本機を使用することができます。

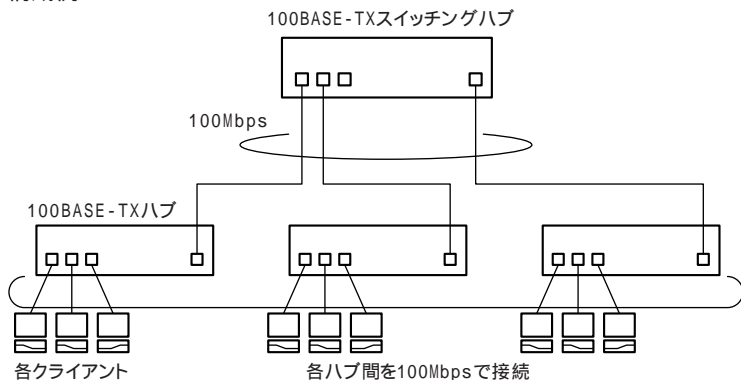
100BASE-TXの概要

100BASE-TXは、従来のEthernet(10BASE-T)の環境で転送速度100Mbpsを実現したネットワークです。従来のネットワーク構成を変更せずに既存のHUBを変更するだけで、高速化がはかれます。

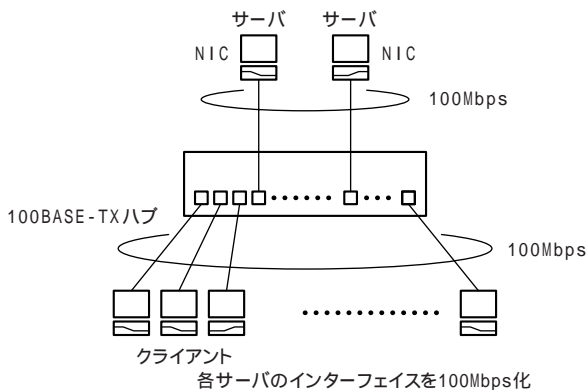
100BASE-TXのアクセス制御方式には、10BASE-Tと同様のCSMA/CD (Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection: 搬送波感知多重アクセス/衝突検出)を採用し、IEEE(米国電気電子技術者協会)802.3で標準化が進められました。

また、伝送媒体には、カテゴリ5のUTPリンクケーブルを使用することで、高速、高品質のデータ転送を実現しています。

構成例



基幹LANの100Mbps化の例



サーバのビッグパイプ化(100Mbps)の例

リンクケーブルについて

ネットワークへの接続には、リンクケーブルが必要です。

本機に内蔵されているLAN インターフェイスは、100Mbps で動作する100BASE-TX 基準を満たしています。

100BASE-TX (100Mbps) で使用するときには、必ずカテゴリ5 (CAT5) のケーブルを使用してください。

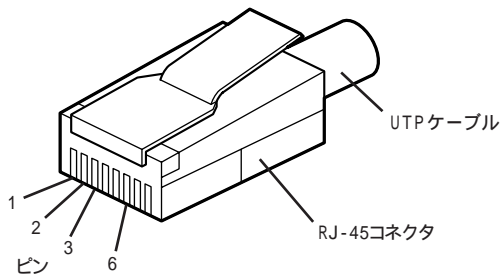
10BASE-T (10Mbps) で使用するときには、カテゴリ3、4、5のケーブルを使用してください。

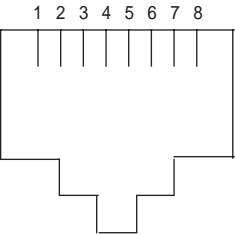


使用可能なUTPケーブル

| 特性 | 仕様 |
|----------|---|
| ケーブルタイプ | 非シールドより対線 |
| コネクタ | RJ-45コネクタ2個 |
| ケーブル最低品質 | Electronics Industries Association/Telecommunication Industries Association (EIA/TIA) 568のカテゴリ5またはそれと同等レベル (100Mbps使用時) |

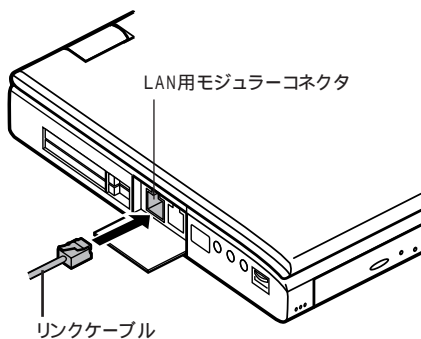
コネクタ形状



| 端子番号 | 信号名 | ピンコネクション |
|------|------|---|
| 1 | TD + |  |
| 2 | TD - | |
| 3 | RD + | |
| 4 | - | |
| 5 | - | |
| 6 | RD - | |
| 7 | - | |
| 8 | - | |

ネットワークへの接続

- 1 リンクケーブルの一端を、本機のLAN用モジュラーコネクタに、奥までしっかり差し込みます。



- 2 リンクケーブルのもう一方を、ネットワーク(100BASE-TXハブなど)に接続します。
ネットワーク側の接続や設定については、接続した機器のマニュアルをご覧ください。

ユニバーサル管理アドレス

ユニバーサル管理アドレスは、IEEEで管理されているアドレスで、主にマルチベンダネットワーク構築や他のネットワークに接続するときなどに使用します。

ユニバーサル管理アドレスは、winipcfg.exeコマンドを実行して確認することができます(ただしTCP/IPプロトコルが必要です)。

運用上の注意

- ・システム運用中は、ハブからリンクケーブルを外さないでください。ネットワークが切断されます。ネットワーク接続中にリンクケーブルが外れたときは、すぐに接続作業をすることで復旧し、使用できる場合もありますが、使用できない場合は、本機を再起動してネットワークの接続をやり直してください。
- ・LAN回線を接続してネットワーク通信をするときには、本機にACアダプタを接続して使用するよう to してください。バッテリーパックのみで使用すると、使用時間が短くなります。
- ・ネットワーク(LAN)に接続して通信しているときは、スタンバイ状態や休止状態にしないでください。本機が正常に動かなくなることがあります。

100BASE-TX/10BASE-Tシステムの保守については、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

周辺機器を使う

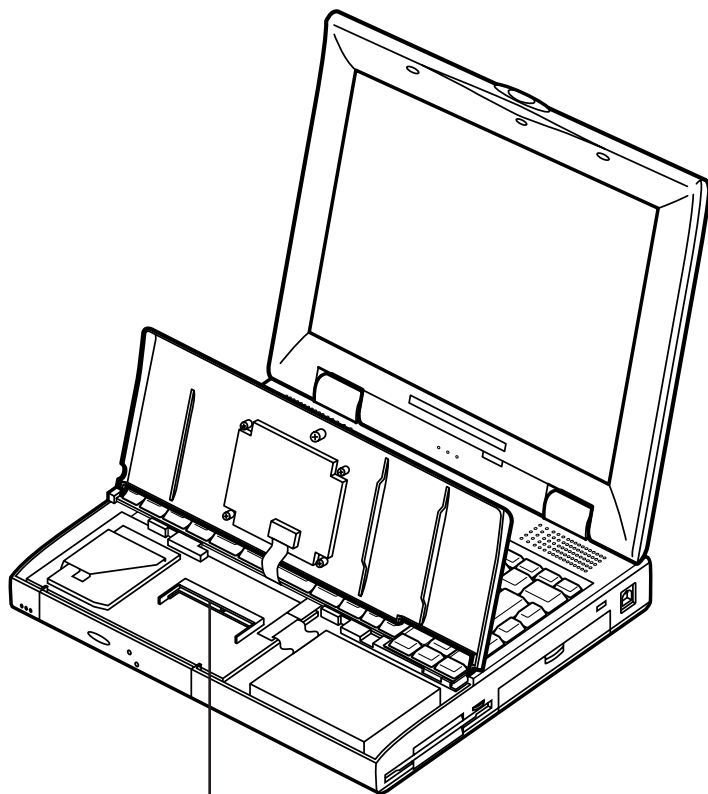
別売の周辺機器の接続方法や注意事項などを説明しています。

このPARTの内容

- 接続できる周辺機器
- 周辺機器を利用する
- プリンタを使う
- 外部ディスプレイを使う
- PCカードを使う
- メモリ(RAM)の増設
- その他の機器を使う

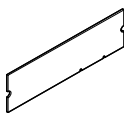
接続できる周辺機器

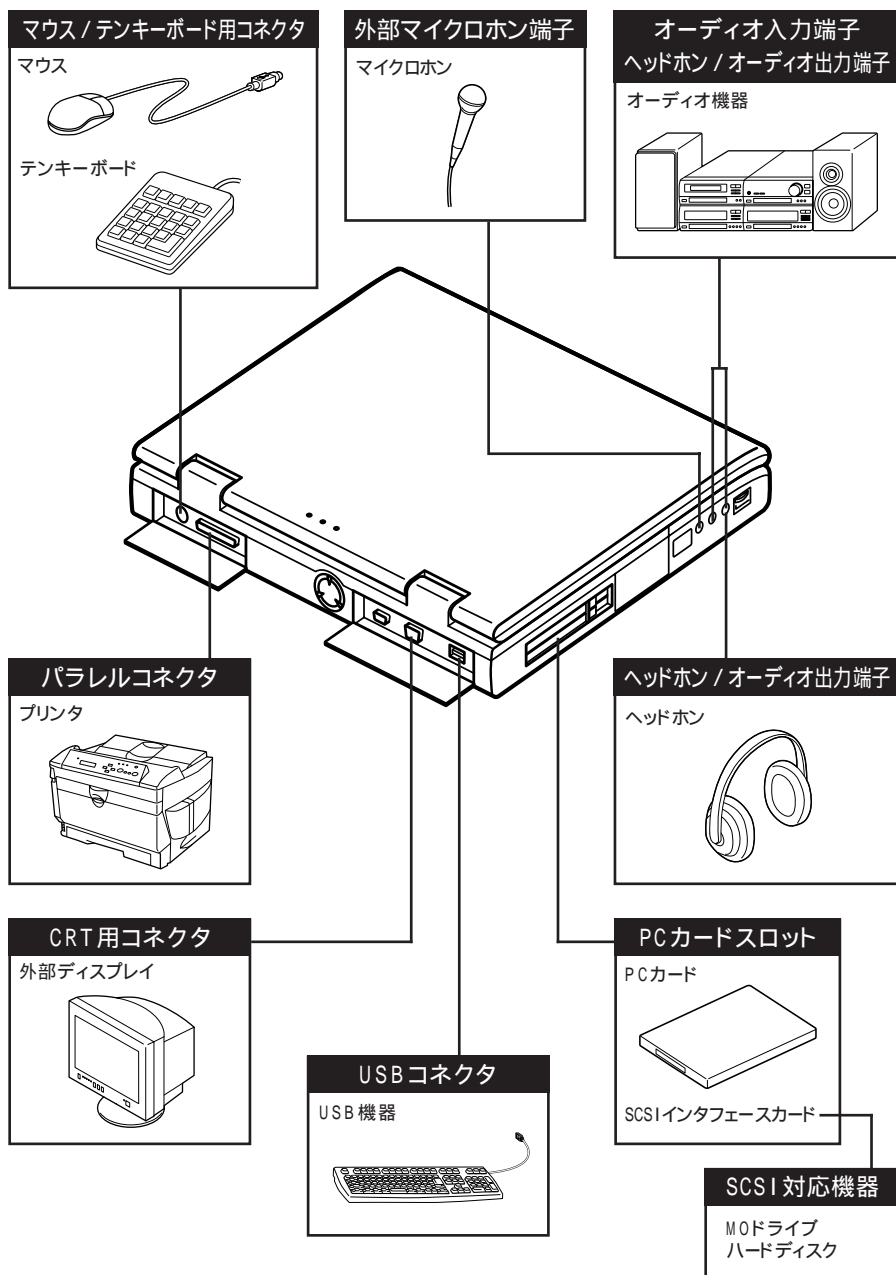
本機には、次のような別売の周辺機器を接続できます。



増設RAMボード用スロット

増設RAMボード





周辺機器を利用する

プリンタや外部ディスプレイなど、本機に接続して使用する機器全般を、周辺機器といいます。本機には、さまざまな周辺機器を接続するためのコネクタやポートが用意されています(p.4)。

用語 ポート

周辺機器や外部のコンピュータと本機との間で信号(データ)をやり取りするため、**窓口**となるのが**ポート**です。やり取りする信号(データ)を船荷に例え、それらを積み降ろしする**港(ポート)**に例えてこの名前が付いています。Windows 98のCOM1ポートは本機のシリアルコネクタ(**ポート**)に、LPT1はパラレルコネクタ(**ポート**)にあたります。

周辺機器を利用するための知識

警告



感電注意

雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

注意



感電注意

周辺機器の取り付け / 取り外しをするときは、本機の電源を切ったあと、本機と周辺機器の電源コードを抜いてください。電源コードがACコンセントに接続されたまま、周辺機器の取り付け / 取り外しをすると、感電の原因となります。

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

周辺機器の取り付け / 取り外し時の注意

- ・ 本機がスリープ状態のときは、周辺機器を取り付けたり取り外したりしないでください。本機がスリープ状態のときは、一度スリープ状態から復帰させ、データを保存してから電源を切り、周辺機器の取り付けや取り外しを行ってください。

- ・別売の周辺機器を取り付けるときには、その周辺機器が本機に対応していることを確認してください。また、周辺機器によっては使用上の制限事項がある場合がありますので、周辺機器の説明書などをよくお読みになり使用してください。当社製以外の周辺機器を使用する場合は、機器の製造元 / 発売元などに上記の事項を確認してください。
- ・周辺機器の取り付けや取り外しは、取扱説明書に従って正しく行ってください。
- ・周辺機器によっては、専用のケーブルが必要な場合があります。接続する前に確認のうえご用意ください。

周辺機器のドライバについて

周辺機器を使うには、本機と周辺機器の仲介をする「デバイスドライバ」と呼ばれる周辺機器専用のソフトウェアを、本機にセットアップする(組み込む)必要があります。

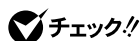
このセットアップには、次の2つの場合があります。

- ・「プラグ&プレイ機能」対応の周辺機器の場合

機器を本機に接続してWindowsを起動すると自動的にドライバの設定が行われ、機器が使用可能な状態になります。

- ・「プラグ&プレイ機能」に対応していない周辺機器の場合

機器を本機に接続したあと、ドライバの設定が必要な場合があります。設定の詳細は、本機やドライバに添付のREADMEファイルや周辺機器のマニュアルをご覧ください。



チェック!!

ドライバが正しく組み込めなかった場合は、周辺機器が使用できないばかりか、本機の動作が不正になることがあります。その場合は、周辺機器のマニュアルに従って、再度ドライバを正しく組み込んでください。

READMEファイルは、「メモ帳」などのテキスト形式のファイルが開けるアプリケーションで簡単に見ることができます。

プラグ&プレイ(PnP)セットアップについて

本機にインストールされているWindows 98には、プラグ&プレイ機能用に多くの周辺機器のドライバがあらかじめ添付されています。接続しようとする周辺機器がプラグ&プレイ機能に対応しており、かつ添付されたドライバの中に該当するものがあれば、周辺機器の検出と設定が自動的に行われます。

電源を入れる / 切るときの順序

本機に周辺機器を接続しているときには、次の順序で電源を入れたり、切ったりしてください。

電源を入れるとき

周辺機器の電源を入れる

本機の電源を入れる

電源を切るとき

本機の電源を切る

周辺機器の電源を切る

また、プリンタを接続しているときは、次の順序で行ってください。

電源を入れるとき

プリンタ以外の周辺機器の電源を入れる

本機の電源を入れる

プリンタの電源を入れる

電源を切るとき

プリンタの電源を切る

本機の電源を切る

プリンタ以外の周辺機器の電源を切る

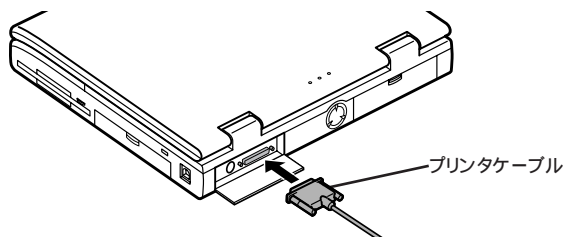
プリンタを使う

プリンタを使用するには、そのプリンタ機種に対応した専用のドライバが必要です。ドライバは通常フロッピーディスクなどの形でプリンタに添付されています。また、本機にも代表的なプリンタのドライバが数多く添付されています。

プリンタを接続する

本機とプリンタとを接続するには、25ピンパラレルインターフェイスに対応したプリンタケーブルが必要です。

- 1 本機を使用中の場合は、「スタート」ボタン「Windowsの終了」で「Windowsの終了」を開き、「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」ボタンをクリックし、本機の電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3 本機の平行コネクタにプリンタケーブルの小さいほうのコネクタを向き(上下)に注意して差し込む



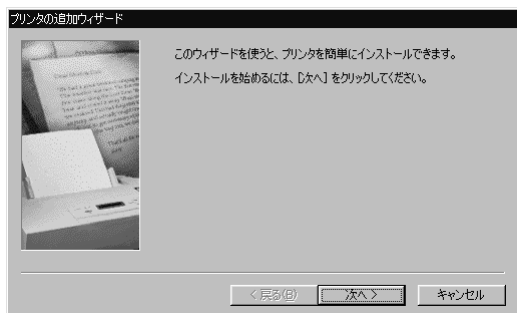
- 4 プリンタケーブルの大きいほうのコネクタをプリンタのコネクタに差し込む
接続についてはプリンタのマニュアルもご覧ください。
- 5 プリンタの電源ケーブルと本機の電源コードをACコンセントに接続する

プリンタの機種によっては、本機のUSBコネクタに接続できるものもあります。

プリンタを設定する

プリンタの設定は、使用するプリンタの機種ごとに、Windowsの「プリンタ」ウィンドウで行います。例えば、会社で使うプリンタと家庭で使うプリンタの機種が異なる場合は、それぞれの機種に対して設定を行う必要があります。

- 1 プリンタが正しく接続され、プリンタの電源がONになっていることを確認する
- 2 「スタート」ボタン 「設定」 「プリンタ」をクリックする
「プリンタ」画面が表示されます。
すでに設定済みのプリンタがある場合は、その機種のアイコンが表示されています。
- 3 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックする
「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。



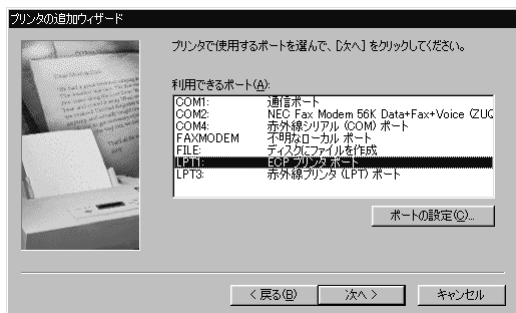
- 4 「プリンタの追加ウィザード」ウィンドウの「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「プリンタはどこに接続されていますか？」と表示された場合は、「ローカルプリンタ」をクリックして「次へ」ボタンをクリックする
「製造元」と「プリンタ」のリストが表示されます。

6 表示されたリストの中から、使用するプリンタの製造元とプリンタ機種(または互換性のある機種)を選択する



プリンタにインストールディスクドライブディスクが添付されている場合は、「ディスク使用」ボタンをクリックして、インストールディスクのデータをインストールします。

7 「次へ」ボタンをクリックすると、プリンタを使用できるポートのリストが表示されるので、LPT1を選ぶ



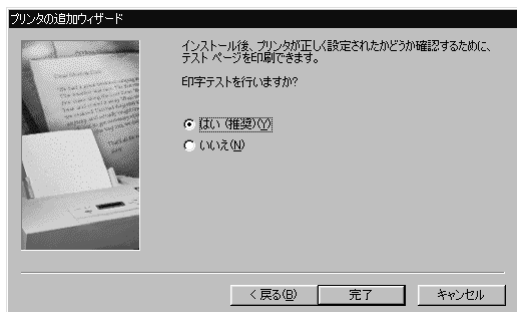
8 「次へ」ボタンをクリックし、表示された画面の「プリンタ名」欄に使用するプリンタの名前を付ける

この欄には手順6で選択したプリンタの機種名がプリンタ名として表示されるので、特に名前を付け直す必要がなければ、そのまましておきます。

このプリンタを通常使用するプリンタとして登録する場合は、下欄の「はい」をクリックしてください。

9 「次へ」ボタンをクリックすると、テスト印刷を行うかどうかを選択する画面が表示される

「はい (推奨)」を選択すると、テストページの印刷によってプリンタの接続や設定が正常に行われたかどうか確認することができます。この場合は、あらかじめプリンタのマニュアルに従って用紙などをセットしておいてください。



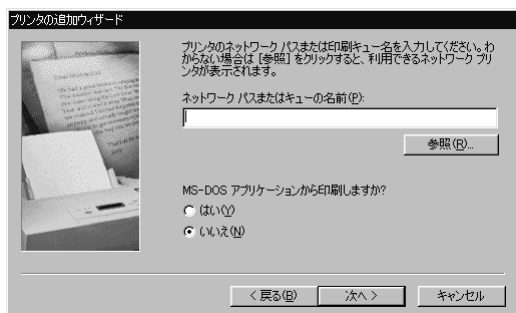
10 設定が終了したら「完了」ボタンをクリックする
もし、今までの設定を変更したい場合は、「戻る」ボタンをクリックして前の設定画面に戻り、設定をやり直します。

手順7でプリンタドライバをインストールしなかった場合やインストールが必要な場合は、ここで「ディスクの挿入」画面が表示されますので、プリンタのマニュアルをご覧ください。指定されたディスクをセットしてください。設定がすべて終了すると、設定したプリンタのアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されます。

ネットワーク上の共有プリンタを使うには

ネットワークに接続されているプリンタを使用する場合は、次のように設定します。設定するには、あらかじめプリンタのパスを調べておく必要があります。プリンタのパス名など、ネットワークプリンタについては、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

- 1 「プリンタを設定する(p.86)」の手順1～4を行う
- 2 「ネットワークプリンタ」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックする
次のような画面が表示されます。



- 3 ネットワークパス名を入力する
「参照」ボタンをクリックすると、ネットワークに接続されているプリンタが表示されるので、そこから選ぶこともできます。
- 4 「次へ」ボタンをクリックし、あとは画面の指示に従ってプリンタの設定を行う

外部ディスプレイを使う

本機にCRTディスプレイやプロジェクタを接続することができます。CRTディスプレイの大画面で作業したり、プロジェクタを使ったプレゼンテーションなどが可能になります。

CRTディスプレイを接続する

CRTディスプレイ接続時の解像度と表示色

別売のCRTディスプレイでは、次の解像度と表示色を表示できます。

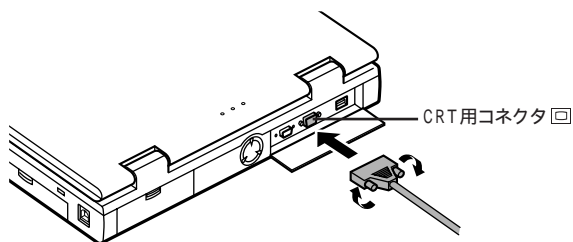
| 表示解像度 (ドット) | 水平走査 周波数(KHz) | 垂直走査 周波数(Hz) | 表示色 | | | |
|----------------|------------------|-----------------|-----|------|---------|---------|
| | | | 16色 | 256色 | 65,536色 | 1,677万色 |
| 640×480 | 31.5 | 60 | | | | |
| | 37.5 | 75 | × | | | |
| | 43.3 | 85 | × | | | |
| 800×600 | 37.9 | 60 | × | | | |
| | 46.9 | 75 | × | | | |
| | 53.7 | 85 | × | | | |
| 1,024×768 | 48.4 | 60 | × | | | × |
| | 56.5 | 70 | × | | | × |
| | 60.0 | 75 | × | | | × |

:表示可能

×:表示不可能

チェック!! お使いになるCRTディスプレイによっては、上の表に記載されている走査周波数や解像度と異なる場合があります。CRTディスプレイをご使用の際は、CRTディスプレイのマニュアルで、対応している走査周波数や解像度を確認してください。

- 1 本機を使用中の場合は、「スタート」ボタン「Windowsの終了」で「Windowsの終了」を開き、「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」ボタンをクリックし、本機の電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3 ディスプレイ用ケーブルを本機のCRT用コネクタに差し込み、ネジを回して固定する



- 4 CRTディスプレイの電源ケーブルを、ディスプレイ背面の電源コネクタに差し込む
詳しくはCRTディスプレイのマニュアルをご覧ください。
- 5 CRTディスプレイの電源ケーブルのプラグをACコンセントに接続する
CRTディスプレイを接続した場合、本機はACアダプタでお使いください。

프로젝터를接続する

液晶 프로젝터와 해상도에 대해서

별개의液晶 프로젝터를 사용하는 경우는, 접속하기 전에 다음의 표를 참조하여 표시 해상도 등을 확인하십시오.

| 表示 해상도 (도트) | 주사 주파수 | | 프로젝터 모델 | | |
|----------------|-------------|------------|--------------------|-------------------------|-------------------|
| | 수평 (kHz) | 수직 (Hz) | ViewLight X1020 | ViewLight S820/MB800 | ViewLight V620 |
| 640 × 480 | 31.5 | 60.0 | | | |
| | 37.5 | 75.0 | | | |
| 800 × 600 | 37.9 | 60.3 | | | |
| | 46.9 | 75.0 | | | |
| 1,024 × 768 | 48.4 | 60.0 | | | |
| | 60.0 | 75.0 | | | |

: 표시 가능

자세한 것은, 프로젝터의 매뉴얼을 참조하십시오.

외부 디스플레이의 설정

표시 디스플레이의 전환

APM 모드인 경우

키보드의【Fn】를 누르면서【F3】를 누르면, 키 조작으로 간단히 화면의 출력 순서의 전환을 할 수 있습니다.

ACPI 모드인 경우

- 1 「시작」 버튼 「설정」 「컨트롤 패널」을 클릭하여 컨트롤 패널을 열고, 「화면」 아이콘을 더블 클릭하여 「화면의 프로퍼티」가 표시됩니다.
- 2 「설정」 탭 「자세한」 버튼 「NeoMagic」 탭을 클릭합니다.
- 3 「DisplayOptions」 버튼을 클릭하고, 「표시 모드」에서 표시 디스플레이를 전환합니다.

참조 > 핫키 기능에 대해서 PART1의「키보드」(p.35)

ディスプレイに合わせて本機を設定する

別売のCRTディスプレイを使用したとき、表示されたメッセージが適切でなかったり、プラグ&プレイに対応していないディスプレイの場合には、次の操作を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
「画面のプロパティ」が表示されます。
- 2 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリックする
- 3 「モニタ」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリックする
「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されます。
- 4 「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「検索方法」で「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「すべてのハードウェアを表示」を選択する
- 7 「デバイスドライバの更新ウィザード」の一覧から「製造元」と「モデル」を選択する
一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」で（標準モニタの種類）を選択し、「モデル」で接続したディスプレイに対応した解像度を選択してください。
- 8 「次へ」ボタンをクリックし、再び「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「完了」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックする
- 10 「OK」ボタンをクリックする
これでディスプレイの設定が完了しました。

PCカードを使う

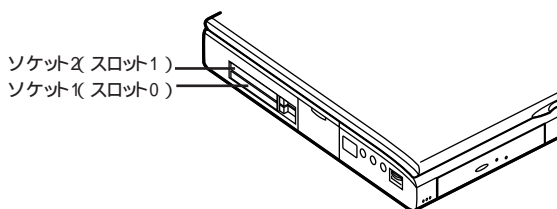
本機ではPC Card Standard準拠のPCカードを使用できます。PCカードを使うことで、本機の機能を拡張したり、さまざまな周辺機器を接続することができます。

用語 PCカード

PCカードとは、社団法人日本電子工業振興協会(JEIDA)とPCMCIAとの間で共同で標準化を進めているカードの名称のことです。PCカードにはさまざまな種類があり、用途も幅広く使われています。メモ리카ードやモデムカード、SCSI インターフェイス対応機器をつなげるためのSCSIカードなどがあり、ハードディスクとして使われるカードもあります。

PCカードスロットについて

- ・ TYPE IがTYPE IIのPCカードを上下のスロットに1枚ずつ2枚まで、または上下のスロットを合わせて1枚のTYPE IIIのPCカードを使用できます。
- ・ ZVポート対応のPCカードは、ソケット1(スロット0)またはソケット2(スロット1)のどちらでも使えますが、同時に両方のスロットで使うことはできません。CardBus対応のPCカードは、ソケット1(スロット0)またはソケット2(スロット1)の両方で同時に使うことができます。



PCカードの取り扱いについて

PCカードは精密にできています。PCカードやスロットの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- ・ 高温多湿あるいは低温の場所に放置しないでください。
- ・ 濡らさないでください。
- ・ 重いものを乗せたり、ねじ曲げたりしないでください。
- ・ ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。

- ・ PCカードの端子部分に金属などを差し込まないでください。
- ・ 本機のPCカードスロットでは、PC Card Standardに準拠していないIPCカードは使用できません。対応していないPCカードを無理に押し込むと、故障の原因となります。

PCカードのセットのし方と取り出し方

△注意



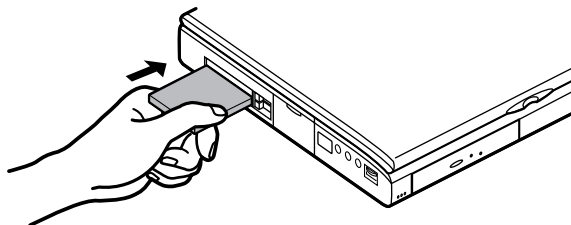
高温注意

本機の使用後や使用直後はPCカードが熱くなっていますので、出し入れにご注意ください。

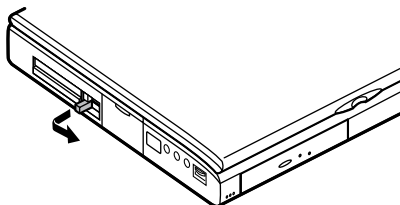
- ✓チェック!!**
- ・ PCカードには表と裏があり、スロットに差し込む方向も決まっています。まちがった向きで無理やり差し込むと、コネクタやスロットを破損するおそれがあります。
 - ・ 本機がスリープ状態のときは、PCカードをセットしたり、取り出したりしないでください。本機の機器構成が変更されると、データが消失してしまうことがあります。
 - ・ アプリケーションを使用中は、PCカードをセットしたり、取り出したりしないでください。

PCカードのセットのし方

- 1 PCカードの差し込む向きを確認し、ラベル面を上にして、水平に静かに差し込む




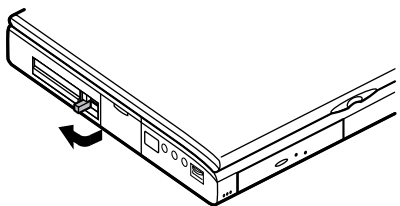
- 2** セットするとPCカードスロットのイジェクトボタンが少し飛び出すので、イジェクトボタンを手前に引き出してから右に倒す



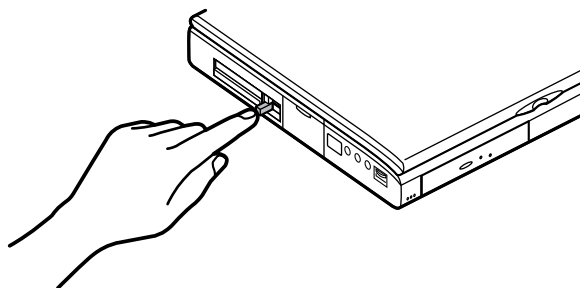
チェック!! PCカードイジェクトボタンを完全に引き出さずに無理に倒そうとすると、破損の原因となります。

PCカードの取り出し方

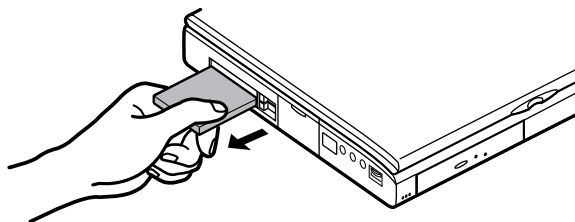
- 1** タスクバーにあるPCカードのアイコン  をダブルクリックする
「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」が表示されます。
- 2** 取り外したいPCカードをクリックする
- 3** 「終了」ボタンをクリックする
しばらくすると、「このデバイスは安全に取り外せます」と表示されます。
- 4** 「OK」ボタンをクリックする
- 5** イジェクトボタンを図のように引き起こす



6 起こしたイジェクトボタンを押す



7 PCカードが少し出てくるので、水平に静かに引き抜く



PCカードの設定

PCカードを使用するときには、次のような設定が必要な場合があります。

割り込みレベルの設定

PCカードによっては、割り込みレベルの設定が本機の設定と重なる場合があります。PCカードのマニュアルと、このマニュアルのPART6の「割り込みレベル・DMAチャンネル（ p.240 ）」をご覧ください。割り込みレベルが重なっていないか確認してください。割り込みが重なる場合は、重ならないように設定を変更してください。

メモリ(RAM)の増設

オプションの増設RAMボードを付加することで、より多くのアプリケーションを同時に立ち上げたり、大きなデータをより高速に扱うことができるようになります。

本機に使用できる増設RAMボードは次のとおりです。

| 型名 | メモリ容量 |
|------------|---------|
| PK-UG-M012 | 32Mバイト |
| PK-UG-M013 | 64Mバイト |
| PK-UG-M014 | 128Mバイト |

増設RAMボードの取り付けと取り外し

⚠注意

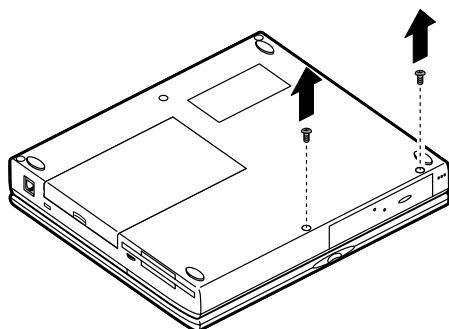


増設RAMボードの取り付け / 取り外しをするときは、本機の電源を切ったあと、電源コードとバッテリーパックを取り外してください。電源コードやバッテリーパックが取り付けられたまま増設RAMボードの取り付け / 取り外しをすると、感電の原因となります。

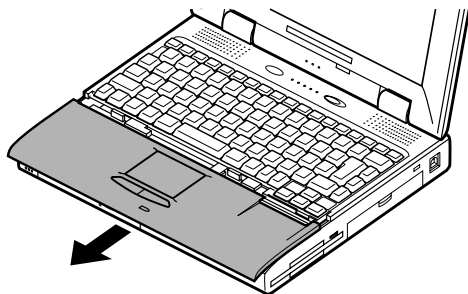
- ✓チェック!!**
- 増設RAMボードは静電気に大変弱く、身体に静電気を帯びた状態で増設RAMボードを扱うと破損する原因となります。増設RAMボードに触れる前に、アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に手を触れて、静電気を取り除いてください。
 - 増設RAMボードのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良など、故障の原因となります。
 - ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。
 - 増設RAMボードを間違った向きで無理に取り付けようとすると、本機のコネクタ部や増設RAMボードが故障する原因となります。取り付け方向に注意してください。

増設RAMボードの取り付け方

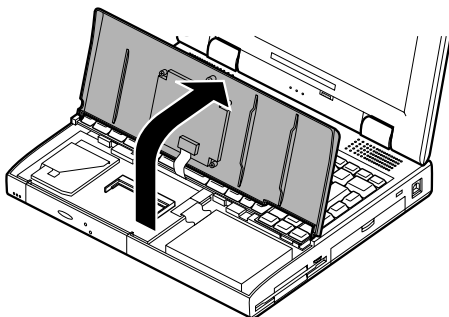
- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」ボタンをクリックし、本機の電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3 液晶ディスプレイを閉じて、本機を裏返す
- 4 バッテリーパックを本機から取り外す(p.10)
- 5 図の2カ所のネジをプラスドライバーで取り外す



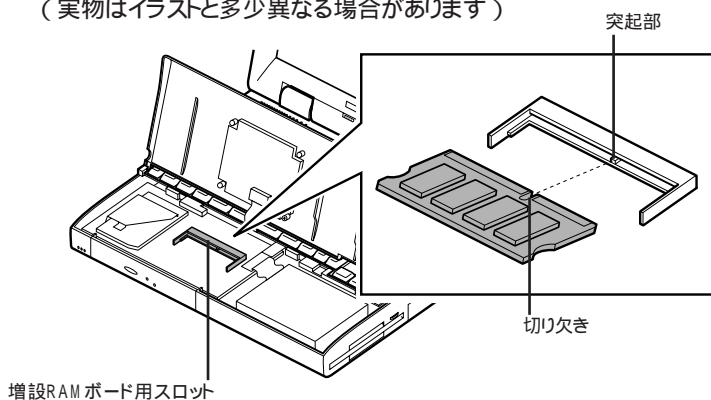
- 6 本機の液晶ディスプレイを開け、本機前面の図の部分を手前に引き出す



7 引き出した前面部分を図のようにして開く



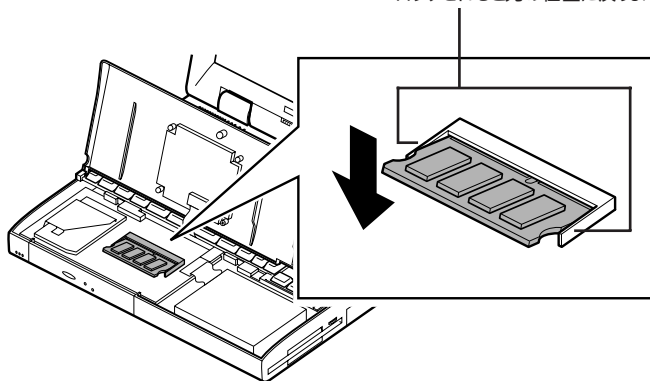
- 8 増設RAMボードの切り欠き部分を本機コネクタの突起部に合わせ、本機コネクタに対して約30度の挿入角度で、増設RAMボードの端子が当たるまで挿入する
(実物はイラストと多少異なる場合があります)



モデルによっては、増設RAMボード用スロットに、あらかじめメモリボードが取り付けられています。メモリを増設する場合は、取り付けられているメモリボードを取り外して、増設RAMボードを取り付けてください。

9 カチッと音がする位置まで増設RAMボードを本機コネクタに強く倒し込む

増設RAMボードを倒し込むときこの部分が左右に開き、RAMボードがロックされると元の位置に戻ります。



10 開いたカバーを元に戻し、本機底面に外したネジを取り付ける

11 バッテリーパックとACアダプタを取り付ける

メモリ増設後は、「増設したメモリ(RAM)の確認」に従って、増設が正しく行われたかどうか確認してください。

APMモードでは、増設RAMボードの取り付けや取り外しを行ったときは、休止状態の再設定が必要です。「休止状態(ハイバネーション)の設定を解除する」(p.27)でいったん設定を解除したあと、「休止状態(ハイバネーション)を設定する」(p.27)で再設定してください。

増設したメモリ(RAM)の確認

増設が正常に行われ、メモリが本機に認識されているかどうかを確認します。

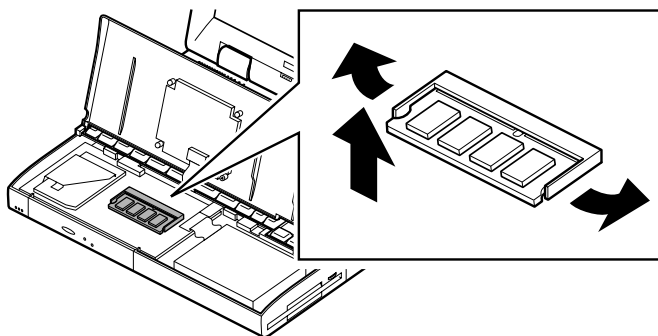
- 1 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2 表示された「システムのプロパティ」の「全般」タブで確認する

メモリ容量が増えていない場合は、次のことを確認してください。

- ・ 増設RAMボードが正しく取り付けられているか
- ・ 本機で使用できる増設RAMボードを取り付けているか

増設RAMボードの取り外し方

- 1 「増設RAMボードの取り付け方」の手順1～7に従って、本機のカバーを開く
- 2 コネクタの両端部分を左右に押し広げながら、増設RAMボードを斜めに引き抜く



- 3 開いたカバーを元に戻し、本機底面に外したネジを取り付ける

APMモードでは、増設RAMボードの取り外しを行ったときは、休止状態の再設定が必要です。「休止状態 (ハイバネーション)」の設定を解除する (p.27)でいったん設定を解除したあと、「休止状態 (ハイバネーション)」を設定する (p.27)で再設定してください。

その他の機器を使う

本機では、次のような別売の機器を使用することができます。

| 種類 | 機器 |
|---------|---|
| オーディオ機器 | ヘッドホン、マイクロホン、オーディオ装置など |
| 入力装置 | マウス、外付けキーボード、テンキーボード、デジタルカメラ、イメージスキャナなど |
| 通信機器 | 外付けモデム、ターミナルアダプタなど |

本機のどのコネクタに機器を接続するかは、機器が使用しているインターフェイスによって異なります。また、機器によってインターフェイスが決まっている訳ではありません。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

- チェック!!** 本機がスリープ状態のときは、周辺機器を接続したり、接続していた機器を取り外したりしないでください。本機の機器構成が変更されると、データが消えてしまうことがあります。

シリアルコネクタ

シリアル対応機器を接続するためのコネクタです。一般的なコンピュータ用語ではこれをシリアルポートと呼び、WindowsではCOM1やCOM2の名称で呼ばれています。

パラレルコネクタ

別売のプリンタを取り付けるためのコネクタです。パラレル対応機器であればプリンタ以外の機器も接続することができます。なお、WindowsではプリンタポートまたはLPT1と呼んでいます。

USBコネクタ

USB対応機器を取り付けるためのコネクタです。

USBとはUniversal Serial Busの略称で、シリアルポートよりはるかに高速なデータ転送が可能なインターフェイスです。

USB対応機器は、コネクタの形状が統一されており、127台までの機器を接続することができます。また、電源を切らずにプラグの抜き差しが可能で、プラグ&プレイ機能にも対応しています。

- ✔ **チェック!!**
- ・コントロールパネルの「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「デバイスマネージャ」の画面にある「ユニバーサルシリアルコントローラ」の記述は削除しないでください。
 - ・USBコネクタは、すばやく差したり斜めに差したりすると信号が読みとれず、不明なデバイスとして認識されることがありますので、その場合はUSBコネクタを本体から抜いて、もう一度正しく接続し、アプリケーションを再起動してください。

別売の外付けUSBキーボードの接続

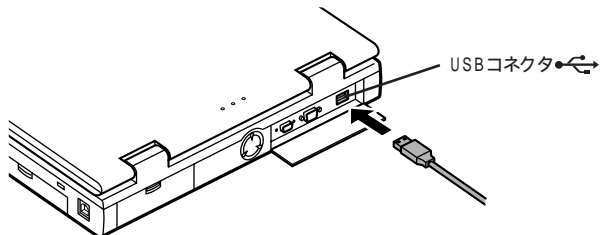
別売の外付けUSBキーボードは、USBコネクタに取り付けます。別売の外付けUSBキーボードには、USBコネクタが用意されており、別売のUSBマウスを取り付けることができます。

本機では、次のUSBキーボードとUSBマウスを使用することができます。

キーボード：PK-KB010 マウス：PK-KB009
PK-KB011

- ✔ **チェック!!** Windows 98のSafeモードやMS-DOSモードで起動したときは、外付けUSBキーボードを使うことはできません。

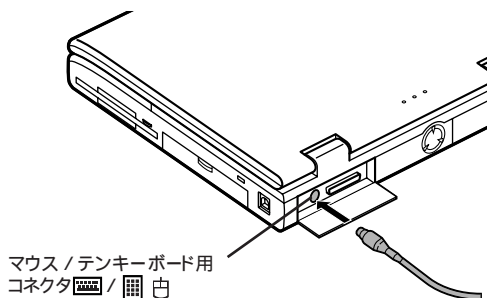
外付けUSBキーボードの設定は、本機のキーボードと同じように、Windowsで設定することができます。



マウス / テンキーボード用コネクタ

別売のマウスやテンキーボードなどのPS/2タイプのオプションを取り付けるためのコネクタです。

- ✔ **チェック!!** マウスやテンキーボードを接続するときは、必ず、「スタート」ボタン「Windowsの終了」で本機の電源を切ってから接続してください。



マウスとテンキーボードの両方を同時に接続したいときは、別売のYケーブル、またはマウスに添付されているYアダプタを使ってください。

システムの設定

セキュリティや省電力など、本機の使用環境を設定できるBIOSセットアップユーティリティの使い方について説明しています。

このPARTの内容

BIOSセットアップユーティリティ



BIOSセットアップユーティリティ

本機には、使用環境を設定するためのアプリケーションとして、BIOSセットアップユーティリティがインストールされています。BIOSセットアップユーティリティでは、セキュリティ、デバイス、省電力などの設定を簡単に行うことができます。

BIOSセットアップユーティリティで設定できること

BIOSセットアップユーティリティでは、APMモードとACPIモードで、設定できる項目が異なります。APMモードとACPIモードについては、PART1の「電源管理のモードについて」(p.14)をご覧ください。

- ・セキュリティ

パスワード、I/Oロック*の設定

- ・デバイス

通信*、パラレルポート*、日付と時刻などのデバイス設定とメモリの表示

- ・省電力*

パワーマネージメント、スリープ(スタンバイ)レジュームの設定など

- ・起動

起動デバイスの起動順位の設定

*: APMモードのみ設定可能



チェック!!

- ・BIOSセットアップユーティリティを使用中に「BIOS設定情報が不正です」と表示された場合は、工場出荷時の設定に戻したあと、再度「BIOSセットアップユーティリティ」で設定を変更してください。
- ・「スーパーバイザパスワード」、「ユーザーパスワード」が設定されている場合、BIOSセットアップユーティリティ起動時にパスワード入力が必要になります。また、「ユーザーパスワード」で起動した場合は、「設定項目一覧」(p.112)で ()マークがついている項目は変更できません。

工場出荷時の設定に戻す

BIOSセットアップユーティリティで設定した内容を、工場出荷時の設定に戻す方法を説明します。

なお、BIOSセットアップユーティリティで設定したスーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワードを解除する方法については、「パスワードの取り消し方法」(p.113)をご覧ください。

操作方法

- 1** 本機の電源を入れる
「NEC」のロゴマークが表示されます。
- 2** 【F2】を押す
キーの説明が表示されます。
- 3** 【F9】を押す
BIOSセットアップユーティリティの設定が工場出荷時の設定に戻り、本機が自動的に再起動します。

BIOSセットアップユーティリティを使う

BIOSセットアップユーティリティを起動する

「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「BIOSセットアップユーティリティ」を選ぶ
「BIOSセットアップユーティリティ」が起動します。

設定を変更する

- 1** 次のどちらかの方法で、設定画面を表示する
 - ・ ツールバーのアイコンをクリックする
項目名がわからない場合は、アイコンをポイントすると、項目名が表示されます。
 - ・ メニューバーの「セットアップ」から項目を選ぶ

- 2** 設定画面が表示されたら、各項目の設定を変更する
設定を変更すると、変更した項目名やタブ名称、アイコンの右側に、「*」のマークが表示されます。このマークは、設定が変更されたことを示しています。
また、変更する設定によっては、関連する他の項目の設定も自動的に変更されることがあります。その場合は、関連する項目の項目名、タブ名称、アイコンにも「*」のマークが表示されます。
各項目の設定については、このPARTの「設定項目一覧」(p.112) をご覧ください。

- 3** 変更したい項目の設定をすべて変更したら、「ファイル」メニューをクリックして、「設定保存」または「アプリケーションの終了」をクリックする
設定を有効にするために再起動が必要な場合は、「システムを再起動しますか?」というメッセージが表示されますので、すぐに再起動する場合は「はい」ボタンをクリックしてください。

黒字の表示項目は、本機の再起動後に設定が有効になります。黒字以外の表示項目は、BIOSセットアップユーティリティ終了後に設定が有効になります。

各設定項目に関する詳しい説明は、説明ウインドウ 画面下部の「説明」と表示されたウインドウ をご覧ください。

BIOSのレビジョンを調べるには

メニューバーの「ヘルプ」をクリックし、「バージョン情報」をクリックすると、現在使用しているコンピュータのBIOSレビジョンが「BIOSレビジョンXXXXXXXX」と表示されます。

省電力設定ファイル(APMモードのみ)

本機の使用環境によって省電力の設定を変更する場合は、省電力設定ファイルを使用することをお勧めします。

省電力設定ファイルを保存するには


- 1** メニューバーの「ファイル」「省電力設定ファイルの作成」をクリックする
「省電力設定ファイルの作成」の画面が表示されます。

- 2 省電力設定ファイルの名称を付けて保存する
現在の「省電力」(p.117)の設定情報を、省電力設定ファイルに保存します。ファイルの名称には、使用環境やユーザー名を使うと便利です。
- 3 使用環境に合わせて省電力の設定を行い、手順1、2で省電力設定ファイルを作成する
省電力設定ファイルの設定が完了したら、次の「省電力設定ファイルを使用するには」の手順で、使用環境に合わせて省電力の設定を行ってください。

省電力設定ファイルを使用するには

- 1 メニューバーの「ファイル」「省電力設定ファイルの読み込み」をクリックする
「省電力設定ファイルの読み込み」の画面が表示されます。
- 2 ファイル名を選択して、省電力設定ファイルを読み込む
- 3 「指定した省電力設定ファイルの内容を省電力の項目に設定します。現在の省電力の項目の設定は失われますがよろしいですか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 4 メニューバーの「ファイル」「設定保存」をクリックする
黒字の表示項目は、本機の再起動後に設定が有効になります。黒字以外の表示項目は、BIOSセットアップユーティリティ終了後に設定が有効になります。

設定項目一覧

各アイコンごとに設定できる項目は、次のとおりです。  はご購入時の設定です。



セキュリティ(セットアップ - セキュリティ)

- チェック!!** スーパーバイザーパスワードが設定してあるときに、ユーザーパスワードで起動すると、表中に()マークのついている項目は変更できなくなります。

パスワード

| 項目名 | 選択肢 | 備考 |
|-------------------|----------------------------|--|
| ユーザーパスワード | 設定値：0～9、 a～z、 A～Z | ユーザーパスワードを設定します。スーパーバイザーパスワードが設定されていないときは設定できません。 |
| スーパーバイザーパスワード () | 設定値：0～9、 a～z、 A～Z | スーパーバイザーパスワードを設定します。 |
| パスワード確認タイミング () | セットアップ起動時 / システム・セットアップ起動時 | 起動時にパスワードを確認するかどうかを設定します。スーパーバイザーパスワードが設定されていないときは設定できません。 |

・パスワードに使用できる文字

| | |
|------|-------------------|
| 半角英字 | A～Z(a～zはA～Zと同じ) |
| 半角数字 | 0～9 |
| 字数 | 6文字以内 |

・パスワードの設定方法

「設定」ボタンをクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。「新しいパスワード」に設定したいパスワードを入力し、確認のため「新しいパスワードの確認入力」にもう一度同じように入力します(入力した文字は*で表示されます)。

・パスワードの変更方法

「設定」ボタンをクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。「古いパスワード」に現在設定されているパスワードを入力し、「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力します。確認のため、「新しいパスワードの確認入力」にもう一度同じように入力します。

・パスワードの取り消し方法

「設定」ボタンをクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。「古いパスワード」に現在設定されているパスワードを入力し、「新しいパスワード」のボックスにカーソルを合わせてから【Enter】を押します。

チェック!! スーパーバイザーパスワードを設定せずにユーザーパスワードのみを設定することはできません。

I/Oロック(APMモードのみ)

ハードウェアの割り込みが足りない場合は、使用していないデバイスをロックすることで、割り込みを確保することができます。

| 項目名 | 選択肢 | 備考 |
|-------------|-----------------------|------------------------------|
| FDDインターフェース | ロックする / ロックしない | FDDインターフェースをロックするかどうかを設定します。 |
| シリアルポート(A) | ロックする / ロックしない | シリアルポート(A)をロックするかどうかを設定します。 |
| 赤外線ポート | ロックする / ロックしない | 赤外線ポートをロックするかどうかを設定します。 |
| パラレルポート | ロックする / ロックしない | パラレルポートをロックするかどうかを設定します。 |

「FDDインターフェース」を「ロックする」に設定すると、マイコンピュータなどではリムーバブルディスクと表示されるようになりますが、実際には使用できなくなります。



通信(セットアップ - デバイス - 通信)

シリアルポート(A)(APMモードのみ)

| 項目名 | 選択肢 | 備考 |
|-------|--|--|
| 設定方法 | 使用しない / 手動設定 / 自動設定 | 3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみCOM番号の設定が必要です。 |
| COM番号 | COM1(IRQ4) / COM2(IRQ3) / COM3(IRQ4) / COM4(IRQ3) | COM番号を設定します。 |

お使いの環境によっては、割り込みが上記以外の設定に変更されることがあります。

赤外線ポート(APMモードのみ)

| 項目名 | 選択肢 | 備考 |
|-------|--|--|
| 設定方法 | 自動設定 / 使用しない / 手動設定 | 3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみCOM番号の設定が必要です。 |
| COM番号 | COM2(IRQ3) / COM3(IRQ9) / COM4(IRQ3) | COM番号を設定します。 |

お使いの環境によっては、割り込みが上記以外の設定に変更されることがあります。



パラレルポート(セットアップ - デバイス - パラレルポート)

パラレルポート(APMモードのみ)

| 項目名 | 選択肢 | 備考 |
|-------|------------------------|--|
| 設定方法 | 使用しない / 手動設定 / 自動設定 | 3つの選択肢から1つを選択します。「自動設定」「手動設定」を選択すると、「モード」を設定することができます。「手動設定」を選択した場合は、さらに「LPT番号」の設定ができます。 |
| LPT番号 | LPT1 / LPT2 | LPTの番号を指定します。 |
| モード | ECP / EPP / 双方向 / 出力のみ | 出力モードを指定します。 |



サウンド(セットアップ - デバイス - サウンド)

サウンド(APMモードのみ)

| 項目名 | 選択肢 | 備考 |
|------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| 設定方法 | 使用しない / 手動設定 / 自動設定 | 「手動設定」を選択した場合のみ次の設定が必要です。 |
| I/Oアドレス | 220h / 240h / 260h / 280h | I/Oアドレスを設定します。 |
| 割り込みレベル | IRQ5 / IRQ7 / IRQ9 / IRQ10 / IRQ11 | 割り込みレベルを設定します。 |
| DMAチャンネル | DMA#0 / DMA#1 / DMA#3 | DMAチャンネルを設定します。 |
| フルデュプレックス DMA | DMA#0 / DMA#1 / DMA#3 | フルデュプレックスモードで使用するDMAチャンネルを設定します。 |



キーボード(セットアップ - デバイス - キーボード)

キーボード(APMモードのみ)

| 項目名 | 選択肢 | 備考 |
|--------------|---------------------|--|
| 起動時のNum Lock | 使用しない / 使用する / 自動設定 | 起動時にNum Lockするかどうかを設定します。 「自動設定」にすると、外付けテンキーボードを接続しているとき、起動時に外付けテンキーボードがNum Lockされます。本機のキーボードはNum Lockされません |



ポインティングデバイス(セットアップ - デバイス - ポインティングデバイス)

ポインティングデバイス(APMモードのみ)

| 項目名 | 選択肢 | 備考 |
|---------------|--------------|---|
| NXパッドインターフェース | 使用しない / 使用する | 外付のマウスを接続している場合に、内蔵のNXパッドを使用するかどうかを設定します。 |



システムデバイス(セットアップ - デバイス - システムデバイス)

日付と時刻

| 項目名 | 選択肢 | 備考 |
|------|-----|---|
| 日付設定 | - | 日付を設定します。 設定可能な値の範囲については、説明ウィンドウをご覧ください。 |
| 時刻設定 | - | 時刻を設定します。 設定可能な値の範囲については、説明ウィンドウをご覧ください。 |

メモリ

| 項目名 | 選択肢 | 備考 |
|--------------|-----|----------------|
| 総メモリ容量(KB) | - | 総メモリ容量を確認できます。 |



省電力(セットアップ - 省電力)

パワーマネージメント(APMモードのみ)

「パワーマネージメント」タブでの設定は、バッテリー駆動時のみ有効です。AC電源で使っているときにこの設定を有効にしたい場合は、「パワーセーブ」タブの「AC電源時のパワーマネージメント」を「使用する」にしてください。

| 項目名 | 選択肢 | 備考 |
|-------------------|--|--|
| パワーマネージメント | 使用しない / 使用する | 省電力(パワーマネージメント)機能を使用するかしないかを設定します。「使用する」を選択したときのみ以降の設定が可能になります。 |
| 設定方法 | ユーザー設定 / 動作時間優先 / 動作性能優先 | パワーマネージメントを選択します。「ユーザー設定」を選択した場合のみ、以降の項目を設定します。その他は自動設定されます。 |
| スタンバイモード制御 / 開始時間 | 使用しない / 使用する スタンバイモード開始時間:1分/2分/4分/6分/8分/10分/15分 | 本機では使用できません。 |
| 自動スリープ制御 / 開始時間 1 | 使用しない / 使用する 自動スリープ開始時間:5分/10分/15分/20分/25分/30分 | 本機では使用できません。 |
| HDDモータ制御 / 開始時間 2 | 使用しない / 使用する HDDモータ制御開始時間:5秒/30秒/45秒/1分/2分/4分/6分/8分/10分/15分 | 「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。ハードディスクのアクセスがなくなり、設定した時間が経過すると、ハードディスクのモータを停止します。 |
| 画面制御 / 開始時間 3 | 使用しない / 使用する 画面制御開始時間:30秒/45秒/1分/2分/4分/6分/8分/10分/15分 | 「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。コンピュータが動作しない状態になってから設定した時間が経過すると、画面表示を停止します。 |

- 1 「コントロールパネル」 「電源の管理」の「システムスタンバイ」で設定できます。
- 2 「コントロールパネル」 「電源の管理」の「ハードディスクの電源を切る」の設定値とくらべ、開始時間が短い方の設定が有効になります。
- 3 「コントロールパネル」 「電源の管理」の「モニタの電源を切る」の設定値とくらべ、開始時間が短い方の設定が有効になります。

| | | |
|----------------|---------------------------|--------------------------------------|
| オーディオ制御 | 使用しない / 使用する | 「使用する」を選択した場合、数秒後にオーディオ制御を開始します。 |
| 周辺機器インターフェース制御 | 使用しない / 使用する | 省電力モードに応じて周辺機器への電源供給を制御するかどうかを設定します。 |
| CPUスピード | 100% / 50% / 25% / 12.50% | CPUスピードの設定を行います。 |

パワーセーブ(APMモードのみ)

| 項目名 | 選択肢 | 備考 |
|------------------|----------------------------------|--|
| バックライト制御 | 最大光量 / 通常光量 / 自動認識 4 / ホットキー設定 5 | バックライトの明るさを設定します。 |
| AC電源時のパワーマネージメント | 使用しない / 使用する | AC電源時にパワーマネージメントでの設定を有効にするか無効にするかを設定します。 |

- 4 13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデルで「自動認識」にすると、起動時は【Fn】+【F8】または【Fn】+【F9】で設定されていた光量になります。キーボードやポインティングデバイスからの操作が15秒間ないと、自動的に【Fn】+【F9】で設定できる最低光量になります。
- 12.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデルで「自動認識」にすると、起動時は「最大光量」になります。キーボードやポインティングデバイスからの操作が15秒間ないと、「通常光量」になります。
- 5 ホットキー(【Fn】+【F8】/【F9】)で設定したバックライト光量が、システム再起動後も有効になります。

スリープ(APMモードのみ)

| 項目名 | 選択肢 | 備考 |
|-------------|------------------|---|
| モード設定 | サスペンド / ハイバネーション | サスペンドするか、ハイバネーションするかを選択します。 |
| スリープボタン 1 | 使用しない / 使用する | 本機のスリープボタンの機能を無効にするか有効にするかを設定します。 |
| LCD連動スリープ 2 | 使用しない / 使用する | LCD開閉によるサスペンド / レジューム、またはハイバネーションを使用するかどうかを設定します。 |

- 1 スリープ機能を使用しない場合は、「パフォーマンス」タブの「自動スリープ制御 / 開始時間」と「スリープボタン」の両方を、「使用しない」に設定してください。
- 2 LCD連動スリープ機能を使う場合は、Windowsの起動中や終了中に液晶ディスプレイを閉じないようにしてください。

レジューム(APMモードのみ)

| 項目名 | 選択肢 | 備考 |
|----------------------|--------------|--------------|
| モデム受信でレジューム | 使用する / 使用しない | 本機では使用できません。 |
| 時刻指定でレジューム / レジューム時刻 | 使用する / 使用しない | 本機では使用できません。 |

本機では、モデム経由でFAXなどの受信があった場合、またはレジューム指示の信号の受信があった場合は、自動的にレジュームします。



起動(セットアップ - 起動)

| 項目名 | 選択肢 | 備考 |
|------|--|---|
| 起動順位 | 指定なし / ハードディスク / フロッピーディスク / CD-ROM / ネットワーク | システムを起動するディスク装置の順番を指定します。起動順位1に指定したディスク装置から順番に起動されます。 |

- ・既定値では、フロッピーディスク ハードディスク CD-ROMの順に設定されています。
- ・ネットワークから起動する場合は、「ネットワーク」の起動順位を最上位に設定してください。2番目、3番目に設定すると、ネットワークから起動できません。
- ・CD-ROMブートに対応したCD-ROMを使用する場合は、「CD-ROM」の起動順位を最上位に設定してください。

添付アプリケーションの 削除と追加

本機に添付のアプリケーションを使うとどんなことができるか、また、それらを本機から削除したり、追加したりする方法を説明しています。

このPARTの内容

添付アプリケーションの紹介
アプリケーションの削除と追加

一太郎Office&一太郎モデルのみ)

Excel 97 & Word 98 & Outlook 98
(Wordモデルのみ)

BIGLOBE Walker(LaVieのみ)

BIGLOBE 入会申込(サインアップナビ)
(LaVieのみ)

インターネット無料体験(LaVieのみ)

インターネットアクセスマネージャ
(LaVieのみ)

ジェットサーファー(LaVieのみ)

翻訳アダプタ CROSSROAD
(LaVieのみ)

AOL(LaVieのみ)

NIFTY MANAGER(LaVieのみ)

TELFAX-NX(LaVieのみ)

Intellisync

Angel Line for Windows(LaVieのみ)

NEC Soft MPEG1.0

プレーヤ-NX

CyberTrio-NX

CyberWarner-NX

VirusScan

英語モードフォントを利用する

駅すばあと全国版

(LaVieの一太郎モデル/Wordモデルのみ)

筆ぐるめ(LaVieの一太郎モデル/Wordモデルのみ)

パソコン用語集

(LaVieの一太郎モデル/Wordモデルのみ)

DMITool(LaVieのみ)

pcANYWHERE32 EX(LaVieのみ)

添付アプリケーションの紹介

本機では、次のようなアプリケーションを使用することができます。

LaVieの場合

次のアプリケーションが、ハードディスクにあらかじめインストールされています。

- 1 一太郎モデルのみ
- 2 Wordモデルのみ
- 3 一太郎モデル / Wordモデルのみ
- 4 アプリケーションCD-ROMで添付

| アプリケーション名 | 概要 |
|--|--|
| 一太郎 ¹ Word 98 ² | ワープロを使う HTMLを作成する |
| 三四郎 ¹ Excel 97 ² | 表計算をする |
| FullBand ¹ Outlook 98 ² | メール、スケジュール、文書などを管理する |
| インターネットエクスプローラ Outlook Express BIGLOBE Walker BIGLOBE 入会申込 インターネット無料体験 インターネットアクセスマネージャ | インターネットを利用する インターネットの情報を管理する 電子メールを送受信する |
| ジェットサーファ | ホームページのリンク先へ直接アクセスできるようにする |
| 翻訳アダプタ CROSSROAD | 英日、日英間の翻訳をする |
| AOL | AOLを利用する |
| NIFTY MANAGER | NIFTYSERVEを利用する |
| TELFAX -NX | 電話をかけたたり、FAXを送受信する |
| Intellisync | 赤外線 / シリアルケーブル接続でファイルをシンク同期させる |
| Angel Line for Windows | パソコンで電話番号検索サービスを利用する |
| NEC Soft MPEG1.0 | MPEG ファイルを再生する |
| プレーヤ -NX | オーディオCD、ビデオCDなどを再生する |
| CyberTrio-NX | 利用のレベルに合わせて、OSの操作可能な範囲を設定する |
| CyberWarner -NX | OSが必要とするファイルを保護する |
| VirusScan | コンピュータウィルスを検出して除去する |

| | |
|------------------------|------------------------|
| 英語モードフォント ⁴ | 海外製アプリケーションの文字表示を正しくする |
| 駅すばあと全国版 ³ | 駅間の距離や金額などを確認する |
| 筆ぐるめ ³ | ハガキの宛名書き、本文書きをする |
| パソコン用語集 ^{3 4} | パソコン用語の意味を調べる |

VersaProの場合

次のアプリケーションは、ハードディスクにあらかじめインストールされています。

1 一太郎モデルのみ

2 Wordモデルのみ

| アプリケーション名 | 概要 |
|--|----------------------|
| 一太郎8 ¹ Word 98 ² | ワープロを使う HTMLを作成する |
| 三四郎8 ¹ Excel 97 ² | 表計算をする |
| FullBand ¹ Outlook 98 ² | メール、スケジュール、文書などを管理する |
| インターネットエクスプローラ Outlook Express | インターネットの情報を管理する |

次のアプリケーションを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってハードディスクにインストールしてください。

インストールの方法については、それぞれのアプリケーションの「追加」の項目をご覧ください。

| アプリケーション名 | 概要 |
|------------------|---------------------------------------|
| Intellisync | 赤外線 / シリアルケーブル接続でファイルをシンク (同期) させる |
| NEC Soft MPEG1.0 | MPEG ファイルを再生する |
| プレーヤ-NX | オーディオCD、ビデオCDなどを再生する |
| CyberTrio-NX | 利用のレベルに合わせて、OSの操作可能な範囲を設定する |
| CyberWarner-NX | OSが必要とするファイルを保護する |
| VirusScan | コンピュータウィルスを検出して除去する |
| 英語モードフォント | 海外製アプリケーションの文字表示を正しくする |
| DMIT00L | パソコンにインストールされているハードウェアやソフトウェアの情報を管理する |
| pcANYWHERE32 EX | ネットワークに接続された遠隔地のパソコンを操作する |


このPARTの構成について

アプリケーションの起動、追加、削除の仕方について、アプリケーションごとに説明しています。アプリケーションによっては、ヘルプに詳しい説明がのっているものもあります。

- ・アプリケーションの起動方法
- ・アプリケーションの削除方法
- ・アプリケーションの追加方法

次のアプリケーションについては、使い方も説明しています。

- ・Intel Iisync

 **チェック!!** アプリケーションがプリインストールされていないモデルでは、添付の「アプリケーションCD-ROM」から本機にインストールする必要があります。その場合は、はじめにアプリケーションの追加方法をお読みください。

ヘルプについて

各アプリケーションにはオンラインヘルプがついています。

操作方法や機能などがわからないときにご覧ください。

ヘルプを起動するには、各アプリケーションのメニューバーの「ヘルプ」をクリックします。

アプリケーションの削除と追加

アプリケーションの削除と追加に関する注意事項を説明します。

削除について

本機に標準でインストールされているアプリケーションの削除の手順を説明します。

- ✓チェック!!**
- ・アプリケーションを削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認のうえ、削除してください。
 - ・CD-ROMドライブが搭載されていないモデルの場合、削除したアプリケーションを再度追加するためには、別売のCD-ROMドライブが必要になります。
 - ・ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
 - ・ハードディスクの空き容量を増やしたい場合は、不要なアプリケーションを削除することによって空き容量を増やすことができます。
 - ・一部のアプリケーションでは、「削除の準備」を行ってから削除します。
 - ・アイコンを削除する場合は、「アイコン削除の準備」(p.126)を行ってから削除します。
 - ・CD-ROMを使用して削除した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

削除の準備

コントロールパネルを使って削除する場合は、次の手順を行ってください。CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

- 2 「インストールと削除」タブを選択する



チェック!!

- ・削除したとき、アプリケーションによってはフォルダやデスクトップ、スタートメニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、本機を操作する上では支障ありません。
- ・アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。
- ・アプリケーションによっては、削除中に「共有ファイルを削除しますか?」「共有コンポーネント」などの画面が表示される場合があります。このような画面は、インストールされているアプリケーションが共通で使用していると思われるファイルを削除しようとしたときに表示されます。このような画面が表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」を選んで、ファイルを削除しないようにしてください。
- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でアプリケーションを選んで「インストールと削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断した場合でも、そのままではアプリケーションを使用できないことがあります。その場合は、本機を再起動して、アプリケーションを使用してください。
- ・追加や削除の作業中に、メッセージのウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまった場合は、タスクバーにあるそのメッセージウィンドウのボタンをクリックして、最前面に表示してください。

アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合は、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
- 2 「表示」メニュー 「フォルダオプション」をクリックする
- 3 「表示」タブの「詳細設定」の「ファイルの表示」で「すべてのファイルを表示」を選択する
- 4 「OK」ボタンをクリックする
この後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

追加について

次のような場合に、本機にアプリケーションを追加する方法を説明しています。

- ・添付のCD-ROMに入っているアプリケーションを本機に追加する場合
- ・本機に標準でインストールされているアプリケーション、または添付のCD-ROMから追加したアプリケーションを削除した後、再追加する場合



チェック!!

- ・CD-ROMドライブが搭載されていないモデルの場合、アプリケーションを追加するには、別売のCD-ROMドライブが必要です。
- ・CD-ROMを使用して追加した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
- ・一部のアプリケーションでは、次の「プロダクトの選択」を行ってから再追加します。

プロダクトの選択

添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して追加する場合は、次の手順を行ってください。

各アプリケーションのCD-ROMを使用する場合は必要ありません。

- 1 CD-ROMドライブに、添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 3 「インストールと削除」タブを選択する
- 4 「インストール」ボタンをクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」を起動する
- 5 「次へ」をクリックする

6 「インストールプログラムの実行」の「インストールプログラムの
コマンドライン」に「<CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」
と入力する

例 CD-ROMドライブ名がQの場合
 Q: ¥NSETUP.EXE

7 「完了」をクリックする
「プロダクトの選択」が表示されます。

一太郎Office8(一太郎モデルのみ)

一太郎Office8には、「一太郎8」、「三四郎8」、「FullBand」が入っています。「一太郎8」はワープロ、「三四郎8」は表計算ソフトです。「FullBand」は、メール、スケジュール、文書などを一元的に管理するツールです。

本機にセットアップされている「一太郎Office8」は、「標準」でセットアップされており、ご購入時の状態では、すべての機能が使用できるわけではありません。ご購入時の状態で使用できる機能については、「一太郎Office8セットアップ&オーバービュー」の「各セットアップ方法でコピーされる機能について」をご覧ください。

「標準」以外の機能を使用する場合は、添付の「一太郎Office8 CD-ROM」から追加してください。

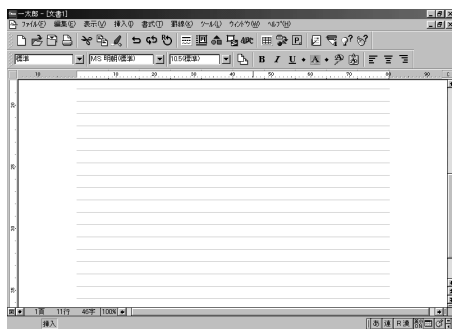
追加の方法については、「一太郎Office8セットアップ&オーバービュー」の「アプリケーション追加・削除を利用します」をご覧ください。

起動

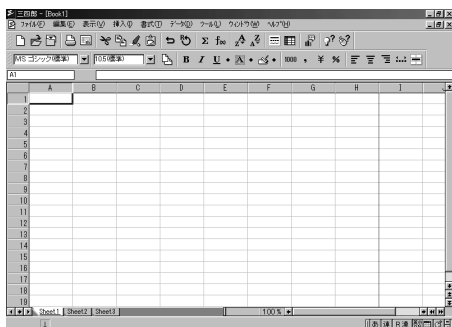
- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「JUSTSYSTEMアプリケーション」で「一太郎8」または「三四郎8」または「FullBand」をクリックする

初回起動時には、使用許諾画面が表示されます。使い方など詳しくは、添付の一太郎Office8のマニュアルをご覧ください。

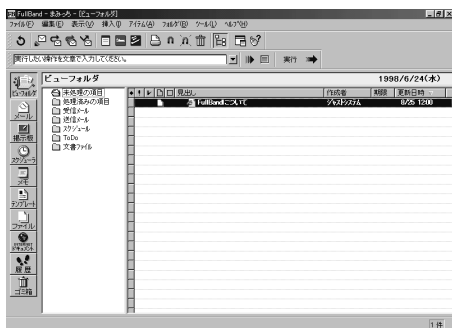
一太郎8



三四郎8



FullBand



削除

一太郎8が常駐している場合は、必ず常駐を解除してから削除してください。
常駐解除の方法は添付の一太郎Office8のマニュアルをご覧ください。

- 1 「削除の準備 (p.125)」の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」をクリックし、「追加と削除」をクリックする
- 3 「一太郎Office8のセットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「Office8の追加と削除」で「ファイルの追加・削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

- 5 「Office8のファイルを追加・削除します」で「ファイルの削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「削除するファイルを選択します」と表示されたら「全て選択」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする
削除するアプリケーションや機能を選んで削除することもできます。
- 7 「ジャストシステム共通ファイル(32bit)も削除しますか?」と表示されたら「削除しない」をクリックする
「ATOK11をWindowsや他のアプリケーションが使用しているためコンピュータを再起動するときに削除されます。」と表示されることがあります。そのときは、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 8 「フォルダ名を確認してください1/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「フォルダ名を確認してください2/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「フォルダ名を確認してください3/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「ファイルの削除を開始します」で「削除開始」をクリックする
削除が始まります。
- 12 「一太郎Office8のセットアップ終了」が表示されたら「再起動」をクリックする

追加

- 1 CD-ROMドライブに「一太郎Office8CD-ROM」をセットする
「Auto Playプログラム」が自動起動します。
- 2 「Welcome to JUSTSYSTEM」で「SET UP Office8のセットアップ」をクリックする
- 3 「一太郎Office8のセットアップ」で「セットアップ開始」をクリックする



チェック!! 「使用許諾契約の確認」の画面が表示された場合は、「確認」ボタンをクリックしてください。

- 4 「一太郎Office8のセットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「使用者名・法人名を登録します」と表示されたら必要事項を入力し「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「シリアルナンバー・User IDを登録します」と表示されたら、入力し「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「使用者名・シリアルナンバーの確認」で「登録する」をクリックする
- 8 「セットアップの方法を選択します」と表示されたら「標準」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「標準モードでセットアップすると...」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「セットアップするフォルダを設定します」で「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「ファイルのコピーを開始します」で「コピー開始」をクリックする
インストールが始まります。
- 12 「インターネットへダイヤルアップで接続しますか？」で「はい」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 13 「JustNetに入会するには」で「確認」をクリックする
- 14 「一太郎Office8のセットアップ終了」で「再起動」をクリックする

Excel 97 & Word 98 & Outlook 98

(Wordモデルのみ)

Wordモデルには、次のソフトウェアがインストールされています。

- ・ Word 98(ワープロソフト)
- ・ Excel 97(表計算ソフト)
- ・ Outlook 98(メール/スケジュール管理ソフト)
- ・ Draw 98(作図ソフト)

本機にセットアップされている「Word 98」、「Excel 97」、「Outlook 98」は、「標準セットアップ」でセットアップされており、ご購入時の状態では、すべての機能が使用できるわけではありません。

「Word 98」、「Excel 97」の「標準セットアップ」以外の機能を使用する場合は、添付の「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」CD-ROMから追加してください。追加の方法については、「Excel 97 & Word 98 & Outlook 97」に添付の「お使いになる前に」をご覧ください。

「Outlook 98」の「標準セットアップ」以外の機能を使用する場合は、添付の「Microsoft Outlook 98」CD-ROMから追加してください。追加の方法については、「Outlook 98」に添付の「お使いになる前に」をご覧ください。

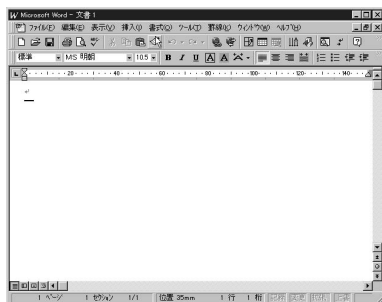


チェック!!

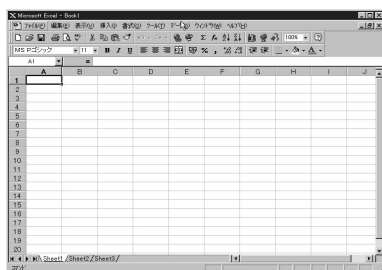
- ・ 本機には、MS-IME98が標準で登録されています。「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」CD-ROMに入っているMS-IME98はインストールしないでください。
- ・ 本機には、Outlook 97が添付されています。Outlook 97を使用する場合は、インストールされているOutlook 98を削除したあと、Outlook 97をインストールしてください。

起動

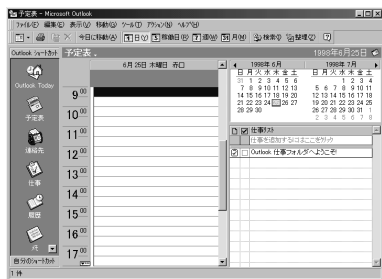
- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Microsoft Word」または「Microsoft Excel」または「Microsoft Outlook」をクリックする
Word 98



Excel 97



Outlook 98



Draw 98は、Word 98またはExcel 97のメニューバーから「挿入」「図」をクリックすると起動します。

削除

- チェック!!** Draw 98、Word 98、Excel 97の削除には「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」CD-ROMが必要です。

Word 98、Excel 97の削除

ここでは、Word 98で説明しています。Excel 97を削除するときは、本文中の「Word 98」を「Excel 97」に置き換えてください。

- チェック!!** 再追加したWord 98、Excel 97をすべて削除するときは、追加した順と逆順に削除を行ってください。
Excel 97、Word 98の順に再追加したときは、Word 98、Excel 97の順に削除します。

- 1 CD-ROMドライブに「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」CD-ROMをセットする。
- 2 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」が表示されたら「Word 98のセットアップ」をクリックする
- 3 「Microsoft Word 98セットアップ」で「すべて削除」をクリックする
- 4 「Microsoft Word 98を削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。

- チェック!!** 「共有コンポーネントの削除」が表示されたら「削除しない」をクリックしてください。

- 5 「Microsoft Word 98セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

- チェック!!** 再起動のメッセージが表示された場合は、「Windowsの再起動」をクリックしてください。本機が再起動したら、削除の作業を続けてください。

アイコンの削除

デスクトップに「Microsoft Word」のアイコンが残った場合は、次の手順で削除してください。

- 1 「Microsoft Word」アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューで「削除」をクリックする
- 3 「ファイルの削除の確認」で「はい」ボタンをクリックする


Draw 98の削除

- 1 CD-ROMドライブに「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」CD-ROMをセットする
- 2 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」が表示されたら「Draw 98のセットアップ」をクリックする
- 3 「Microsoft Draw 98セットアップ」で「すべて削除」をクリックする
- 4 「Microsoft Draw 98を削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有コンポーネントの削除」が表示された場合は、「削除しない」をクリックしてください。
- 5 「Microsoft Draw 98セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
再起動を促すメッセージが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションを終了し、「Windowsの再起動」をクリックしてWindowsを再起動してください。


Outlook 98の削除

- 1 「削除の準備 (p.125)」の手順1～2を行う

- 2 「インストールと削除」の画面の一覧から「Microsoft Outlook 98」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「メンテナンス ウィザード」が表示されたら「Outlook 98の削除」ボタンをクリックする
- 4 「Microsoft Outlook 98コンポーネントをアンインストールします。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
Outlook 98の削除が始まります。

 **チェック!!** 共有ファイルの削除メッセージが表示された場合は、「すべて残す」を選択してください。


- 5 アンインストール完了のメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 再起動のメッセージが表示された場合は、再起動を選択してください。本機が再起動したら、削除の作業を続けてください。

追加

Outlook 98の追加

- 1 CD-ROMドライブに「Microsoft Outlook 98」CD-ROMをセットする
- 2 「Microsoft Outlook 98 CD」が表示されたら「Outlook 98のインストール」をクリックする

 **チェック!!** 「Outlook 98のインストール」にポインタを合わせると、四角い枠が表示されます。枠が表示されたことを確認して、クリックしてください。

「Microsoft Outlook 98 CD」が表示されない場合は、「Microsoft Outlook 98」CD-ROMのルートフォルダ内のファイル「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

- 3 「Outlook 98アクティブセットアップ」が表示されたら、注意書きを読んで「次へ」ボタンをクリックする

4 「使用許諾契約」の内容を読み、内容に同意できる場合は「同意する」をクリックして「次へ」ボタンをクリックする

5 「登録」画面で必要事項を入力し、「次へ」ボタンをクリックする

チェック!! CDキーを正しく入力してください。CDキーは、「Microsoft Outlook 98」CD-ROMの袋の裏面に記載されています。

6 「インストールオプション」を選択して「次へ」ボタンをクリックする

ご購入時と同じ状態にする場合は、「標準」を選択してください。ここでは、「標準」が選択されたものとして説明します。

7 「電子メールアップグレードオプション」で必要なメールプログラムを選択し、「次へ」ボタンをクリックする

ご購入時と同じ状態にする場合は、「上記以外のメールプログラム」を選択してください。ここでは、「上記以外のメールプログラム」が選択されたものとして説明します。

8 「電子メールサービスオプション」を選択して「次へ」ボタンをクリックする

ご購入時と同じ状態にする場合は、「インターネットのみ」を選択してください。ここでは、「インターネットのみ」が選択されたものとして説明します。

9 「インストールフォルダ」に、Outlook 98をインストールするフォルダが表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックする

Outlook 98のインストールが始まります。

チェック!! 「インストールフォルダ」の内容は変更せずに、「次へ」ボタンをクリックしてください。

10 インストール中に「新しいコンポーネントをアップグレードしますか?」と表示された場合は、「更新された項目のみアップグレード」をクリックして「OK」ボタンをクリックする

11 「コンポーネントのインストールは完了しました」と表示されたら、表示されたメッセージの内容を確認して「OK」ボタンをクリックする

チェック!! 再起動のメッセージが表示された場合は、再起動を行ってください。本機が再起動したら、追加の作業を続けてください。

Excel 97、Word 98の追加

ここでは、Excel 97で説明しています。Word 98を再追加するときは、本文中の「Excel 97」を「Word 98」に置き換えてください。

- 1 CD-ROMドライブに「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」CD-ROMをセットする
- 2 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」が表示されたら「Excel 97のセットアップ」をクリックする
- 3 「Microsoft Excel 97セットアップ」で「**継続**」をクリックする
- 4 「ユーザー情報の登録」で必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 5 「ユーザー情報の確認」で「OK」ボタンをクリックする
- 6 プロダクトID番号が表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 7 「Microsoft Excel 97を次のフォルダにセットアップします」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 8 セットアップ方法の選択で、「標準セットアップ」、「カスタムセットアップ」のどちらかを選択する
ここでは「標準セットアップ」をクリックします。
- 9 「標準セットアップ」で「**継続**」をクリックする
インストールが始まります。
- 10 「Microsoft Excel 97セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

チェック!! 再起動のメッセージが表示された場合は、「Windowsの再起動」をクリックしてください。本機が再起動したら、追加の作業を続けてください。

アイコンの追加

- 1** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
- 2** C:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラムにある「Microsoft Excel」アイコンを右クリックする
- 3** 「コピー」をクリックする
- 4** デスクトップの画面上で右クリックし、「貼り付け」を左クリックする
デスクトップにExcelのアイコンが表示されます。

Draw 98の追加

- 1** CD-ROMドライブに「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」CD-ROMをセットする。
- 2** 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」で「Draw 98のセットアップ」をクリックする
- 3** 「Microsoft Draw 98セットアップ」で「継続」をクリックする
- 4** 「セットアップを開始するには、左下のボタンをクリックしてください。」と表示されたら「継続」をクリックする
インストールが始まります。
- 5** 「Microsoft Draw 98セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする



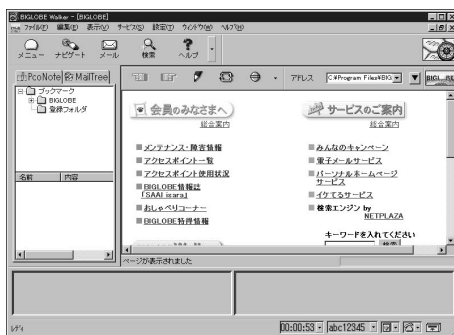
BIGLOBE Walker (LaVieのみ)

インターネットのネットサーフィン、電子メールの送受信などをするためのアプリケーションです。

BIGLOBEを利用するには、BIGLOBEのIDが必要です。IDは入会申込すると取得できます。

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「BIGLOBEツール」 「BIGLOBE Walker」の「BIGLOBE Walker」をクリックする
初回起動時、またはBIGLOBE用のIDが設定されていない場合は、「自動サインアップ」画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。



削除

- 1 「削除の準備 (p.125)」の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「BIGLOBE Walker」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。

- 4 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択」(p.127)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「BIGLOBE Walker」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「BIGLOBE Walkerをご利用になるには、Microsoft Internet Explorer バージョン3.02以上がインストールされていなければなりません。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 5 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「BIGLOBE Walkerのインストールを開始します。よろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする



BIGLOBE入会申込(サインアップナビ)

(LaVieのみ)

NECパーソナルメディアサービス(BIGLOBE:ビッグローブ)への入会手続きをするためのアプリケーションです。

- ✔ **チェック!!** 「スタート」メニューの「オンラインサービス」にアイコンが登録されていますが、プロバイダ入会時には、デスクトップまたは「スタート」メニューにグループとして登録されている「BIGLOBEツール」内のプログラムを使用して、ご入会することをお勧めいたします。

起動

- 「スタート」ボタン 「プログラム」 「BIGLOBEツール」の「入会申込」をクリックする



削除

- 「削除の準備 (p.125)」の手順1~2を行う
- 「インストールと削除」の一覧から「BIGLOBE入会申込(サインアップナビ)」をクリックして「追加と削除」をクリックする

- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。
- 4 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択 (p.127)の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「BIGLOBE入会申込(サインアップナビ)」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」の表示で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックするインストールが始まります。
- 5 「セットアップが完了しました。続けてサインアップを開始します。よろしいですか?」と表示されたら「いいえ」ボタンをクリックする
- 6 「プログラムのアイコンをダブルクリックすることで実行できます。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

インターネット無料体験 (LaVieのみ)

プロバイダと契約していなくても、一定時間インターネットを楽しむことができる体験ソフトです。

起動

- 1 デスクトップの「インターネット無料体験」のアイコンをクリックする



参照 インターネット無料体験の操作の詳細について『インターネットガイド』の「インターネットに接続する」

削除

- 1 「削除の準備 (p.125)」の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「インターネット無料体験」をクリックして、「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「いいえ」ボタンをクリックする

- 5** 「コンピュータからプログラムを削除」でアンインストールの完了を確認して「OK」ボタンをクリックする

追加

- 1** 「プロダクトの選択」(p.127)の手順1~7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「インターネット無料体験」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 5** 「セットアップが完了しました。続けてインターネット無料体験を開始します。よろしいですか?」と表示されたら「いいえ」ボタンをクリックする
- 6** 「プログラムのアイコンをダブルクリックすることで実行できます」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

インターネットアクセスマネージャ

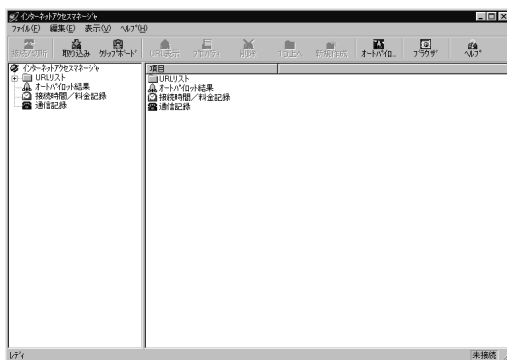
(LaVieのみ)

インターネットを効率よく利用するためのアプリケーションです。オートパイロット(自動巡回)やオートダイヤル(自動接続/切断)、接続時間や料金の管理を行うことができます。

起動

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「インターネットアクセスマネージャ」の「インターネットアクセスマネージャ」をクリックする

参照 インターネットアクセスマネージャについて 『インターネットガイド』



モデルにより画面が多少異なります。

ツリービューまたはリストビューで「URLリスト」「オートパイロット結果」「接続時間/料金記録」「通信記録」をダブルクリックすると、それぞれのウィンドウが表示されます。

削除

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「インターネットアクセスマネージャ」の「unInstallShield」をクリックする


2 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。

3 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」をクリックする

アイコンの削除

「スタートボタン」「プログラム」「アクセサリ」「インターネットツール」に「インターネットアクセスマネージャ」のアイコンが残った場合は次のファイルを削除してください。

C: ¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥アクセサリ¥インターネットツール¥インターネットアクセスマネージャ

 **チェック!!** アンインストールはインストールしたファイルの削除のみを行います。従って、インターネットアクセスマネージャを使用して作成された「通信記録」「オートパイロット結果」などの情報やファイルは削除されません。これらのファイルを削除する場合は、Windowsの「エクスプローラ」でインターネットアクセスマネージャがインストールされているフォルダごと削除してください(「C: ¥Program Files¥IAM」のフォルダを削除してください)。

追加

1 「プロダクトの選択」(p.127)の手順1~7を行う

2 「プロダクトの選択」で「インターネットアクセスマネージャ」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

3 「ようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする

4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする

5 「接続方法の設定」で「次へ」ボタンをクリックする

- 6** 「接続先」「プロバイダ料金」「電話料金」を設定するウィンドウが表示されたら、各項目を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。以前の設定が残っている場合は「質問」メッセージが表示されます。このときは、「はい」ボタンをクリックしてください。各項目はセットアップした後に変更することができます。

参照 項目の変更について 『インターネットガイド』

- 7** 「設定の確認」で各項目の選択した内容を確認して「完了」ボタンをクリックする

- 8** 「バージョンの競合」という画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする

- 9** 「インターネットアクセスマネージャをスタートアップに登録しますか?」と表示されたら「いいえ」ボタンをクリックする
「READMEを表示しますか?」と表示されます。

- 10** READMEファイルを読む場合は、「はい」ボタンをクリックする。読み終わったら、右上の☒をクリックしてください。READMEファイルを読まない場合は、「いいえ」ボタンをクリックします。

- 11** 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

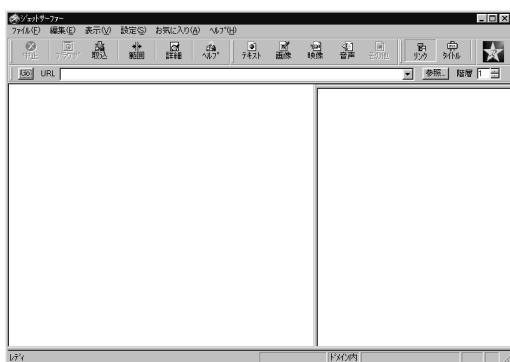
チェック!! 接続先が一つも作成されない場合は、手順6～7は不要です。この場合は、一度セットアップを最後まで完了し、その後、接続先を作成してください。また、接続先を作成した後は、各項目の変更も行ってください。

ジェットサーファー (LaVieのみ)

ホームページでリンクの情報をまとめ、簡単にリンク先へ直接アクセスすることができます。詳しい使いかたは『インターネットガイド』をご覧ください。

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「ジェットサーファー」で「ジェットサーファー」をクリックする



モデルにより画面が多少異なります。

削除

- 1 「削除の準備 (p.125)」の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「ジェットサーファーVer1.5」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックしてください。

- 4** 削除が終了し、「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

上記の手順でアンインストールを行うと、インストールしたファイルのみが削除されます。ジェットサーファーを使って作成された「お気に入り」などの情報やファイルは削除されません。これらの情報やファイルを削除する場合は、「エクスプローラ」で「C:¥ProgramFiles¥JetSurfer」フォルダを削除してください。

「スタート」ボタン 「プログラム」に「ジェットサーファー」のアイコンが残った場合は、次のファイルを削除してください。

C: ¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥ジェットサーファー

追加

- 1** 「プロダクトの選択」(p.127)の手順1~7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「ジェットサーファー」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「ようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「READMEファイルを読みますか?」と表示されたら、READMEファイルを読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリックする
「はい」を選択した場合、読み終わったら右上の☒をクリックしてください。
- 6** 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

翻訳アダプタ CROSSROAD

(LaVieのみ)

英語の文章を日本語に、日本語の文章を英語に翻訳します。インターネットで英語のホームページを見るときなどに利用できます。

参照▶ 翻訳アダプタ CROSSROADについて詳しくは 『インターネットガイド』

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「翻訳アダプタII CROSSROAD」で「翻訳アダプタII CROSSROAD」をクリックする



削除

- 1 「削除の準備 (p.125)」の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「翻訳アダプタII CROSSROAD」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「翻訳アダプタII CROSSROADとそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有ファイルの削除」画面が表示されたときは「全て残す」を選んでください。
- 4 「削除されました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする


アイコンの削除

デスクトップに「翻訳アダプタ CROSSROAD」のアイコンが残った場合は、次の手順で削除してください。

- 1 アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューで「削除」をクリックする
- 3 「ファイルの削除の確認」で、「はい」ボタンをクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択 (p.127)」の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」の一覧から「翻訳アダプタII CROSSROAD」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「翻訳アダプタII CROSSROADセットアップ」で「OK」ボタンをクリックする
- 4 「はじめに」で「標準セットアップ」が選択されていることを確認して、「OK」ボタンをクリックする
- 5 「ユーザ情報の入力」で、シリアルNoに「C103B29100」パスワードに「LGPPRF00」と入力して「インストール」をクリックする

 **チェック!!** シリアルNo.とパスワードは、すべて半角文字で入力してください。

- 6 「翻訳アダプタII CROSSROAD セットアップ」でパソコンの絵のついた大きなボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 7 「翻訳アダプタII CROSSROADのセットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 8 次の「アイコンの追加」の手順で、「翻訳アダプタII CROSSROAD」アイコンをデスクトップにコピーする

アイコンの追加

- 1** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
- 2** エクスプローラのウィンドウでC:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥翻訳アダプタⅡ CROSSROADにある「翻訳アダプタⅡ CROSSROAD」アイコンを右クリックする
- 3** 表示されたメニューで「コピー」をクリックする
- 4** デスクトップの画面を右クリックし、表示されたメニューで「貼り付け」を左クリックする
「翻訳アダプタ CROSSROAD」アイコンがデスクトップに貼り付けられます。

AOL (LaVieのみ)

アメリカのパソコン通信サービス「AOL(アメリカ・オンライン)」を利用するためのアプリケーションです。

AOLはパソコン通信だけでなく、インターネットも利用できます。

- ✓チェック!!** ・AOLを利用する場合は、インストールされているAOLへのご招待と添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。デスクトップの「AOLへのご招待」のアイコンをダブルクリックし、画面に従ってインストールしてください。
- ・「スタート」メニューの「オンラインサービス」にアイコンが登録されていますが、プロバイダ入会時には、デスクトップまたは「スタート」メニューにグループとして登録されている「AOL」内のプログラムを使用して、ご入会することをお勧めいたします。

起動

1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「AOL」の「AOLの世界へようこそ!」をクリックする

AOLについては、本機に添付の『AOLハンドブック』もあわせてご覧ください。

- ✓チェック!!** 登録後1か月の間、最初の50時間はすべてのサービスを無料で利用できます。フリーアクセス時間(50時間)を越えたり、フリーアクセス期間(登録後1ヶ月)を越えると、課金が始まりますのでご注意ください。



「AOLの世界へようこそ!」の削除

- 1** 「削除の準備」(p.125)の手順1~2を行う
- 2** 「インストールと削除」の一覧から「AOL」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3** 「AOL for Windowsアンインストーラー」で「OK」ボタンをクリックする
AOLが複数インストールされている場合は「標準モード」のチェックマークを外してください。
- 4** 「アンインストールするAOLのディレクトリ」で「OK」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 5** 「AOLの削除は正常に終了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 6** 再起動を促すメッセージが表示された場合は「再起動」をクリックする

「AOLの世界へようこそ!」の追加

「AOLの世界へようこそ!」は、「AOLへのご招待」を使ってインストールしてください。

「AOLへのご招待」の削除

- 1** 「削除の準備」(p.125)の手順1~2を行う
- 2** 「インストールと削除」の一覧から「AOLへのご招待」をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリックする

- 3 「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。
- 4 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

「AOLへのご招待」の追加

- 1 「プロダクトの選択」(p.127)の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「AOLへのご招待」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 5 「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする



NIFTY MANAGER (LaVieのみ)

パソコン通信サービス「NIFTY SERVE」に接続し、さまざまなサービスを利用できます。

- ✓チェック!!**
- ・NIFTY MANAGERを使用する場合は、インストールされている「ニフティサーブへようこそ」と添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は「NIFTY MANAGERの追加」(p.160)をご覧ください。
 - ・NIFTY MANAGERを使用するときは、「モデムのプロパティ」の「ダイヤルのプロパティ」が正しく設定されていることを確認してください。設定について詳しくは「内蔵モデム」(p.70)またはお使いになるモデムのマニュアルをご覧ください。
 - ・「メール」「アップロード」で大きなファイルを送信すると、接続しているアクセスポイントによっては【リトライオーバー(-8)】となり、回線が切断されることがあります。このような場合は、アクセスポイントを変更するか、NIFTY MANAGERのメニューバーの「オプション」「通信設定」「アクセスポイント設定」で所在を選んで「変更」をクリックし、「モデムのプロパティ」をクリックして「最高速度」の値を下げて使用してください。
 - ・「スタート」メニューの「オンラインサービス」にアイコンが登録されていますが、プロバイダ入会時には、デスクトップまたは「スタート」メニューにグループとして登録されている「NIFTY SETUP」内のプログラムを使用して、ご入会することをお勧めいたします。

参照 「NIFTY SERVE」への入会手続きについて 『ニフティサーブ イントロパック』

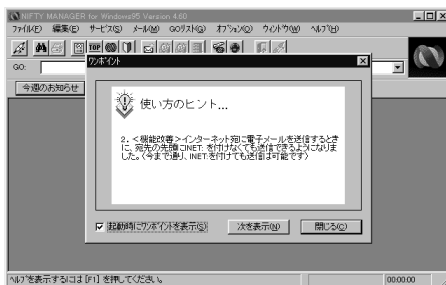
起動

「NIFTY SERVEサインアップ」の起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「NIFTY MANAGER」の「NIFTY SERVEサインアップ」をクリックする

「NIFTY MANAGER」の起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「NIFTY MANAGER」の「NIFTY MANAGER」をクリックする



削除

NIFTY MANAGERの削除

- 1 「削除の準備 (p.125)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「NIFTY MANAGER for Windows 95 Ver4.60」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは、「すべていいえ」を選んでください。
- 4 「NIFTY MANAGERを再インストールした場合のために登録情報を保存しておきますか?」と表示されたら、保存する場合は「はい」ボタン、保存しない場合は「いいえ」ボタンをクリックする
画面のメッセージを確認しながら削除を行います。
- 5 「プログラムのコンピュータからの削除」でアンインストールの完了を確認して、「OK」ボタンをクリックする

「ニフティサーブへようこそ」の削除

- 1 「削除の準備 (p.125)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「ニフティサーブへようこそ」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「プロダクトの選択 (p.127)の手順1～7を行う

- 4 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加


NIFTY MANAGERの追加

- 1 デスクトップの「ニフティサーブへようこそ」アイコンをダブルクリックする
デスクトップに「ニフティサーブへようこそ」アイコンがない場合は、「スタート」ボタン 「NIFTY SETUP」 「ニフティサーブへようこそ」をクリックします。
- 2 ニフティサーブの説明が表示されたら、何回か「次へ」ボタンをクリックする
- 3 「ニフティマネージャーのインストールをはじめます。」と表示されたら、CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットし、「OK」ボタンをクリックする
「NIFTY MANAGERのセットアップ」が起動します。
- 4 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 利用規約が表示されるので、よく読んでから、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする
- 6 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「NIFTY MANAGER for Windows 3.1を…」と表示されたら「いいえ」ボタンをクリックする
以前にNIFTY MANAGERを削除したことがある場合は、「以前の情報を引き継ぎますか?」と表示されることがあります。以前の情報が必要な場合は「はい」ボタン、不要な場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。
インストールが始まります。

8 「デスクトップにNIFTY MANAGER for Windows 95のショートカットを置きますか?」と表示されたら、デスクトップにショートカットを作成する場合は「はい」ボタンを、作成しない場合は「いいえ」ボタンをクリックする
「NIFTY MANAGERデータベースへアクセスするための環境を設定中です。」と表示されます。

9 「READMEファイルを読みますか?」と表示されたら、読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリックする
READMEファイルはメモ帳で表示されます。READMEファイルを読み終わったらメモ帳を終了し、画面上のウインドウを最小化して次の手順10のメッセージを表示させてください。

10 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 「セットアップを完了するには、システムを再起動する必要があります。再起動しますか?」と表示されることがあります。表示されたときは、「はい」ボタンをクリックして再起動してください。

ニフティサーブへようこそ追加

1 「プロダクトの選択 (p.127)の手順1~7を行う

2 「プロダクトの選択」で「ニフティサーブへようこ」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

3 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。

4 「デスクトップにショートカットを置きますか?」と表示されたら、置く場合は「はい」ボタン、置かない場合は「いいえ」ボタンをクリックする

5 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

TELFAX-NX (LaVieのみ)

パソコンからFAXを送信したり、電話をかけることができます。詳しくは『インターネットガイド』をご覧ください。

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「TELFAX-NX」 「TELFAX-NX」をクリックする



削除

- 1 「削除の準備 (p.125)」の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「TELFAX-NX」をクリックし「追加と削除」をクリックする
- 3 「ファイル削除の確認」で「はい」ボタンをクリックする
アプリケーションの削除が始まります。
- 4 途中で「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたら、アドレス帳を削除する場合は「すべてはい」を、アドレス帳を削除したくない場合は「すべていいえ」をクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

- 1 「プロダクトの選択」(p.127)の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「TELFAX-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「インストールを行う前に」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「ユーザ情報の設定」の各項目を入力し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「情報の一覧」で、入力した情報を確認して、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「再起動しますか?」と表示されたら「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を選んで、「OK」ボタンをクリックする

TELFAX-NX用プリンタドライバのセットアップ方法

TELFAX-NXでFAX送信を行う場合、専用のプリンタドライバ(「NEC FAX プリンタドライバ」)がセットアップされていないと、FAX送信ができません。Windowsの設定で、プリンタに「NEC FAX プリンタドライバ」が存在することを確認してください。「NEC FAX プリンタドライバ」がセットアップされていない場合は、次の手順でセットアップしてください。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「プリンタ」をクリックする
- 2 「NEC FAX プリンタドライバ」アイコンがないことを確認する
- 3 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「プリンタの製造元とモデルを選択してください」と表示されたら、「ディスク使用」をクリックする
- 5 「配布ファイルのコピー元」で「C: ¥TELFAX」を指定して、「OK」ボタンをクリックする

- 6 プリンタの一覧に「NEC FAX プリンタドライバ」が表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「利用できるポート」の一覧から「FAXMODEM」を選択して、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「プリンタに名前を付けられます」と表示されたら、「NEC FAX プリンタドライバ」と表示されていることを確認する
ウィンドウに「Windowsアプリケーションで、このプリンタを通常のプリンタとして使用しますか」と表示されていたら、通常のプリンタとして使う場合は「はい」ボタンを、使わない場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。
- 9 「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「印字テストを行いますか」と表示されたら、「いいえ」を選択して「完了」ボタンをクリックする

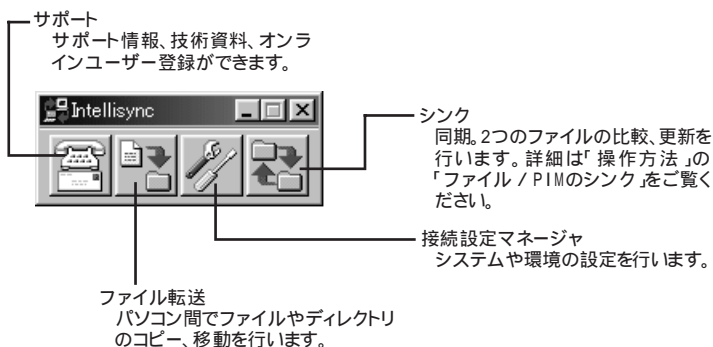
Intel Iisync

ケーブル接続や赤外線接続を通して、パソコン間でファイルのやりとりを簡単に行うことができます。詳しくは「操作方法」(p.168)をご覧ください。

- ✓チェック!!**
- ・通信相手のパソコンとして、他のPC98-NXシリーズやPC-9800シリーズを使う場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使って、相手のパソコンにIntel Iisyncをインストールする必要があります。インストールの方法は「追加」(p.170)をご覧ください。
 - ・Intel Iisyncの赤外線通信は、APMモードでのみ使用可能です。

起動

- 1 「スタート ボタン」「プログラム」「Intel Iisync」の「Intel Iisync エージェント」をクリックする
- 2 「Intel Iisyncへようこそ」で「OK」ボタンをクリックする
「Intel Iisyncランチャー」が表示されます。




ローカルシステムの設定

パソコン間でデータのやりとりをするには、はじめに各パソコンで接続システムの設定を行います。

- 1 Intel Iisyncランチャーを起動する

2 ランチャーの「接続設定マネージャ」をクリックする

 **チェック!!** 初回起動時には使用許諾画面が表示されます。

3 「ローカルデバイス」をクリックし、デバイスを選択する
デバイスの詳細は「接続設定」をご覧ください。

4 「プロパティ」をクリックする

5 「プロパティ」画面で「接続可能にする」にチェックを付け、「OK」
ボタンをクリックする

接続設定


パソコン間を赤外線、シリアルポートで接続できます。

赤外線(IR)接続設定

本機に内蔵されている赤外線デバイスを使用する場合は、手順2から設定を行ってください。別売の赤外線デバイスを使うときは、次の手順で設定を行ってください。

1 COMポートに赤外線デバイスを接続する
詳細は各デバイス添付のマニュアルをご覧ください。

2 二つのシステムの赤外線ポート(IRポート)が向かい合うようにパソコンを設置する

 **参照** 設置時の注意 PART1の「赤外線通信機能」(p.64)

3 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする

4 「赤外線デバイス」を右クリックする

5 「IRウィザード」をクリックする

6 現在の設定が表示されたら「次へ」ボタンをクリックする

- 7** デバイスのリストから使用するデバイスを選ぶ
本機内蔵の赤外線デバイスを使う場合は、「NEC FIR port model 01」を選んでください。別売の赤外線デバイスを使う場合で一覧にデバイス名がない場合は「Generic」を選んでください。
- 8** ポートのリストから赤外線デバイスが接続されているCOMポートを選び、「次へ」ボタンをクリックする
ポートが一つの場合、表示されません。
- 9** ボーレートの一覧が表示されたら、ボーレートを選び、「次へ」ボタンをクリックする
ボーレートが一つの場合、表示されません。
- 10** 設定内容が表示されるので、確認して「完了」ボタンをクリックする
- 11** 「IRセットアップウィザード」で「OK」ボタンをクリックする

シリアルケーブル接続設定






使用するパソコン両方に同じ設定をします。

- 1** COMポート(シリアルポート)にシリアルケーブルを接続する
ケーブルの長さは6m以下にしてください。
- 2** 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 3** シリアルケーブルの+をクリックする
- 4** COMポートが表示されるので、「COMポート」を選び、「プロパティ」をクリックする
- 5** 「接続を可能にする」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリックする

接続状態のチェック

接続状況をチェックします。接続がうまくいかないときに確認してください。

- 1 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 2 接続状態をチェックしたいデバイスの + をクリックする
表示されたマークで確認します。

| マーク | マークの意味 |
|---|---------------------|
|  | 使用可能なポートがない |
|  | 接続設定が不可になっている |
|  | 他のパソコンと接続されてない(赤信号) |
|  | 接続中(黄信号) |
|  | 接続されている(青信号) |

操作方法

ファイル / PIMのシンク

- 1 Intellisyncランチャーを起動し、「シンク」をクリックする
- 2 「新規ジョブの作成」アイコンをダブルクリックする
- 3 「次へ」ボタンをクリックする
- 4 ジョブを選ぶ
2台のパソコン間でシンクする場合
「リモートジョブ」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。


1台のパソコン内で別々のドライブなどをシンクする場合
「ローカルジョブ」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。

5 タイプを選択する

「フォルダ」や「ドライブ」をシンクさせる場合
「ファイルのシンク」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。

PIM(パーソナルインフォメーションマネージャ)間でシンクさせる場合

「PIMのシンク」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。

 **チェック!!** PIMのシンクで「MS Outlook 97」を選択することで、Outlook 97およびOutlook 98をシンクすることができます。

6 ウィンドウの指示で情報を入力し、「次へ」ボタンをクリックする

7 ジョブ名をつけて、「次へ」ボタンをクリックする

「オートシンクの始動」を選ぶと、Intellisyncのシンクを起動、またはIntellisyncを起動し、パソコンどうしを接続するたびに自動的にジョブを実行します。

8 「完了」ボタンをクリックする

削除

1 「削除の準備 (p.125) の手順1 ~ 2を行う

2 「インストールと削除」の一覧から「Intellisync」をクリックし「追加と削除」をクリックする

3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックし、「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックする 削除が始まります。

- 4 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

以下の操作を行う場合には、「赤外線通信機能」(p.64)の「赤外線通信を行うまえに」を行ってください。

- 1 「プロダクトの選択」(p.127)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「Intellisync」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「よろこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「スタートアップグループオプション」で「いいえ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップ」で「はい」ボタンをクリックする
- 8 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「赤外線の設定-デバイスの選択」で「NEC FIR port model 01」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「赤外線の設定-ボーレートの選択」で「4000000」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「完了」ボタンをクリックする
- 12 「IRセットアップウィザード」で「OK」ボタンをクリックする

Angel Line for Windows (LaVieのみ)

パソコンで電話番号検索サービスを受けることができます。

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Angel Line for Windows V2」の「Angel Line Ver2.04」をクリックする
はじめてAngel Line for Windowsを使う場合は、「設定」「通信の設定」をクリックし、ご利用の通信環境にあわせて設定してください。



削除

- 1 本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2 「削除の準備 (p.125)」の手順1～2を行う
- 3 「インストール」をクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」を起動して「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「セットアッププログラムの実行」画面の「セットアッププログラムのコマンドライン」が「<CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」になっているので、「<CD-ROMドライブ名>:¥UNINST.EXE」に変更して、「完了」ボタンをクリックする

5 「アンインストールは次の内容を消去します」と表示されるので、削除する場合は「続行」ボタンをクリックする
削除が始まります。

6 「削除」で「確認」ボタンをクリックする

追加

1 「プロダクトの選択 (p.127)の手順1～7を行う


2 「プロダクトの選択」で「Angel Line for Windows」をクリックして「OK」ボタンをクリックする

3 「Angel Line for Windowsインストール」で「続行」をクリックする

4 「インストールディレクトリの設定」が表示されるので、確認してから「続行」ボタンをクリックする
インストールが始まります。

5 「インストール終了」で「確認」ボタンをクリックする

6 「システム設定」で「デフォルト」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 「システム設定」で「する」ボタンをクリックすると、「通信システム設定」画面が表示されます。この画面は、Angel Line for Windowsを起動し、「設定」「通信の設定」をクリックすると表示されます。ご利用の通信環境にあわせて設定してください。

7 「接続テスト」で「しない」ボタンをクリックする

8 「お疲れさまでした...」と表示されたら「確認」ボタンをクリックする

9 本機を再起動する



NEC Soft MPEG1.0

メディアプレーヤー、プレーヤNXなどで、MPEG1のファイルやVideo CDファイルを再生するときに、データをデコードするために必要です。MPEGファイルとしては、拡張子が“.mpg”のものほかに、ビデオCD内の拡張子が“.dat”のものを再生することができます。

チェック!! LaVieでNEC Soft MPEG1.0を削除したあとインストールし直すには、再セットアップが必要となります。

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「マルチメディア」 「メディアプレーヤー」をクリックする
- 2 「デバイス」メニューから「NEC Soft MPEG1.0」を選ぶ
- 3 「ファイルを開く」で再生したいMPEGファイルを選び、「開く」ボタンをクリックする
- 4 再生ボタンをクリックする
再生が始まります。

NEC Soft MPEG1.0についての注意

- ・ビデオのみのデータや、ビデオCDの静止画を含むデータは、現在の再生位置を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置は、必ずしも一致しません。
- ・メディアプレーヤーのスクロールバーの右側にある小さなボタンは、インジケータがフレームのときのみ、こま送りとなります(順方向ボタン)。逆再生方向のボタンは、戻る場合と戻らない場合があります。
- ・画質優先モードで再生しているときに画像サイズを変更すると、再生が遅くなる場合があります。
- ・メディアプレーヤー、プレーヤ-NXでプルダウンメニューを表示すると、再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも、同様に停止します。

削除

NEC Soft MPEG1.0の削除は、「コントロールパネル」の「マルチメディア」で行います。

■ NEC Soft MPEG1.0を削除するには、CD-ROMドライブが必要です。

- 1** メディアプレーヤーなど、NEC Soft MPEG1.0を使用するアプリケーションが起動していないことを確認する
- 2** 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリックする
- 3** 「マルチメディア」をダブルクリックする
- 4** 「マルチメディアのプロパティ」から「デバイス」タブをクリックする
- 5** 「メディアコントロールデバイス」の左のプラス記号(+)をクリックする
デバイスドライバの一覧が表示されます。
- 6** 「NEC Soft MPEG1.0」をダブルクリックし、「NEC Soft MPEG1.0のプロパティ」で「削除」ボタンをクリックする
- 7** 「削除」画面で「はい」ボタンをクリックする
- 8** 「デバイスは削除されました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 9** 削除後に再起動を促すメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

NEC Soft MPEG1.0の追加は、「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」で行います。

- 1** 本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリックする

- 3 「ハードウェアの追加」をダブルクリックし、「新しいハードウェアの追加ウィザード」を起動する
- 4 「次へ」ボタンを2度クリックする
- 5 「インストールするデバイスは一覧にありますか?」と表示されたら、「デバイスは一覧にない」を選んで「次へ」ボタンをクリックする
- 6 新しいハードウェアを自動的に検出する選択画面で「いいえ」ボタンをクリックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 インストールするハードウェアの種類に「その他のデバイス」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「ディスク使用」をクリックし、「フロッピーディスクからインストール」画面でコマンドラインに <CD-ROMドライブ名>:NECMPEG と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 9 「NEC Soft MPEG1.0」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
- 11 ファイルのコピー終了後に再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

プレーヤ-NX

音楽CD、ビデオCD、カラオケCD、フォトCDを再生表示します。

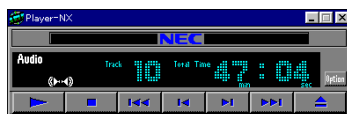
プレーヤ-NXで利用できるCD

- ・音楽(オーディオCD)
- ・ビデオCD(Ver1.1)、ビデオCD(Ver2.0) /カラオケCD(Ver1.1)
- ・フォトCD
- ・フォトCDポートフォリオ

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「エンターテインメント」で「プレーヤ-NX(CDプレーヤー)」をクリックする

音楽CDの場合



ビデオCDの場合




フォトCDの場合



削除

- 1 「削除の準備」(p.125)の手順1～2を行う


- 2 「インストールと削除」の一覧から「プレーヤ-NX」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。

 **チェック!!** 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたら「すべていいえ」ボタンをクリックする

- 4 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択」(p.127)の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「プレーヤ-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「Folder Selection」で「次へ」ボタンをクリックするインストールが自動的に始まります。
- 5 「プレーヤ-NXは正しくインストールされました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** プレーヤ-NXでビデオCDを再生する場合は、NEC Soft MPEG1.0が必要です。



CyberTrio-NX

使用者のレベルに合わせて、OSの操作可能な範囲を設定することができます。

CyberTrio-NXの機能

CyberTrio-NXは、Windows 98の利用環境を設定するアプリケーションです。使用者のレベルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうような操作を未然に防ぐことができます。

次のモードから選ぶことができます。

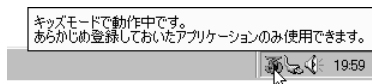
- ・キッズモード(LaVieのみ)
「マイプログラム」や「デスクトップ」に登録してあるアプリケーションのみを使うことができます。
- ・カスタムモード(VersaProのみ)
「マイプログラム」や「デスクトップ」に登録してあるアプリケーションのみを使うことができます。
- ・ベーシックモード
システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
- ・アドバンスモード
Windows 98へのフルアクセスが可能です。

出荷時には、ベーシックモードに設定されています。詳しくは、「スタート」ボタン「プログラム」「CyberTrio-NX」「CyberTrio-NXヘルプ」をご覧ください。

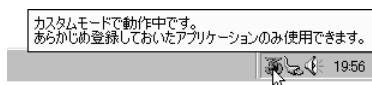
アイコンでモードを見分ける

CyberTrio-NXが現在何のモードになっているかは、タスクバーに表示されているアイコンで知ることができます。

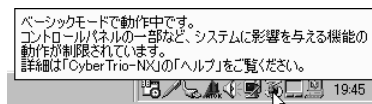
- ・キッズモードのとき(La Vieのみ): アイコンの色が緑色になっています。アイコンをポイントすると、次のように表示されます。



- ・カスタムモードのとき(VersaProのみ): アイコンの色が緑色になっています。アイコンをポイントすると、次のように表示されます。



- ・ベーシックモードのとき: アイコンの色が黄色になっています。アイコンをポイントすると、次のように表示されます。



- ・アドバンスモードのとき: アイコンの色が赤色になっています。アイコンをポイントすると、次のように表示されます。



モードの変更

1 キッズモード、カスタムモードから変更する場合は、「スタート」ボタン「プログラム」でモードを選ぶ

ベーシックモード、アドバンスモードから変更する場合は、「スタート」ボタン「プログラム」「Cyber Trio-NX」でモードを選ぶ

キッズモードにする場合(La Vieのみ)

「Go toキッズモード」をクリックします。

カスタムモードにする場合(VersaProのみ)

「Go toカスタムモード」をクリックします。

ベーシックモードにする場合

「Go toベーシックモード」をクリックします。

アドバンスモードにする場合

「Go toアドバンスモード」をクリックします。

現在のモードがベーシックモードまたはアドバンスモードの場合は、「スタート」ボタン「プログラム」「CyberTrio-NX」「CyberTrio-NXメニュー」をクリックしてから、各モードを選ぶこともできます。

CyberTrio-NXで行う設定

設定できる項目には、パスワードの設定や利用できる環境の設定がありません。

パスワードは「ベーシックモード」または「アドバンスモード」で設定できます。

パスワードの設定

パスワードを設定することで、パスワードを知らない人がカスタムモードを勝手に別のモードに変更するのを防ぎます。パスワードは、8文字内の英数字で設定可能です。

- 1 LaVieでは「スタート」ボタン「プログラム」「CyberTrio-NX」「キッズモードの設定」「動作環境」をクリックする

VersaProでは「スタート」ボタン「プログラム」「CyberTrio-NX」「CyberTrio-NXセットアップ」をクリックする

- 2 「パスワードの設定」タブをクリックし、「パスワードを設定する」をチェックする
- 3 パスワードを入力する
パスワードは、8文字内の英数字で入力します。
- 4 パスワードの確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックする
これで、カスタムモードまたはキッズモード使用者は、パスワードを入力しないと他のモードへ移行できないようになります。

- チェック!!** 入力したパスワードは忘れないようにしてください。万一パスワードを忘れてしまった場合は、次のパスワードを入力し、「ベーシックモード」が「アドバンスモード」に設定してから、もう一度パスワードを設定し直してください。

緊急用パスワード:71709981

その他CyberTrio-NXには、カスタムモードやキッズモードで使用できるプログラムやWindows 98の使用環境をカスタマイズできる機能があります。詳しくは、ベーシックモードまたはアドバンスモードにして、「スタート」ボタン「プログラム」「CyberTrio-NX」「CyberTrio-NXヘルプ」をご覧ください。

削除

- 1 「削除の準備」(p.125)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「CyberTrio-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 4 「CyberTrio-NXアンインストール」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックして再起動する

追加

- 1 「プロダクトの選択」(p.127)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberTrio-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「CyberTrio-NX セットアップへようこそ!」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「インストール」画面で「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。



CyberWarner -NX

OSが必要とするファイルを保護します。

Windows 98の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更を行おうとすると警告を行います。また、ログファイルを採取して、保守時に使うことができます。「CyberWarner -NX」は起動時に常駐するアプリケーションです。


CyberWarner -NXを常駐させる

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「CyberWarner -NX」アイコンをダブルクリックする
- 2 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリックする

CyberWarner -NXの常駐を終了する

- 1 タスクバーの右端に表示されている「CyberWarner -NX」アイコンをクリックする
- 2 「終了」をクリックする
- 3 「CyberWarner -NXのシャットダウン」で「はい」ボタンをクリックする

削除

 **チェック!!** 「CyberWarner -NX」を常駐させていない場合は、手順3から行ってください。

- 1 タスクバーにある「CyberWarner -NX」アイコンをクリックし、「終了」をクリックする

- 2 「CyberWarner-NXの終了」で、「はい」ボタンをクリックする
- 3 「削除の準備」(p.125)の手順1～2を行う
- 4 「インストールと削除」の一覧から「CyberWarner-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 5 「CyberWarner-NXのアンインストール」で「はい」ボタンをクリックする
- 6 「CyberWarner-NX」で「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

追加

- 1 「プロダクトの選択」(p.127)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberWarner-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「CyberWarner-NX セットアップへようこそ!」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「セットアップへようこそ!」と表示された場合は、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「インストール」画面で「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

ログファイルについて

CyberWarner-NX LogViewer

ログ対象ファイルに対して操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われたとき、CyberWarner-NXは、その操作内容をログファイルに保存します。ログファイルに書き込まれた情報を参照するときは、CyberWarner-NX LogViewerを使います。

✓チェック!! 採取されたログファイルは、CyberWarner-NX LogViewerの「保守モード」でのみ操作できます。保守モードはNECの担当員から指示があったときのみ使用してください。通常は使用することはできません。

ログファイルの種類

ログファイルには、プライマリログファイルとバックアップログファイルの2種類があります。どちらもファイル内容は同じものですが、保存されている期間に違いがあります。ログ対象ファイルを操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われると、その操作内容がログファイルに保存されます。

ログ対象ファイル

ログ対象ファイルには、「Critical File」「Non Critical File」「Special」の3種類があります。

CriticalFile

次のファイルを操作した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとしたファイルが自動的に復旧(元の状態に戻る)されます。

| | |
|------------------------------|-----------------------|
| ¥command.com | ¥windows¥rundll.exe |
| ¥io.sys | ¥windows¥rundll32.exe |
| ¥himem.sys | ¥windows¥progman.exe |
| ¥windows¥win.com | ¥windows¥control.exe |
| ¥windows¥notepad.exe | ¥windows¥winfile.exe |
| ¥windows¥regedit.exe | ¥windows¥taskman.exe |
| ¥windows¥explorer.exe | ¥windows¥aztppn.exe |
| ¥windows¥system¥vmm32¥*.* | ¥windows¥winsock.dll |
| ¥windows¥command.com | ¥windows¥system.dat |
| ¥windows¥himem.sys | ¥windows¥user.dat |
| ¥windows¥system¥sysedit.exe | |
| ¥windows¥system¥iosubsys¥*.* | |

NonCritical File

次のファイルを操作した場合、操作の確認画面が表示されます。

¥autoexec.bat

¥config.sys

¥msdos.sys

¥windows¥command¥*. *

¥windows¥system¥*.dll

¥windows¥system¥*.vxd

Special

次のファイルを操作すると、操作の確認画面が表示されます。また、アプリケーションをインストールしたときにこれらのファイルに修正が加わると、自動的に修正前の状態がログファイルに保存されます。

¥windows¥win.ini

¥windows¥system.ini

VirusScan

コンピュータウィルスの検出、識別、および除去を行います。

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「McAfee VirusScan」の「VirusScan」をクリックする



ウィルス監視機能を有効にする

VirusScanには、Windowsで操作するファイルがウィルスに汚染されていないか監視する機能もあります。この機能を使うには、次の手順を行います。

- ✓チェック!!** ウィルス監視機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウィルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「McAfee VirusScan」の「VirusScanコンソール」をクリックする
VirusScan Consoleが起動します。
- 2 一覧に表示されている「McAfee VShield」をクリックした後、メニューバーの「タスク」「プロパティ」をクリックする
「タスクプロパティ」が起動します。
- 3 「タスクプロパティ」の「プログラム」タブの「詳細設定」ボタンをクリックする
VShield設定が起動します。

- 4 「スキャン」タブの「情報」の「スタートアップ時に起動」をクリックしてチェックを付け、「OK」ボタンをクリックする
- 5 「今すぐに読み込みを行いますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 6 「タスクプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし、「タスクプロパティ」を終了する
- 7 VirusScan Consoleのメニューバーの「タスク」「終了」をクリックし、VirusScan Consoleを終了する

ウイルス監視機能を解除する

- 1 「ウイルス監視機能を有効にする (p.186)の手順1~3を行う
VShield設定が起動します。
- 2 「スキャン」タブの「情報」の「スタートアップ時に起動」をクリックしてチェックを外し、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「今すぐに読み込みを解除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 4 「タスクプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし、「タスクプロパティ」を終了する
- 5 VirusScan Consoleのメニューバーの「タスク」「終了」をクリックし、VirusScan Consoleを終了する

削除

- 1 「削除の準備 (p.125)の手順1~2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「McAfee VirusScan v3.1.6 for Windows 9x (プレインストール版)」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする

- 3 「McAfee VirusScanの削除が選択されました。本当にMcAfee VirusScanを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 4 「削除後にシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは、「すべていいえ」を選んでください。
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 6 本機を再起動する

追加

- 1 「プロダクトの選択 (p.127)の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「McAfee VirusScan」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
セットアッププログラムが起動します。
- 3 「セットアップへようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 契約内容に同意の上、「はい」ボタンをクリックする
- 5 「セットアップ方法」で「カスタム」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示された画面の「パス」にインストール先を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 6 「コンポーネントの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「オプションの選択」で「次へ」ボタンをクリックする

- 8** 「DOSスキャナ インストール オプション選択」で「ブート時にシステムをスキャン」および「エマージェンシーディスクを作成」のチェックマークを外し、「次へ」ボタンをクリックする
「ブート時にシステムをスキャン」のチェックを外さずにインストールした場合、MS-DOS用アプリケーションが動作しなくなる場合があります。エマージェンシーディスクは、「スタート」ボタン 「プログラム」 「McAfee VirusScan」の「エマージェンシーディスク作成」をクリックして作成することができます。
なお、エマージェンシーディスクの作成には、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。
詳しくは、VirusScanのヘルプをご覧ください。
- 9** 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10** 「インストール設定の確認」で「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
- 11** 「システム領域のスキャンが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 12** 「この製品についての最新の情報を表示しますか?」と表示されるので、このまま最新の情報を読む場合は「はい」ボタン、読まない場合は「いいえ」ボタンをクリックする
最新の情報は「スタート」ボタン 「プログラム」 「McAfee VirusScan」の「ウィルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。
- 13** インストールが終了すると、「インストールが完了しました」と表示されるので、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選び、「終了」ボタンをクリックする
Windows 98が再起動します。
- 14** Windows 98再起動後、「ウィルス監視機能を解除する」(p.187) の手順1～5行う
ウィルス監視機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウィルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

英語モードフォントを利用する

海外製Windows 98アプリケーションを日本語版Windows 98で使用する
場合、文字が正しく表示されません。文字モードを変換する必要があります。

チェック!! 英語モードフォントを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を
使ってインストールします。

日本語モードフォントを使用したまま、本機で海外製Windows 98アプリケー
ションを利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)(\)が正しく表示されま
せん。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて、
正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードフォントを使用した
まま、本機で日本語版Windows 98のアプリケーションを利用する場合、「ㄱ」
「ヨ」「¥」が正しく表示されないことがあります。そのときは、英語モードフォ
ントを日本語モードフォントに切り替えます。

それぞれのモードでの表示状態については、次のとおりです。

| | 海外製Windows 98 アプリケーションを使用 | 日本語版Windows 98 アプリケーションを使用 |
|----------------|------------------------------|-------------------------------|
| 日本語モードフォ ント | 「©」「ㄱ」「®」「ヨ」 「\」「¥」 | 正しく表示される |
| 英語モードフォ ント | 正しく表示される | 「ㄱ」「©」 「ヨ」「®」 「¥」「\」 |

追加 - 英語モードフォントへの切り替え

- 1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」で「コントロ
ールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ファイル」の「新しいフォントのインストール」を選択する
- 3 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 4 「フォントの追加」の「ドライブ」に「アプリケーションCD-ROM」を
セットしたドライブ(通常はQ: ¥)を指定する
- 5 「フォルダ」で「usfont」フォルダをダブルクリックする

- 6 「フォントの一覧」に「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal(Set#6)」が表示されたら「すべてを選択」をクリックし「OK」をクリックする

チェック!! 使用しているフォントが英語モードフォントのまま、日本語版Windows 98アプリケーションをWindows 98で使用すると、「り」リ「ヨ」ヨ「¥」が正しく表示されなくなります。この場合、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えてください。

削除 - 日本語モードへの切り替え

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする
- 2 「FONTS」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal(Set#6)」(短く表示されることもあります)を選択し「ファイル」の「削除」を選ぶ
- 3 「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする

チェック!! 使用しているフォントが日本語モードフォントのまま、海外版Windows 98アプリケーションをWindows 98で使用すると、著作権 © や登録商標 ® が正しく表示されなくなります。この場合、日本語モードフォントを英語モードフォントに切り替えてください。

駅すばあと全国版

(LaVieの一太郎モデル/Wordモデルのみ)

駅と駅間の距離、金額、最短時間、路線順などを見ることができます。

起動と使い方

- 1 「スタートボタン」「プログラム」「駅すばあと全国版」の「駅すばあと」をクリックする



- 2 「出発地」と「目的地」を入力する
- 3 「探索」をクリックすると結果が表示される

削除

- 1 「削除の準備 (p.125)」の手順1 ~ 2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「駅すばあと」をクリックして「追加と削除」をクリックする

- 3 「駅すばあととそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」を選んでください。
- 4 「アンインストールが完了しました...」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

アイコンの削除

デスクトップに「駅すばあと」のアイコンが残った場合は、次の手順で削除してください。

- 1 アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューで「削除」をクリックする
- 3 「ファイルの削除の確認」で、「はい」ボタンをクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択」(p.127)の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「駅すばあと」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「ファイルコピーの開始」で「次へ」ボタンをクリックするインストールが始まります。
- 7 「駅すばあとのセットアップが完了しました」と表示されたら「終了」ボタンをクリックする

アイコンの追加

- 1** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
- 2** エクスプローラのウィンドウで、C: ¥Windows ¥スタートメニュー ¥プログラム ¥駅すぱあと 全国版にある「駅すぱあと」のアイコンを右クリックする
- 3** 表示されたメニューで「コピー」をクリックする
- 4** デスクトップの画面を右クリックし、表示されたメニューで「貼り付け」をクリックする
「駅すぱあと」アイコンがデスクトップに貼り付けられます。

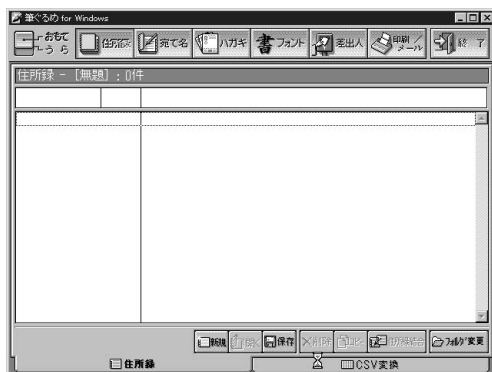
筆ぐるめ

(LaVieの一太郎モデル/Wordモデルのみ)

ハガキの宛名書き、本文書きをいろいろと簡単に作成することができます。
7桁の郵便番号にも対応しています。

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「筆ぐるめ for Windows 95」
で「筆ぐるめVersion 4.0」をクリックする



削除

- 1 「削除の準備 (p.125)」の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「筆ぐるめ for Windows 95
Version4.0」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 4 「アンインストールが完了しました...」と表示されたら「OK」ボタン
をクリックする

アイコンの削除

デスクトップに「筆ぐるめ Version 4.0」のアイコンが残った場合は、次の手順で削除してください。

- 1 アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューで「削除」をクリックする
- 3 「ファイルの削除の確認」で、「はい」ボタンをクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択」(p.127)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「筆ぐるめ」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「筆ぐるめ for Windows 95 Version 4.0」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「ユーザー情報登録」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「質問」で「はい」ボタンをクリックする
- 6 「インストール先の指定」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「インストールタイプの選択」で「標準」「最小」「選択」のいずれかを選ぶ
ここでは「標準」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。
- 8 「質問」で「はい」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 9 「筆ぐるめのセットアップが終了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

アイコンの追加

- 1** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
- 2** エクスプローラのウィンドウで、C: ¥Windows¥スタートメニュー ¥プログラム ¥筆ぐるめ for Windows 95にある「筆ぐるめ Version 4.0」のアイコンを右クリックする
- 3** 表示されたメニューで「コピー」をクリックする
- 4** デスクトップの画面を右クリックし、表示されたメニューで「貼り付け」をクリックする
「筆ぐるめ Version 4.0」アイコンがデスクトップに貼り付けられます。



パソコン用語集

(LaVieの一太郎モデル / Wordモデルのみ)


パソコン用語集は、出荷時にはインストールされていません。パソコン用語集を使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は、「追加」をご覧ください。

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「パソコン用語集」をクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択」(p.127)の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「その他のアプリケーションセットアップ」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「その他アプリケーションセットアップ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「セットアップ方法の選択」で「カスタム」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「カスタムセットアップ」でパソコン用語集を選び、「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。

-  **チェック!!** ・「コピー先に新しい日付のファイルが存在します。上書きしてよろしいですか」の表示が出たら、「いいえ」をクリックしてください。
- ・「このファイルはWindowsが使用中または書き込み禁止であるため上書きできません」という表示が出たら、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 6 「セットアップが完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
システム設定が変更された場合は、再起動のメッセージが表示されるので、「はい」を選び、システムを再起動してください。

削除

- 1 「削除の準備（ p.125 ）の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「その他のアプリケーションセットアップ」をクリックし、「追加と削除」をクリックする
- 3 「その他のアプリケーションセットアップ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「セットアップの方法の選択」で「カスタム」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 パソコン用語集のチェックを外して、「次へ」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 6 「セットアップが完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする



DMIT00L (VersaProのみ)

DMIT00Lは、パーソナルコンピュータや接続されているハードウェアの情報と、インストールされているソフトウェアの情報を管理するソフトです。

DMIT00Lは、管理方法として、標準化団体DMTF(Desktop Management Task Force)が規定したDMI(Desktop Management Interface)を採用しています。

DMIT00Lは、次の5つの機能で構成されています。

- ・システムビューア
- ・状態監視
- ・MIFブラウザ
- ・リモート電源制御
- ・WWW Extension

操作方法や表示画面については、添付のオンラインヘルプおよび「ご使用になる前に (Readme.txt) をご覧ください。

✓チェック!! 使用しているコンピュータがネットワークに接続されている場合は、定期的にパケットが送信されることがあります。パケットを送信したくない場合は、注意が必要です。詳しくは、添付のオンラインヘルプをご覧ください。

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Dmitool」の中から利用したい機能をクリックする
選択した機能の画面が表示されます。

システムビューア画面



追加

- 1 「プロダクトの選択」(p.127)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「DMIT00L」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」の画面で、指示に従い「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「登録」の画面で、名前と会社名を入力して「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「起動モード」の画面で、起動モードを選択して「次へ」ボタンをクリックする
プログラムのインストールが開始されます。

チェック!! 通常は初期設定のままインストールしてください。「起動モード」は「コントロールパネル」の「DMIT00L」で変更できます。「起動モード」については、インストールした後「ご使用になる前に」をご覧ください。

6 「情報」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする

7 本機を再起動する

削除

DMIT00L WWW Extensionをセットアップしていない場合は、手順7からはじめてください

1 PWS("Personal Web Server")を停止する

2 「削除の準備」(p.125)の手順1～2を行う

3 「DMIT00L WWW Extension」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする

4 DMIT00L WWW Extension常駐プログラム終了を確認する画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする

5 PWSプログラム終了を確認する画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする

6 「ファイル削除の確認」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

これでDMIT00L WWW Extensionプログラムの削除が開始されます。

7 DMIT00L関連のアプリケーションが起動されていないことを確認する

次のアプリケーションがDMIT00L関連のアプリケーションです。

- ・システムビューア
- ・状態監視
- ・システムヘルス
- ・リモートビューア
- ・MIFブラウザ
- ・BIOSブラウザ
- ・リモート電源制御
- ・休眠ファイル

- 8 「削除の準備」(p.125)の手順1～2を行う
- 9 「DMIT00L」をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 10 「DMIT00L削除」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 11 「ファイル削除の確認」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
これでプログラムの削除が開始されます。

 **チェック!!** 「いいえ」を選択し、削除を中断した場合は、システムを再起動してからDMIT00Lを使用してください。

- 12 削除を開始して間もなく共有ファイルの削除を確認する画面が表示されたら、「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 13 「コンピュータからプログラムを削除」の画面でアンインストールが完了した旨が表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 14 「レポート」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする
本機が自動的に再起動します。



pcANYWHERE32 EX (VersaProのみ)

ネットワーク接続された他のパソコンに、本機の画面をそのまま表示し、遠隔地から本機を自由に操作することができます。遠隔地からの保守作業などに使用することができます。

- ✓チェック!!**
- ・本機に添付されているpcANYWHERE32 EXを使って、他のパソコンを操作することはできません。
 - ・接続デバイスは、IPX(Windows NTを除く)、SPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設定できます。
 - ・他のパソコンから本機を操作するには、相手側のパソコンに別売の「DMIT00L(pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」または「pcANYWHERE (Symantec 社製)」がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても、別売の「DMIT00L(pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。

起動

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「pcANYWHERE32 EX」の「pcANYWHERE32 EX」をクリックする


追加

- 1 「プロダクトの選択」(p.127)の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「pcANYWHERE32 EX」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「ユーザーの情報」で名前と会社名を入力し、「次へ」ボタンをクリックする


- 5 「オンライン使用許諾契約」で、契約内容をよくお読みになり、同意のうえ「はい」ボタンをクリックする
- 6 「セットアップは次のフォルダにpcANYWHEREをインストールします。」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアッププレビュー」で「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
- 8 「セットアップの完了」で、「はい、直ちにコンピュータを再起動します」がチェックされていることを確認して「終了」ボタンをクリックする
自動的に再起動します。

削除

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「pcANYWHERE32 EX」 「pcANYWHERE32 EXの削除」をクリックする
- 2 「ファイル削除の確認」で「はい」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 共有ファイルの削除を確認する画面が表示された場合は、「すべてはい」ボタンをクリックしてください。すぐに削除の継続を確認する画面が表示されるので、「はい」ボタンをクリックしてください。

- 3 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 共有コンポーネントの削除を確認する画面が表示された場合は、すべて「はい」ボタンをクリックしてください。

- 4 「pcANYWHEREはコンピュータからインストール解除されました。今すぐ再ブートしますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
自動的に再起動します。

PART

5

他のOSを利用する

Windows NT 4.0を本機で使用方法を説明しています。

このPARTの内容

Windows NT 4.0を使う



Windows NT 4.0を使う

本機でWindows NT 4.0を使うための注意事項やセットアップについて説明しています。

Windows NT 4.0を使用する際の注意

本機でWindows NT 4.0を使う場合は、次の点に注意してください。

- ・ Windows NT 4.0はUSB機器をサポートしていません。
- ・ Windows NT Server 4.0は使用できません。
- ・ Windows NT 4.0では、次のような場合はサスペンドをしないでください。
 - ・ PCカードを使用中
 - ・ ハードディスク、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクにアクセス中
 - ・ プリンタへ出力中
 - ・ 通信用アプリケーションを実行中
 - ・ 音声または動画を再生中
 - ・ Windows NTのシャットダウン中

また、サスペンド/レジュームで問題が発生する場合は、サスペンド/レジューム機能を無効にしてください。BIOSセットアップユーティリティの「省電力」で次のように設定します。


- パワーマネージメント : 使用しない
- スリープボタン : 使用しない
- LCD連動スリープ : 使用しない

Windows NT 4.0のセットアップについて

本機でWindows NT 4.0をセットアップするには、次の手順で行います。

1. Windows NT 4.0のセットアップ
 - 1-1 Windows NT 4.0をアップデートするためのディスクを作成する
 - 1-2 Windows NT 4.0をセットアップする前の確認事項
 - 1-3 Windows NT 4.0をセットアップする
 - 1-4 内蔵LANの設定(LAN内蔵モデルのみ)
 - 1-5 ドライバをアップデートする
2. 内蔵アクセラレータの利用

3. 内蔵サウンドの利用
4. NXパッドの拡張
5. 内蔵FAXモデムのセットアップ(FAXモデム内蔵モデルのみ)
6. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ
7. Windows NT 4.0アップデートサービスService Pack 3の利用

 **チェック!** ・ドライバのアップデートはシステム管理者が行ってください。

- ・本機に添付されているドライバは本機専用です。他機種では使用できません。
- ・ここでは、Windows 98がインストールされているドライブ :Cドライブ、フロッピーディスクドライブ :A ドライブとして説明します。実際と異なる場合は読み替えてください。
- ・セットアップの前に1.44Mバイトフォーマット済みのフロッピーディスク4枚を用意し、それぞれのラベル に「システム修復ディスク」Windows NT 4.0アップデートディスク1」「Windows NT 4.0アップデートディスク2」「Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティ」と記入しておいてください。

1. Windows NT 4.0のセットアップ

1-1 Windows NT 4.0をアップデートするためのディスクを作成する

ここでは、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」、「Windows NT 4.0アップデートディスク2」、「Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティ」を作成します。

内蔵ハードディスクにはWindows NT 4.0のドライバがコピーされています。これらのドライバを次の手順でフロッピーディスクにコピーします。

- 1** Windows 98の「スタート」ボタン 「プログラム」 「MS-DOSプロンプト」でMS-DOSプロンプトを起動する
- 2** 用意した「Windows NT 4.0アップデートディスク1」のラベルのフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットする
- 3** MS-DOSプロンプトから次のように入力する
C:【Enter】
CD ¥NT40【Enter】

4 カレントディレクトリが「NT40」であることを確認し、MS-DOSプロンプトから次のように入力する

このとき、フロッピーディスクのドライブ名にコロン「:」は付けないでください。

CDNTUP A【Enter】

5 画面の表示に従ってファイルをコピーする

作成したフロッピーディスクは、今後Windows NT 4.0をセットアップする際に必要となりますので、大切に保管してください。

1-2 Windows NT 4.0をセットアップする前の確認事項

本機にWindows NT 4.0を新規に組み込む場合は、セットアップ前に「Windows NT 4.0アップデートディスク1」のルートディレクトリに格納された「README.TXT」を必ずお読みください。

また、Windows NT 4.0のマニュアルも必ずお読みください。

1-3 Windows NT 4.0をセットアップする

CD-ROMドライブ搭載モデルは、Windows NT 4.0のマニュアルをご覧になり、Windows NT 4.0のセットアップを行ってください。

CD-ROMドライブを搭載していないモデルでは、別売のCD-ROMドライブやネットワークを利用してWindows 98のMS-DOSプロンプトからWINNTコマンドでセットアップを行います。

次の手順でセットアップを行ってください。

1 ネットワークを利用する場合は、Windows NT 4.0のソースファイル(Windows NT CD-ROM Disc 1のi386ディレクトリ下のファイル)をネットワークサーバの共有ドライブにコピーする

2 Windows 98 を起動する

CD-ROMドライブにWindows NT 4.0のCD-ROM Disc 1をセットします。

ネットワークを利用する場合は、手順1でWindows NT 4.0のソースをコピーした共有ドライブに接続します。

3 MS-DOSプロンプトからCD-ROMや共有ドライブ上のWINNTコマンドを実行する


ここでは、ドライブ名を Q、ディレクトリ名を i386として説明します。実際と異なる場合は、読みかえてください。

Q: 【Enter】

CD ¥ i386【Enter】

WINNT /B【Enter】

4 このあとは、画面に表示されるメッセージに従ってセットアップを行う

 **チェック!!** 内蔵FAXモデムを使用するリモートアクセスサービスの設定は、Windows NT 4.0のセットアップ時ではなく、内蔵FAXモデムのセットアップ終了後に行ってください。

1-4 内蔵LANの設定(LAN内蔵モデルのみ)

ここでは、Windows NT 4.0のセットアップ中に内蔵LANを設定する方法を説明します。

1 Windows NT 4.0のセットアップ中でネットワークをインストールするときに、「ネットワークに参加する」「ネットワークに接続」を選択して「次へ」ボタンをクリックする

2 ネットワークアダプタの検索画面が表示されたら「一覧から選択」ボタンをクリックする

3 ネットワークアダプタの選択画面で「ディスク使用」をクリックする

4 フロッピーディスクの挿入画面で「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットし、次のように入力して「OK」ボタンをクリックする

A: ¥NET21143

5 OEMオプションの選択画面で、一覧から「NEC 21143 based Fast Ethernet Adapter」を選び、「OK」ボタンをクリックする

6 ネットワークアダプタの検索画面に「 NEC 21143 based Fast Ethernet Adapter 」が表示されていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする

7 次のネットワークアダプタの構成を行う

- ・ ネットワークプロトコルの選択
- ・ ネットワークサービスの選択
- ・ ネットワークの設定の確認
- ・ ネットワークに必要なファイルのコピー
- ・ NEC 21143 based Fast Ethernet Adapterの設定
- ・ ネットワークバインドの調整
- ・ ワークグループまたはドメインの参加

これで、内蔵LANを組み込む手順が終了しました。後は画面の指示に従って設定を行ってください。

Windows NT 4.0のセットアップ後に内蔵LAN設定をする場合は、次の手順に従ってください。

1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックする

2 「今すぐインストールしますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする

3 「ネットワークセットアップウィザード」で「ネットワークに接続」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

4 「一覧から選択」ボタンをクリックする

5 ネットワークアダプタの選択画面で「 NEC 21143 based Fast Ethernet Adapter 」を選び、「OK」ボタンをクリックする

6 次のネットワークアダプタの構成を行う

- ・ ネットワークプロトコルの選択
- ・ ネットワークサービスの選択
- ・ ネットワークの設定の確認

- ・ ネットワークに必要なファイルのコピー
- ・ NEC 21143 based Fast Ethernet Adapterの設定
- ・ ネットワークバインドの調整
- ・ ワークグループまたはドメインの参加

✓チェック!! ネットワークに必要なファイルのコピーファイルの読み込みが要求された場合は、「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をCD-ROMドライブにセットし、キーボードから「<CD-ROMドライブ名>: ¥i386」と入力して「続行」ボタンをクリックしてください。

これで、内蔵LANドライバを組み込む手順が終了しました。この後は、画面の指示に従って設定を行ってください。

ネットワークの設定の前にService Packを適用している場合は、ネットワーク設定後の再起動前に、再度Service Packを適用する必要があります。

✓チェック!! CD-ROMドライブを搭載していないモデルでWindows NT 4.0のセットアップ後にネットワークの設定を行う場合は、Windows NT 4.0上でCD-ROMドライブを使用できる環境が必要です。

1-5 ドライバをアップデートする

次の手順でドライバのアップデートをします。

✓チェック!! ドライバをアップデートする前に、Microsoft Windows NT 4.0アップデートサービス「Service Pack 3」をインストールしてください(p.219)。

1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「コマンドプロンプト」をクリックして、コマンドプロンプトを起動する

2 「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットする

3 Windows NT 4.0のコマンドプロンプトから次のように入力する

A:【Enter】

CD ¥【Enter】

カレントディレクトリがAドライブのルートディレクトリであることを確認して、次のように入力する

UPDATE【Enter】

4 画面に表示されるメッセージ内容をよく確認しながら画面の指示に従う

以上でWindows NT 4.0のセットアップは終了しました。アップデートしたドライバは再起動後に有効になります。

再起動するときは、フロッピーディスクドライブから「Windows NT 4.0アップデートディスク」を取り出してください。

2. 内蔵アクセラレータの利用

内蔵アクセラレータを利用するには、次の手順でセットアップを行います。

- 1 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ディスプレイの設定」タブをクリックする
- 3 「ディスプレイの種類」ボタンをクリックする
- 4 「変更」ボタンをクリックする
- 5 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 6 「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットし、フロッピーディスクを入れたドライブのNMG4ディレクトリを指定して(A:¥NMG4)、「OK」をクリックする
- 7 「ディスプレイ」リストボックスから、「NeoMagic MagicGraph128 Family」を選ぶ
- 8 「OK」ボタンをクリックする
当社以外のドライバ組み込み確認のメッセージが表示されます。
- 9 「はい」ボタンをクリックする
ドライバ組み込みの結果が表示されます。

10 「OK」ボタンをクリックする

11 「閉じる」ボタンをクリックする

12 「閉じる」ボタンをクリックする

「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されます。

13 フロッピーディスクドライブから「Windows NT 4.0アップデートディスク1」を取り出し、「はい」ボタンをクリックする

以上でアクセラレータドライバのセットアップが終了しました。次回起動時から、アクセラレータドライバが有効になります。

3. 内蔵サウンドの利用

次の手順でセットアップを行います。

1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マルチメディア」アイコンをダブルクリックする

2 「デバイス」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックする

3 ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

4 ドライバのインストール画面が表示されたら、「Windows NT 4.0アップデートディスク2」をフロッピーディスクドライブにセットする

5 フロッピーディスクドライブ名とディレクトリ名を指定して(A: ¥ ESS) 「OK」ボタンをクリックする

6 ドライバの一覧に「ES1879/1869/1878/1868/1887/1888 AudioDrive 2」が選択されていることを確認してから「OK」ボタンをクリックする

7 再起動に関するメッセージが表示されるので、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して、「再起動する」ボタンをクリックする

Windows NTが再起動します。再起動後にドライバが有効になります。

4. NXパッドの拡張

NXパッド対応の拡張ドライバを利用することにより、オートジャンプ、タッピングなど、NXパッドの機能を拡張することができます。

次の手順でセットアップを行います。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 2 「全般」タブをクリックする
- 3 「変更」ボタンをクリックする
- 4 「デバイスの選択」で、「ディスク使用」をクリックする
- 5 ドライバのインストール画面になったら、「Windows NT 4.0 アップデートディスク2」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 6 フロッピーディスクドライブ名とSLIDEPADディレクトリ(A: ¥ SLIDEPAD)を指定して「OK」ボタンをクリックする
- 7 モデルの一覧から「NX PAD」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
- 8 「デバイスのインストールの確認」で「はい」ボタンをクリックする
- 9 ファイルのコピーが終了したら、「マウスのプロパティ」で「閉じる」ボタンをクリックする

- 再起動に関するメッセージが表示されるので、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、「はい」ボタンをクリックしてWindows NTを再起動させる
再起動後にドライバが有効になります。

NXパッドの拡張機能の設定は、次の手順で行います。

- 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 必要に応じて設定を行う
設定方法については、オンラインヘルプをご覧ください。
- 設定が終了したら、「マウスのプロパティ」で「OK」ボタンをクリックする
「マウスのプロパティ」が閉じて、設定が有効になります。

5. 内蔵FAXモデムのセットアップ(FAXモデム内蔵モデルのみ)

次の手順でセットアップを行います。

この手順は、FAXモデム内蔵モデルにのみ必要な手順です。その他のモデルをお使いの場合は、「6. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ」に進んでください。


- 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「シリアルポート」アイコンをダブルクリックする
- 「追加」ボタンをクリックする
- 「新しいポートの詳細設定」で各設定を選ぶ
「COMポートの番号」は必ず「2」を選択してください。「I/Oポートアドレス」、「割り込み番号(IRQ)」は他のデバイスと競合しない値を選んでください。
- 「OK」ボタンをクリックする
- 「システム設定の変更」で「再起動しない」をクリックする

- 6 「閉じる」ボタンをクリックする
- 7 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックする
- 8 「新しいモデムのインストール」で「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 10 「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 11 「フロッピーディスクからインストール」画面で次のように入力し、「OK」をクリックする
A: ¥LTMODEM
- 12 「NEC Fax Modem 56K Data+Fax+Voice(ZUQ)」を選択し、「次へ」をクリックする
- 13 どのポートにインストールするかを訊いてくるので、「選択したポート」をチェックする
- 14 「COM2」を選択して「次へ」ボタンをクリックする
- 15 「所在地情報」を設定して「次へ」ボタンをクリックする
- 16 「次へ」ボタンをクリックする
- 17 以後は画面のメッセージに従って操作し、セットアップを終了する

6. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ

BIOSセットアップユーティリティを利用するため、次の手順でセットアップします。

- 1 「Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティ」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 2 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 3 「ファイル名を指定して実行」画面で「A: ¥SETUP」と入力して、「OK」ボタンをクリックする
インストール画面が表示されます。
- 4 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「ファイルコピーの開始」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップ完了」で、フロッピーディスクドライブから「Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティ」を取り出して、「終了」ボタンをクリックする
これでBIOSセットアップユーティリティのセットアップは完了です。


 **チェック!!** Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティを起動するには、「スタート」ボタン 「プログラム」 「BIOSセットアップユーティリティ」をクリックします。

7. Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 3の利用

Microsoft Windows NT4.0アップデートサービス「Service Pack 3」を適用する場合は、必ず次の手順で行ってください。

- 1 Service Pack 3の「README.TXT」を読む
- 2 Service Pack 3のインストールを行う
再起動を促すメッセージが表示されますが、再起動せずにドライバのアップデートを行います。

3 「1-5 ドライバをアップデートする」の手順でドライバをアップデートする

 **チェック!!** ファイルコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選択してください。

4 本機を再起動する

設定は、本機の再起動後に有効になります。

付録

ここでは、本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

このPARTの内容

Windows 98でMS-DOSモードを利用する

本機のお手入れ

コンピュータウイルス対策

機能一覧

割り込みレベル・DMAチャンネル



Windows 98でMS-DOSモードを利用する

Windows 98のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOSモードを利用する

MS-DOSモードを利用すると、従来のMS-DOSで起動したときと同じような環境で本機を使うことができます。

本機をMS-DOSモードで再起動する

MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。

MS-DOSモードを終了する

- 1 コマンドプロンプトの画面から、次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。「MS-DOSモード」は、従来のMS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 98上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「MS-DOSプロンプト」をクリックする
「MS-DOSプロンプト」ウィンドウが表示されます。なお、「MS-DOSモード」または「MS-DOSプロンプト」からは使用できないコマンドやアプリケーションもあります。

CD-ROMドライバ(内蔵CD-ROMドライブ)

本機は、ご購入時の設定では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使用することはできません。MS-DOSモードで内蔵のCD-ROMドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。

現在のMS-DOSモードで内蔵のCD-ROMドライブを使う場合

現在のMS-DOS設定を使う場合で、MS-DOSモード上でCD-ROMを使うときには、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、DOSSTART.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、DOSSTART.BATは拡張子SCDとして保存されます。
- 4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。
- 5 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする

- 6 「再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 7 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 8 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てられます。

新しいMS-DOS設定を指定する場合

新しいMS-DOS設定を指定する

新しいMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する
「エクスプローラ」が表示されます。
 - 2 C: ¥COMMAND.COMをクリックする
プログラム名が反転表示されます。
- COMMAND.COMは、COMMANDと表示されることもあります。表示の設定を変更するには、『困ったときのQ&A』PART2の「ファイル、フォルダがおかしい」の中の「ファイルの拡張子が表示されない」をご覧ください。
- 3 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックするか、COMMAND.COMを右クリックして「プロパティ」をクリックする
「Commandプロパティ」が表示されます。
 - 4 「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリックする
「プログラムの詳細設定」が表示されます。


- 5 「MS-DOSモード」をクリックして、「新しいMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける
CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。
- 6 「OK」ボタンをクリックする
「プログラムの詳細設定」が閉じます。
- 7 「OK」ボタンをクリックする
「プロパティ」が閉じます。
- 8 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COMをダブルクリックする
MS-DOSモードが起動します。
- 9 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは拡張子SCDとして保存されます。
- 10 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。
- 11 エクスプローラを起動していない場合は「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する
「エクスプローラ」が表示されます。
- 12 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COMをダブルクリックする
MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てられます。

 **チェック!!** 新しいIMS-DOS設定したCOMMAND.COMを起動した場合は、次のようなメッセージが表示されることがあります。

「このプログラムはMS-DOSモードで実行するように設定されており、ほかのプログラムの動作中には実行できません。続行するとほかのプログラムをすべて終了します。続行しますか?」

本機のお手入れ

ここでは、パソコンのお手入れの方法を説明しています。

準備するもの

汚れが軽いとき

乾いたやわらかい素材のきれいな布

汚れがひどいとき

水かぬるま湯を含ませ堅くしぼったきれいな布

機器クリーニング用のフキンも汚れを拭き取るのに便利です。
機器クリーニング用のフキンについてはご購入元、NEC サービスセンター、サービスステーションに問い合わせてください。



参照 ▶ NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』または『メンテナンス&サポートのご案内』

パソコンのお手入れをはじめる前に

⚠注意



お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いてください。
電源を切らずにお手入れをはじめると、感電することがあります。

パソコンのお手入れをはじめる

パソコンのお手入れをするときは、次のことに注意してください。



チェック!!

- ・水やぬるま湯は、絶対に本機に直接かけないでください。本機の傷みや故障の原因になります。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本機の傷みや故障の原因になります。

液晶ディスプレイ

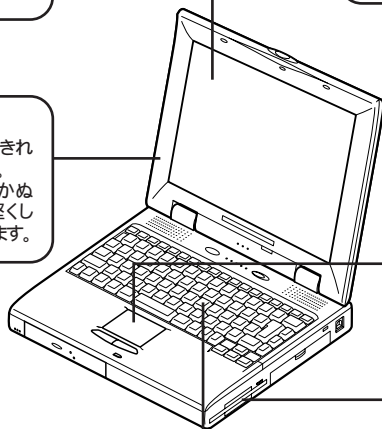
乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんは使わないでください。

電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡ってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取るようにしてください。

パソコン

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、堅くしぼったきれいな布で拭きます。



NXパッド

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、堅くしぼったきれいな布で拭きます。

キーボード

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、堅くしぼったきれいな布で拭きます。キーのすきまにゴミが入ったときは、専用のクリーナーなどでゴミをとってください。ゴミが取れないときは、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションに問い合わせてください。NECのお問い合わせ先:『NEC PCあんしんサポートガイド』または『メンテナンス&サポートのご案内』

フロッピーディスクドライブ

クリーニングディスク(別売)を使ってフロッピーディスクドライブをクリーニングします。ひと月に一回を目安にクリーニングしてください。



コンピュータウイルス対策

ここでは、コンピュータウイルスとはどんなものか、また、ウイルスの予防法や検査するためのアプリケーションについて説明しています。

用語 コンピュータウイルス

コンピュータウイルスとはプログラムの一種です。ユーザ（使用者）が気がつかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

コンピュータウイルスの種類

コンピュータウイルスが「ウイルス」と呼ばれるのは、外部から正常なシステムに入りこんだり、障害が発生するまで潜伏期間があったりするところが、本物のウイルスと類似しているからです。システムに入り込まれてしまうことを感染、プログラムに障害が発生することを発病と言います。

ウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

・ファイル感染型ウイルス

一般に、実行型ファイル（拡張子が .EXE や .COM ）に感染するタイプのウイルスです。ファイル感染型ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

・マクロ感染型ウイルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能は、ワープロ文書や表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

・ブートセクタ型ウイルス

コンピュータの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ（IPL）といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

コンピュータウィルスの感染を防ぐために

フロッピーディスクやネットワークを利用して、プログラムやデータのやりとりを繰り返していると、ウィルスに感染したプログラムやデータを受け取る可能性があります。ウィルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する。
- ・出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない。
- ・入手したプログラムはウィルス検査をすませてから使用する。
- ・パーソナルコンピュータのウィルス検査は定期的に行う。

本機には、ウィルスチェッカー「VirusScan」が用意されています。ウィルスチェッカーを定期的にご利用して、ウィルスに感染していないかどうか、チェックされることをおすすめします。また、新種のウィルスに対応できるようウィルスチェッカーは定期的に最新のものに更新してください。



参照 VirusScanの使い方 「VirusScan」(p.186)

万一、コンピュータウィルスに感染してしまった場合は、最寄りのNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

また、定期的にディスク全体のバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウィルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

コンピュータウィルスを発見したら

ウィルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが一番安全で確実な方法です。なお、感染したウィルスがブートセクタ型の場合、またはブートセクタがウィルスに感染した可能性がある段階ではこの方法は使えません。

また、2次感染を防ぐため、ウィルスが発見された場合は、使用した媒体(フロッピーディスク、ハードディスクなど)をすべてウィルス検査する必要があります。

コンピュータウィルスの被害届について

日本では、企業でも個人でもウィルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務づけられています。ウィルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体(通称IPA)がウィルス技術調査室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウィルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)、届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。

IPA本部

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目1番38号

秀和芝公園3丁目ビル

電話 03-3437-2301

FAX 03-3437-5386

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>



機能一覧

型番の読み方と機能仕様(VersaProシリーズ)

PC - VA [□] * * CW * * * * * 3

CPUのクロック周波数

23 : 233MHz

20 : 200MHz

ディスプレイタイプ

X : 13.3インチTFT液晶ディスプレイ

S : 12.1インチTFT液晶ディスプレイ

D : 12.1インチDSTN液晶ディスプレイ

インストールソフトウェアタイプ

T : Windows 98のみ

U : Windows 98(一太郎モデル)

V : Windows 98(Wordモデル)

ハードウェア種別1

A : CD-ROMあり

Y : CD-ROMなし

ハードウェア種別2(LAN / メモリ容量)

A : LAN内蔵 / 32Mバイト

B : LAN内蔵 / 64Mバイト

M : LANなし / 32Mバイト

N : LANなし / 64Mバイト

ハードディスク容量

2 : 約2.1Gバイト

3 : 約3.2Gバイト

4 : 約4Gバイト

仕様一覧

VersaProシリーズ本体機能仕様

型番・型名の*のところは、前ページの「型番の読み方と機能仕様」をご覧ください。
 の項目の仕様は、ご使用のモデルによって異なります。

| | | | | |
|--------------|--|---|---|---|
| 型名 | VA23C/WX model****3 | VA20C/WS model****3 | VA20C/WD model****3 | |
| 型番 | PC-VA23CW****3 | PC-VA20CWS****3 | PC-VA20CWD****3 | |
| CPU | MMX ² テクノロジPentium [®] プロセッサ | | | |
| | 周波数 | 233MHz | 200MHz | |
| | 内蔵キャッシュメモリ | 32Kバイト | | |
| セカンドキャッシュメモリ | 512Kバイト | 256Kバイト | | |
| メモリ | ROM | 256Kバイト(BIOSほか) | | |
| | メインRAM | 標準 32Mバイト / 64Mバイト | | |
| | | 最大 | 160Mバイト(別売の増設RAMボード(128Mバイト)を増設した場合) | |
| ビデオRAM | 2Mバイト | | | |
| 表示機能 | 表示素子 | バックライト付13.3インチTFT カラー液晶ディスプレイ ¹ | バックライト付12.1インチTFT カラー液晶ディスプレイ ¹ | バックライト付12.1インチハイレソボ ンズDSTNカラー液晶ディスプレイ ¹ |
| | ウィンドウアクセラ レータ | Neo Magic社製NM2160標準搭載 (ビデオアクセラレーション機能対応) VA23C 640×480ドット(16色 / 26万色中256色 / 65536色 / 1677万色*) 800×600ドット(26万色中256色 / 65536色 / 1677万色*) 1024×768ドット(26万色中256色 / 65536色) VA20C 640×480ドット(16色 / 26万色中256色 / 65536色 / 1677万色*) 800×600ドット(26万色中256色 / 65536色 / 1677万色*) *: ウィンドウアクセラレータのデザイン機能により実現 | | |
| | 別売のCRT ディスプレイ接続時 | 640×480ドット(16色 / 256色 / 65536色 / 1677万色) 800×600ドット(256色 / 65536色 / 1677万色) 1024×768ドット(256色 / 65536色) | | |
| サウンド機能 | サウンドチップ | ESSテクノロジー社製 ES1869SA搭載 | | |
| | PCM録音・再生機能 | 内蔵(ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート11.025KHz/22.05KHz/44.1KHz)全二重対応(モノラル、量子化8ビット時) | | |
| | FM音源機能 | 内蔵(拡張FM音源[FM音源最大20音]) | | |
| | スピーカ・マイク | ステレオスピーカ・マイクロホン内蔵 | | |
| | サラウンド | エンハンスド・ステレオ機能 | | |
| 通信機能 | LAN内蔵 (100BASE-TX / 10BASE-T) | なし / LAN内蔵(100BASE-TX / 10BASE-T) | | |
| 入力装置 | キーボード | 本体との一体型、JIS標準配列(英数・かな) Fnキー(ホットキー対応) 12ファンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー・Num Lockキー・右Ctrlキー付 | | |
| | ポインティングデバイス | NXパッド標準装備 | | |

| | | | |
|--|---|--|---------------------|
| 型名 | VA23C/WX model****3 | VA20C/WS model****3 | VA20C/WD model****3 |
| 型番 | PC-VA23CW****3 | PC-VA20CWS****3 | PC-VA20CWD****3 |
| 補助記憶装置 | フロッピーディスクドライブ | 3.5インチフロッピーディスクドライブ×1内蔵(720K/1.2M/1.44Mバイトタイプの3モードに対応) | |
| | 固定ディスクドライブ | 内蔵(約2.1Gバイト/約3.2Gバイト/約4Gバイト) | |
| | CD-ROMドライブ | あり | あり/なし |
| | | ありの場合: CAV方式、CD-DA(オーディオCD)、CD-ROM MODE1/2、CD-ROM XA MODE2(FORM1/2)、マルチセッション対応 最大20倍速(平均14倍速) データ転送速度はCD-ROMの最内周で8.5倍速、最外周で20倍速 | |
| インターフェイス | マウス/テンキーボード(PS/2タイプミニDIN6ピン) パラレル(D-SUB25ピン) シリアル(D-SUB9ピン、最高115.2Kbps対応) ディスプレイ(アナログRGBセパレート信号出力、ミニD-SUB15ピン) 赤外線通信(IrDA規格準拠、データ転送速度4Mbps) USB | | |
| サウンド関連 | ライン入力(ステレオ、ミニジャック) ヘッドホン出力/ライン出力共用(ステレオ、ミニジャック) マイク入力(モノラル、ミニジャック) ライン入力インピーダンス10k 入力レベル1Vrms マイク入力インピーダンス5k 入力レベル5mVrms(バイアス2.5V) ライン出力インピーダンス0.7Vrms | | |
| PCカードスロット | TYPE ×2スロット(TYPE ×1スロットとしても使用可) PC Card Standard 準拠、CardBus/ZVポート対応 ² | | |
| パワーマネージメント | 自動または任意設定可能 | | |
| セキュリティ機能 | ユーザーパスワード機能、スーパーバイザーパスワード機能、I/Oロック機能(APMモード時のみ) 盗難防止ロック(市販の盗難防止用ケーブルを使用) | | |
| バッテリー駆動時間 ⁶ (APMモード時) | 約1.5~2.2時間 | 約1.6~2.4時間 | |
| バッテリー充電時間 ⁶ | 電源ON時 : 約3.5時間 電源OFF時 : 約2.5時間 | | |
| バッテリーによるスタンバイ状態保持時間 ⁶ (バッテリーフル充電時) | 約4日(メモリ160Mバイト搭載時は約3日) | | |
| 電源 | ニッケル水素バッテリー(DC9.6V、3,800mAh) ³ またはAC100V±10%、50/60Hz(ACアダプタ経由 ⁴) | | |
| 消費電力 | 約20W | 約17W | |
| | 内蔵オプション最大接続時 約45W | | |
| 温湿度条件 | 5~35、20~80% (ただし、結露しないこと) | | |
| 外形寸法 | 306(W)×243(D)×52.5(H)mm(突起部含まず) | 306(W)×243(D)×49.5(H)mm(突起部含まず) | |
| 重量 ⁶ | 約3.5kg | 約3.0kg | |

1 液晶ディスプレイは消耗品です。

液晶ディスプレイでは、明るさのむらや、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。

また、輝度やコントラストの調整具合、表示モードと表示データの組み合わせによってはムラやちらつき、微細は斑点が現れることがあります。故障ではありません。

2 ZVポート対応のPCカードを上下スロットで同時使用することはできません。

3 バッテリーパックは消耗品です。

4 ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC125V対応です。

5 18~28、45%~75%での使用を推奨。

6 時間や重量は、本機のご利用状況やオプションの接続により変わる場合があります。

LaVieシリーズ本体機能仕様

| | | | | |
|--------------|--|--|---|---|
| 型名 | LW23/43C LW23/43D | LW20/42A LW20/42C LW20/42D | LW20/4DC LW20/4DD | LW20/4DA |
| 型番 | PC-LW2343C PC-LW2343D | PC-LW2042A PC-LW2042C PC-LW2042D | PC-LW204DC PC-LW204DD | PC-LW204DA |
| CPU | MMX ² テクノロジPentium [®] プロセッサ | | | |
| 周波数 | 233MHz | 200MHz | | |
| 内蔵キャッシュメモリ | 32Kバイト | | | |
| セカンドキャッシュメモリ | 512Kバイト | 256Kバイト | | |
| メモリ | ROM | 256Kバイト(BIOSほか) | | |
| | メインRAM | 64Mバイト | 32Mバイト | |
| | 最大 | 160Mバイト(別売の増設RAMボード(128Mバイト)を増設した場合) | | |
| ビデオRAM | 2Mバイト | | | |
| 表示機能 | 表示素子 | バックライト付13.3 インチTFTカラー液 晶ディスプレイ ¹ | バックライト付12.1 インチTFT カラー液晶ディス プレイ ¹ | バックライト付12.1インチハイレスポンス DSTNカラー液晶ディスプレイ ¹ |
| | ウィンドウアクセラ レータ | Neo Magic社製NM2160標準搭載 (ビデオアクセラレーション機能対応) LW23/43C、LW23/43D 640×480ドット(16色/26万色中256色/65536色/1677万色*) 800×600ドット(26万色中256色/65536色/1677万色*) 1024×768ドット(26万色中256色/65536色) 上記以外のモデル 640×480ドット(16色/26万色中256色/65536色/1677万色*) 800×600ドット(26万色中256色/65536色/1677万色*) *: ウィンドウアクセラレータのデザイン機能により実現 | | |
| | 別売のCRT ディスプレイ接続時 | 640×480ドット(16色/256色/65536色/1677万色)、800×600ドット(256色/65536色/1677万色)、1024×768ドット(256色/65536色) | | |
| サウンド機能 | サウンドチップ | ESSテクノロジー社製 ES1869SA搭載 | | |
| | PCM録音・再生機能 | 内蔵(ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート11.025KHz/22.05KHz/44.1KHz)全二重対応(モノラル、量子化8ビット時) | | |
| | FM音源機能 | 内蔵(拡張FM音源[FM音源最大20音]) | | |
| | スピーカ・マイク | ステレオスピーカ・マイクロホン内蔵 | | |
| | サラウンド | エンハンスド・ステレオ機能 | | |
| 通信機能 | モデム | データ転送速度:最大56kbps(K56flex) エラー訂正:V.42/MNP4 データ圧縮:V.42bis/MNP5 | | |
| | FAX | データ転送速度:最大14.4Kbps(V.17) FAX制御クラス1 | | |
| 入力装置 | キーボード | 本体との一体型、JIS標準配列(英数・かな)Fnキー(ホットキー対応)、12ファンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー・Num Lockキー・右Ctrlキー付 | | |
| | ポインティングデバイス | NXパッド標準装備 | | |

| | | | | |
|---|---|---|--------------------------|----------------|
| 型名 | LW23/43C LW23/43D | LW20/42A LW20/42C LW20/42D | LW20/4DC LW20/4DD | LW20/4DA |
| 型番 | PC-LW2343C PC-LW2343D | PC-LW2042A PC-LW2042C PC-LW2042D | PC-LW204DC PC-LW204DD | PC-LW204DA |
| 補助記憶装置 | フロッピーディスクドライブ | 3.5インチフロッピーディスクドライブ×1内蔵 720K/1.2M/1.44Mバイトタイプの3モードに対応) | | |
| | 固定ディスクドライブ | 内蔵(約3.2GB/バイト) | 内蔵(約2.1GB/バイト) | 内蔵(約1.6GB/バイト) |
| | CD-ROMドライブ | CAV方式、CD-DA(オーディオCD)×D-ROM MODE1/2、CD-ROM XA MODE2 (FORM1/2) マルチセッション対応 最大20倍速(平均14倍速) データ転送速度はCD-ROMの最内周で8.5倍速、最外周で20倍速となります。 | | |
| インターフェイス | マウス/テンキーボード(PS/2タイプミニDIN6ピン)、パラレルD-SUB25ピン)、シリアルD-SUB9ピン、最高115.2Kbps対応)、ディスプレイ(アナログRGBセパレート信号出力、ミニD-SUB15ピン) 赤外線通信(IrDA規格準拠、データ転送速度4Mbps)、USB | | | |
| サウンド関連 | ライン入力(ステレオ、ミニジャック)、ヘッドホン/ライン共用出力(ステレオ、ミニジャック)、マイク入力(モノラル、ミニジャック) ライン入力インピーダンス10k 入力レベル1Vrms マイク入力インピーダンス5k 入力レベル5mVrms(バイアス2.5V) ライン出力インピーダンス0.7Vrms | | | |
| PCカードスロット | TYPE ×2スロット TYPE ×1スロットとしても使用可) PC Card Standard準拠、CardBus/ZVポート対応 ²⁾ | | | |
| パワーマネジメント | 自動または任意設定可能 | | | |
| セキュリティ機能 | ユーザーパスワード機能、スーパーバイザーパスワード機能、I/Oロック機能(APMモード時のみ)、盗難防止ロック(市販の盗難防止用ケーブルを使用) | | | |
| バッテリー駆動時間 ⁶⁾ (APMモード時) | 約1.6~2.3時間 | 約1.7~2.5時間 | | |
| バッテリー充電時間 ⁶⁾ | 電源ON時 : 約3.5時間 電源OFF時 : 約2.5時間 | | | |
| バッテリーによるスタンバイ状態保持時間 ⁶⁾ (バッテリーフル充電時) | 約4日(メモリ160Mバイト搭載時は約3日) | | | |
| 電源 | ニッケル水素バッテリー(DC9.6V、3,800mAh) ³⁾ またはAC100±10%、50/60Hz(ACアダプタ経由 ⁴⁾) | | | |
| 消費電力 | 約19W | 約16W | | |
| | 内蔵オプション最大接続時 約45W | | | |
| 温湿度条件 | 5~35、20~80% (ただし、結露しないこと) | | | |
| 外形寸法 | 306(W)×243(D)× 52.5(H)mm(突起部含まず) | 306(W)×243(D)×49.5(H)mm(突起部含まず) | | |
| 重量 | 約3.5kg | 約3.3kg | | |

1 液晶ディスプレイは消耗品です。

液晶ディスプレイでは、明るさのむらや、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。

また、輝度やコントラストの調整具合、表示モードと表示データの組み合わせによってはムラやちたつき、微細は斑点が現れることがありますが、故障ではありません。

2 ZVポート対応のPCカードを上下スロットで同時使用することはできません。

3 バッテリパックは消耗品です。

4 ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC125V対応です。

5 18~28、45%~75%での使用を推奨。

6 時間は本機のご利用状況やオプションの接続により変わる場合があります。

内蔵FAXモデム機能仕様 (FAXモデム内蔵モデル)

機能概要

| | |
|------------|--|
| CPU I/F | PCIローカルバスインターフェイス 16550A相当(I/Oアクセス、割り込み) |
| NCU部 | ・ダイヤルパルス送出機能 ・リング検出機能 |
| モデムチップセット部 | <ul style="list-style-type: none"> ・CPU直結パラレルアクセスによる高スループット K56flex V.34 V.32bis V.32、V.22bis、V.22、V.21 V.42LAPMおよびMNP2-4エラー訂正 V.42bisおよびMNP5データ圧縮 ・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度 V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2 ・HayesATコマンドセット準拠 ATコマンド Sレジスタ ・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン ・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択 ・フロー制御およびスピード・パッファリング ・パラレル非同期データ ・自動ダイヤルおよび自動アンサー ・トーンおよびパルスダイヤリング (DTMFトーン、ダイヤルパルス制御) |

FAX機能

| 項目 | 規格 |
|--------------|--|
| 交信可能ファクシミリ装置 | ITU-T G3ファクシミリ装置 |
| 適用回線 | 加入電話回線 |
| 同期方式 | 半二重調歩同期方式 |
| 通信速度 | 14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps |
| 通信方式 | ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2 |
| 変調方式 | QAM: 14400/12000/9600/7200bps |
| | DPSK: 4800/2400bps |
| | FSK: 300bps |
| 送信レベル | -6 ~ -15dBm(出荷時-15dBm) |
| 受信レベル | -10 ~ -40dBm |
| 制御コマンド | EIA-578拡張ATコマンド(CLASS 1) |

回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

データモデム機能

| 項目 | 規格 |
|--------|---|
| 適用回線 | 加入電話回線 |
| 同期方式 | 全二重調歩同期方式 |
| 通信速度 | 送受信 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/ 14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps ¹ |
| | 受信 56000/54000/52000/50000/48000/46000/44000/42000/ 40000/38000/36000/34000/32000 ¹ |
| 通信規格 | K56flex ITU-T V.34/V.32bis/V.32/V.22bis/V.22/V.21 |
| 変調方式 | TCM:56000/54000/52000/50000/48000/46000/44000/42000/ 40000/38000/36000/34000/33600/32000/31200/28800/26400/ 24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200bps QAM:9600/7200bps DPSK:4800/2400/1200bps FSK:1200/300bps |
| エラー訂正 | ITU-T V.42 |
| | MNP class4 |
| データ圧縮 | ITU-T V.42bis |
| | MNP class5 |
| 送信レベル | -6 ~ -15dBm(出荷時 -15dBm) |
| 受信レベル | -10 ~ -40dBm |
| 制御コマンド | HayesATコマンド準拠 ² |

1 回線状態によって、通信速度が変わる場合があります。

2 ATコマンドについては、以下のファイルを参照

C:\Windows\ATCREAD.DOC

NCU機能

| 項目 | 規格 |
|--------|----------------------------|
| 適用回線 | 加入電話回線 |
| ダイヤル形式 | パルスダイヤル(10/20PPS) |
| | トーンダイヤル(DTMF) |
| NCU形式 | AA(自動発信/自動着信型) |
| 制御コマンド | HayesATコマンド準拠 |
| | EIA-578拡張ATコマンドAT(class 1) |

内蔵LAN機能仕様(LAN内蔵モデル)

規格概要

| 項目 | 規格概要 |
|--------------|--|
| 準拠規格 | ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u |
| ネットワーク形態 | スター型ネットワーク |
| 伝送速度 | 100BASE-TX使用時:100Mbps 10BASE-T使用時:10Mbps |
| 伝送路 | 100BASE-TX使用時:UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時:UTPカテゴリ3、4、5 |
| 信号伝送方式 | ベースバンド伝送方式 |
| ステーション台数 | 最大1024台 / ネットワーク |
| ステーション間距離 | 約200m |
| ネットワーク経路長 | 約200m / ステーション間 最大100m / セグメント |
| メディアアクセス制御方式 | CSMA / CD方式 |

リピータの台数など、条件によって異なります。



割り込みレベル・DMAチャンネル

割り込みレベル

| IRQ | インターフェイス |
|-----|---|
| 0 | システムタイマ |
| 1 | キーボード |
| 2 | 割り込みコントローラ |
| 3 | 内蔵FAXモデム*1 内蔵LANインターフェイス*2 CardBusコントローラ アクセラレータ |
| 4 | 通信ポート |
| 5 | サウンド |
| 6 | フロッピーディスクコントローラ |
| 7 | パラレルポート |
| 8 | システムクロック |
| 9 | (空き)*3 |
| 10 | (空き) |
| 11 | USBホストコントローラ PCIステアリングホルダー |
| 12 | NXパッド |
| 13 | 数値データプロセッサ |
| 14 | IDEコントローラ(プライマリ) |
| 15 | IDEコントローラ(セカンダリ) |

*1: FAXモデム内蔵モデルのみ

*2: LAN内蔵モデルのみ

*3: APMモードのとき、赤外線通信機能使用時にIRQ9を使用
ACPIモードのとき、ACPI用システム制御割り込み

DMAチャンネル

| DMA | インターフェイス |
|-----|-----------------|
| #0 | 赤外線通信*4 |
| #1 | サウンド |
| #2 | フロッピーディスクコントローラ |
| #3 | サウンド |
| #4 | DMAコントローラ |

*4: 赤外線通信機能使用時



索引

索引

英字

| | |
|-------------------|-----------------|
| 100BASE-TX | 74 |
| 10BASE-T | 74 |
| ACPIモード | 14 |
| ACアダプタ | 5 |
| Angel Line | 171 |
| AOL | 155 |
| APMモード | 14 |
| BIGLOBE Walker | 141 |
| BIOSセットアップユーティリティ | 108 |
| CD-ROMドライバ | 223 |
| CD-ROMドライブ | 2, 52 |
| CRTディスプレイ | 90 |
| CRT用コネクタ | 4 |
| CyberTrio-NX | 178 |
| CyberWarner-NX | 182 |
| DCコネクタ | 2 |
| DMAチャンネル | 240 |
| DMIT00L | 200 |
| Draw 98 | 133 |
| Excel 97 | 133 |
| FAXモデム | 70, 237 |
| 【Fn】(エフエヌキー) | 33, 35 |
| Intellisync | 165 |
| I/Oロック | 61, 113 |
| LAN | 74 |
| LAN用モジュラーコネクタ | 4 |
| MS-DOSプロンプト | 27, 222 |
| MS-DOSモード | 27, 222 |
| MS-IME | 38 |
| NIFTY MANAGER | 158 |
| NXパッド | 2, 40, 216, 228 |
| Outlook | 133 |
| pcANYWHERE32 EX | 204 |
| PCカード | 94 |
| PCカードイジェクトボタン | 4 |
| PCカードスロット | 4, 94 |

| | |
|----------------|--------|
| RAM | 98 |
| TELFAX-NX | 162 |
| USBコネクタ | 4, 104 |
| VirusScan | 186 |
| Windows NT 4.0 | 208 |
| Word 98 | 133 |

あ行

| | |
|------------------|------------|
| アクセスランプ | 52 |
| アプリケーション | 122 |
| インターネットアクセスマネージャ | 147 |
| インターネット無料体験 | 145 |
| 液晶ディスプレイ | 2, 56, 228 |
| 駅すばあと全国版 | 192 |
| オーディオ入力端子 | 4 |
| お手入れ | 227 |
| 音量調節つまみ | 4 |

か行

| | |
|---------------|------------|
| 解像度 | 56, 90 |
| 外部ディスプレイ | 90 |
| 外部マイクロホン端子 | 4 |
| 画面表示機能 | 56 |
| 起動順位 | 119 |
| 輝度調節つまみ | 3 |
| キーボード | 2, 33, 228 |
| キャップスロックキーランプ | 32 |
| 休止状態 | 13, 25 |
| 共有プリンタ | 89 |
| クリック | 40 |
| クリックボタン | 2 |
| コントラスト調節つまみ | 3 |
| コンピュータウイルス | 186, 229 |

さ行

| | |
|----------------|--------|
| サウンド | 68 |
| サスペンド | 13, 24 |
| サスペンド/スタンバイランプ | 32 |
| ジェットサーファ | 150 |

| | |
|---------------|---------|
| 充電 | 5 |
| 周辺機器 | 80 |
| 省電力機能 | 14 |
| 省電力 | 117 |
| シリアルコネクタ | 4, 103 |
| シリアルポート | 103 |
| スーパーバイザーパスワード | 60, 112 |
| スキャンディスク | 50 |
| スクロールロックランプ | 32 |
| スタンバイ | 13, 24 |
| スピーカ | 2 |
| スリープ状態 | 13 |
| スリープからの復帰 | 13, 28 |
| スリープボタン | 2 |
| 赤外線通信ポート | 4, 66 |
| 赤外線通信機能 | 64 |
| セキュリティ機能 | 60 |
| セキュリティ | 112 |
| 増設RAM ボード | 98 |
| 増設RAMボード用スロット | 100 |

た行

| | |
|----------------|-----|
| タップ | 40 |
| ダブルクリック | 40 |
| ダブルタップ | 40 |
| 通風孔 | 4 |
| デバイスドライバ | 83 |
| デバイス | 116 |
| デフラグ | 50 |
| テンキーボード | 105 |
| 電源コード | 228 |
| 電源スイッチ | 2 |
| 電源ランプ | 31 |
| 電話回線用モジュラーコネクタ | 4 |
| 盗難防止用ロック | 2 |
| ドラッグ | 41 |

な行

| | |
|-----------------|----|
| 内蔵マイクロホン | 2 |
| 内蔵モデム | 70 |
| 日本語入力 | 38 |
| ニューメリックロックキーランプ | 32 |
| ネットワーク | 74 |
| ネットワーク通信機能 | 74 |

は行

| | |
|-------------------|------------|
| バーチャルスクリーン | 58 |
| ハードディスク | 47 |
| ハードディスクアクセスランプ | 32 |
| ハイバネーション | 25 |
| パスワード | 60, 112 |
| バッテリー残量 | 6, 7 |
| バッテリー充電ランプ | 5, 32 |
| バッテリースロット | 2 |
| バッテリースロットカバー | 11 |
| パラレルコネクタ | 4, 85, 103 |
| パワーマネージメント | 29, 117 |
| 非常時ディスク取り出し穴 | 55 |
| 表示色 | 56, 90 |
| 表示ランプ | 2, 3, 31 |
| ファックス | 72 |
| 筆ぐるめ | 195 |
| プラグ&プレイ | 83 |
| プリンタ | 85 |
| プリンタケーブル | 85 |
| フル充電 | 5 |
| プレーヤ-NX | 176 |
| プロジェクタ | 92 |
| フロッピーディスクイジェクトボタン | 46 |
| フロッピーディスクドライブ | 2, 45, 228 |
| フロッピーディスクアクセスランプ | 32, 46 |
| ヘッドホン / オーディオ出力端子 | 4 |
| ポインティングデバイス | 40 |
| ポインタ | 40 |

| | |
|------------------|--------------|
| ホットキー機能 | 35 |
| ポート | 82, 114, 115 |
| 翻訳アダプタ CROSSROAD | 152 |

ま行

| | |
|------------------|--------|
| マウス/テンキーボード用コネクタ | 4, 105 |
| メモリ | 98 |
| メモリ効果 | 8 |
| モデム(内蔵) | 70 |
| モジュラーケーブル | 71 |
| モジュラーコネクタ | 71 |

や行

| | |
|--------------|---------|
| ユーザーパスワード | 60, 112 |
| ユニバーサル管理アドレス | 78 |

ら行

| | |
|---------|----|
| リンクケーブル | 76 |
| レジューム | 28 |
| ロックレバー | 2 |

わ行

| | |
|---------|-----|
| 割り込みレベル | 240 |
|---------|-----|



活用ガイド

PC98-**NX** SERIES

VersaPro NX

LaVie NX

VA23C/WX · VA20C/WS · VA20C/WD
LW23/43C · LW23/43D · LW20/42C
LW20/42D · LW20/42A · LW20/4DC
LW20/4DD · LW20/4DA

初版 1998年7月

NEC

P



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。